JUKI

● COMPUTER SEWING MACHINE

jureve

ジュレーブ
HZL-010N

取扱説明書

⚠ 注意	安全にご使用していただくため、 ご使用前に必ずこの取扱説明書を お読みください。また、いつでも ご覧になれますように保管してください。

お買い上げまことにありがとうございます。
このコンピューターミシンの特徴をご理解していただき、
正しく安全にご使用していただくために
どうぞこの「取扱説明書」をよくご覧ください。

安全にご使用していただくために

このミシンを正しく安全にご使用していただくために、下記のことがらを必ずお守りください。
このミシンは日本国内向け、家庭用です。
FOR USE IN JAPAN ONLY

この表示は禁止マークです。

⚠警告 このマークの表示は感電、火災の原因となりますから、特にご注意ください。

1.一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。

2.下記のようなときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ミシンのそばを離れるとき。
- ミシンをご使用になったあと。
- ミシンのご使用中に停電したとき。

⚠注意 このマークの表示は感電、火災、けがの原因となりますから、特にご注意ください。

1.コントローラーの上に物をのせないでください。（コントローラーは別売品です）

2.お客様ご自身での分解、改造はしないでください。

3.ミシンを操作するときはかま部などカバー類を閉じてください。

4.ミシンの縫製中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車（プーリー）、天びんなど、すべての動いている部分に手を近づけないでください。

5.針折れの原因になるような曲がった針はご使用にならないでください。

6.針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引張ったり、押したりしないでください。

7.お子様がミシンをご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全にご注意ください。

8.下記のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。

- 針、針板、押え、アタッチメントなどを交換するとき。
- 手動で下糸、上糸をセットするとき。
- 刺しゅう枠の取り付け、取り外しのとき。
- ランプを交換するとき。
（ランプが冷えてから行ってください）
- 取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき。

[刺しゅうの模様選択時に、糸や針の交換のため電源を切りますと、すべてクリアされます。
編集・ぬい中に一時保存せず電源を切りますと、すべてクリアされます。]

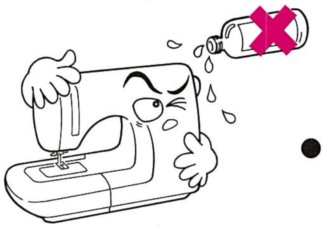
9.落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。

10.ミシンやコントローラーに下記の異常があるときは速やかに使用を停止し、最寄りの直営店にて点検、修理、調整をお受けください。
- 正常に作動しないとき。
- 落下などにより破損したとき。
- 水に濡れたとき。
- 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
- 異常な臭い、音がするとき。

その他のご注意

直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。

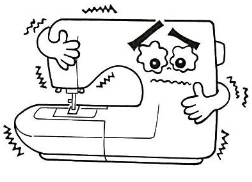
シンナーなどの溶剤でふかないでください。



- やわらかい布に中性洗剤を少量つけて、よくふきとってください。

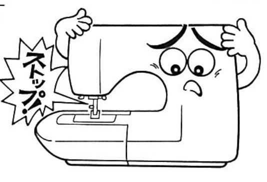
このミシンはマイクロコンピューター、半導体電子部品や精密な電子回路を内蔵していますので、右記の状態がおこる場合があります。ご注意ください。

- 5℃～40℃の範囲でお使いください。



- 温度がいちじるしく低い場合、正常に動かないことがあります。

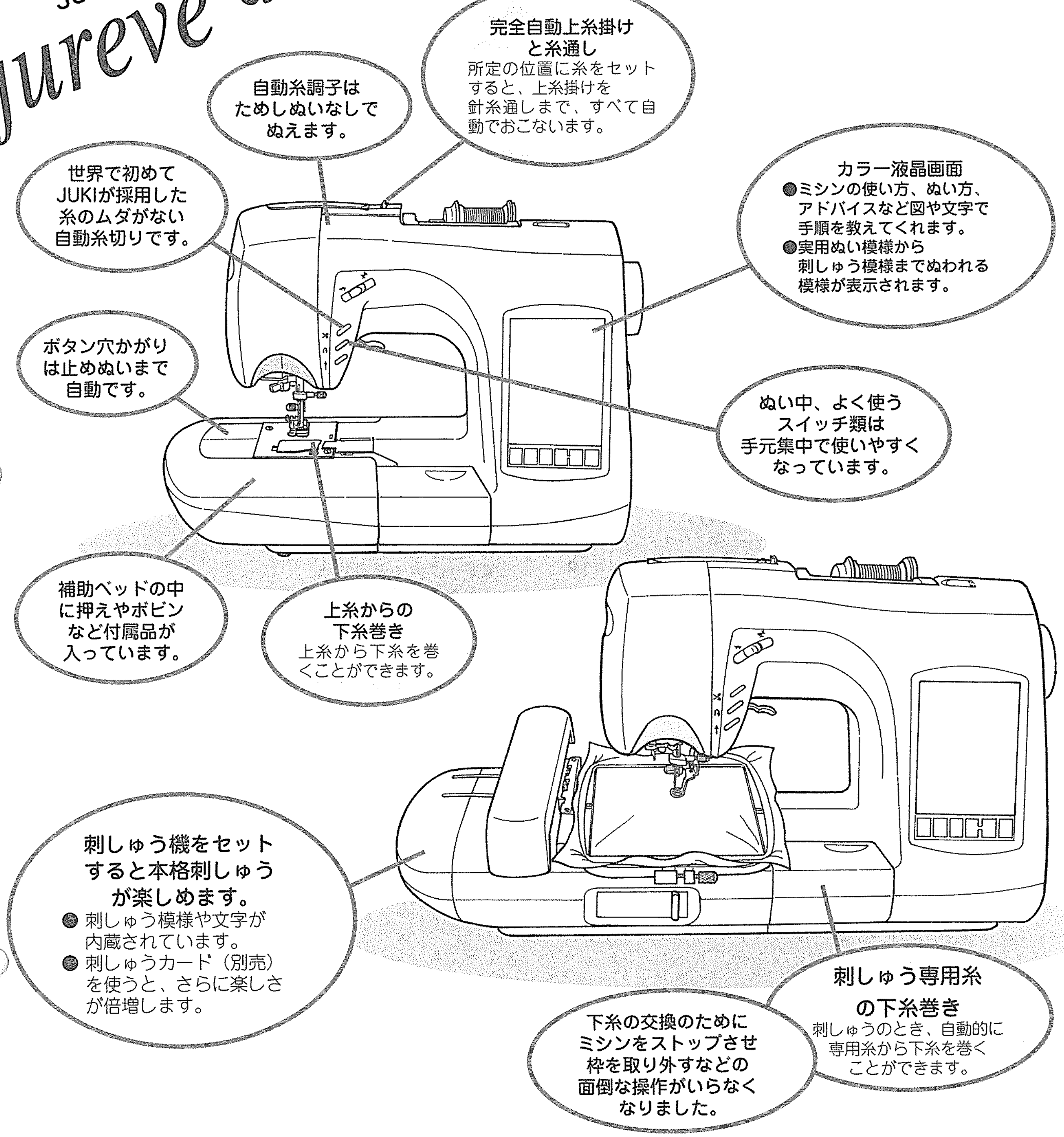
- 長時間のゆっくりぬいを続けると異常発熱を防ぐため、ミシンが止まるようになっています



- 約20分で安全装置が復帰して正常にご使用できます。

JUKIコンピューターミシン

jureve のご紹介！



刺しゅうぬいには「組み合せ刺しゅう」と「つなぎ刺しゅう」の編集機能がついています。

●ワイド刺しゅう模様をぬうことができます。
最大14×24cmの刺しゅうぬいができます。内蔵されている文字・模様のほか、刺しゅうカード（別売）を使って、刺しゅうぬいの楽しさを広げることができます。

●「組み合せ刺しゅう」は、文字と模様を組み合わせたり、文字の大きさや向きを変えたりすることができる機能です。

●「つなぎ刺しゅう」は、刺しゅう枠におさまらない組み合わせ模様や、文字数の多いぬいを、数回に分けてぬっても、きれいにつなげてぬうことができる機能です。
一度に使える文字数は40個まで、保存できるブロック数は32ブロック（本体は20ブロック）あります。

●刺しゅう模様の、ぬい時間や糸色を表示します。
刺しゅう模様をぬうのにかかる時間や、ぬっている途中の残り時間を表示します。　色替えの糸色の表示もします。

もくじ

安全にご使用していただくために ……1
ミシンのご紹介 ……2
各部のなまえ ……5,6
付属品 ……6

基本操作

電源の入れ方 ……7
操作スイッチのなまえとはたらき ……7
操作キーのはたらき ……8
画面の明るさ、濃度の調整 ……8
自動上糸かけ ……9
自動下糸巻き ……10
　上糸からの下糸巻き
布地を入れてぬってみよう！ ……11,12
　自動糸切り、返しぬい（ほつれ止め）
実用ぬい模様の選び方 ……13,14
押えを交換するには ……15
　押えの種類と主な用途
ぬい目の長さを調節（手動）するには ……16
　模様のぬい目の長さの自動と調節できる範囲
針位置／振り幅を変えるには ……17
糸調子を調節（手動）するには ……18
ガイド キーの使い方 ……19～22
　（1）ぬい方
　（2）ミシンの使い方
　（3）アドバイス
針の交換 ……23
　布地に合った糸と針の選び方

実用ぬい

直線ぬい ……24,25
　ぬい方向を変えるには
　ぬいしろの重なった部分のぬい方
　厚地のぬい始め
自動止めぬい ……25
筒ぬい（フリーアーム）……26
伸縮強化ぬい ……26
ジグザグぬい ……27
　ジグザグ模様の振り幅／ぬい目の長さ
裁ち目かがり（縁かがり）……28
しつけぬい ……29
三点ジグザグ ……29
ブラインドステッチ（まつりぬい）……30
自動ボタン穴かがり ……31,32,33
　両かん止め/ハトメ穴かがり
　パールぬい（スーパーボタン穴かがり）
　芯入りボタン穴かがり
かん止め ……34
ファスナーつけ ……35～38
　脇あきファスナーつけ
　つき合わせのファスナーつけ
　小物づくりのファスナーつけ
　コンシールファスナーつけ
いせ込み、ギャザーの寄せ方 ……39
ピンタック ……39
伏せぬい ……40
アップリケ ……40
キルティング ……41
横送り（四方ぬい）……41
パッチワーク ……42
貝がらぬい（スカラップ）……42
連続もよう ……43

もようぬい

もようぬい ……44,45
ぬう前の準備、
画面の模様の出し方、ためしぬい、
画面表示のはたらき、操作キーのはたらき
ぬうもようを選ぶには ……46
２色ぬい、上下反転、左右反転、連続ぬい
渡り糸の始末 ……46
もようの保存、消去、取り出し方 ……47,48

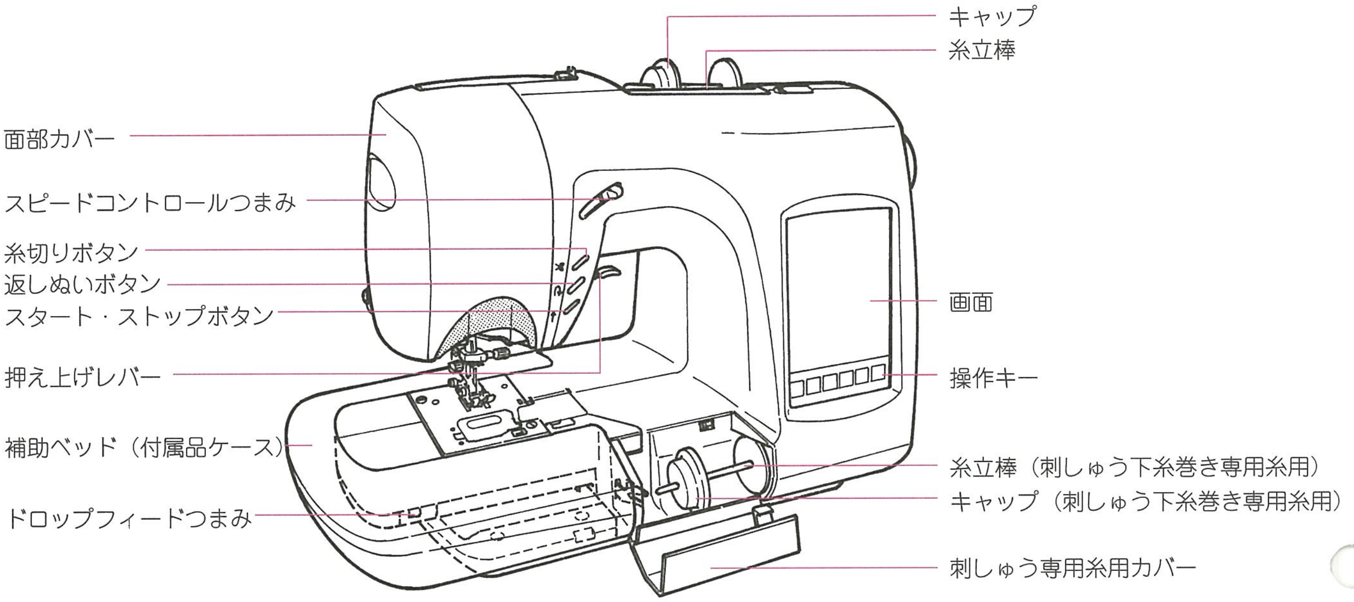
刺しゅうぬい

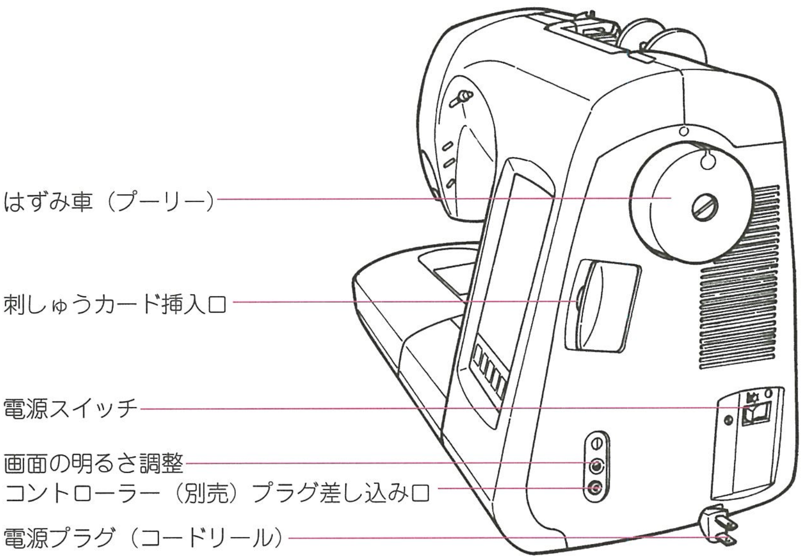
ぬう前の準備 ……49,50
刺しゅう機取り扱いの注意
刺しゅう押えの取り付け
刺しゅう機の取り付け（刺しゅう機の取り外し）
刺しゅうの自動下糸巻き ……51,52
専用糸からの下糸巻き
模様・文字の選び方と種類 ……53～56
模様の選び方、ひらがな／カタカナの選び方
アルファベットの選び方
ぬってみよう！ ……57～60
きれいに刺しゅうするために
刺しゅう枠に布地を張るには
刺しゅう枠のセット
小さい布地や布端に刺しゅうするときは
ぬい方
手動での糸通しをしやすくするには
刺しゅうぬいの一覧順序 ……61,62
文字・模様のぬう位置を決めるには ……63
位置を移動させるには
位置を確認するには
文字・模様の回転／大きさ変更 ……64
文字・模様の反転／よこ書き・たて書き ……65
文字間隔の変更／文字を区切るには ……66
組み合わせ刺しゅう ……67,68
つなぎ刺しゅう ……69～76
ズーム（拡大）機能について ……77
一時保存するには ……78
組み合わせた模様や文字を保存するには ……79,80
ぬい途中で糸が切れたとき ……81,82

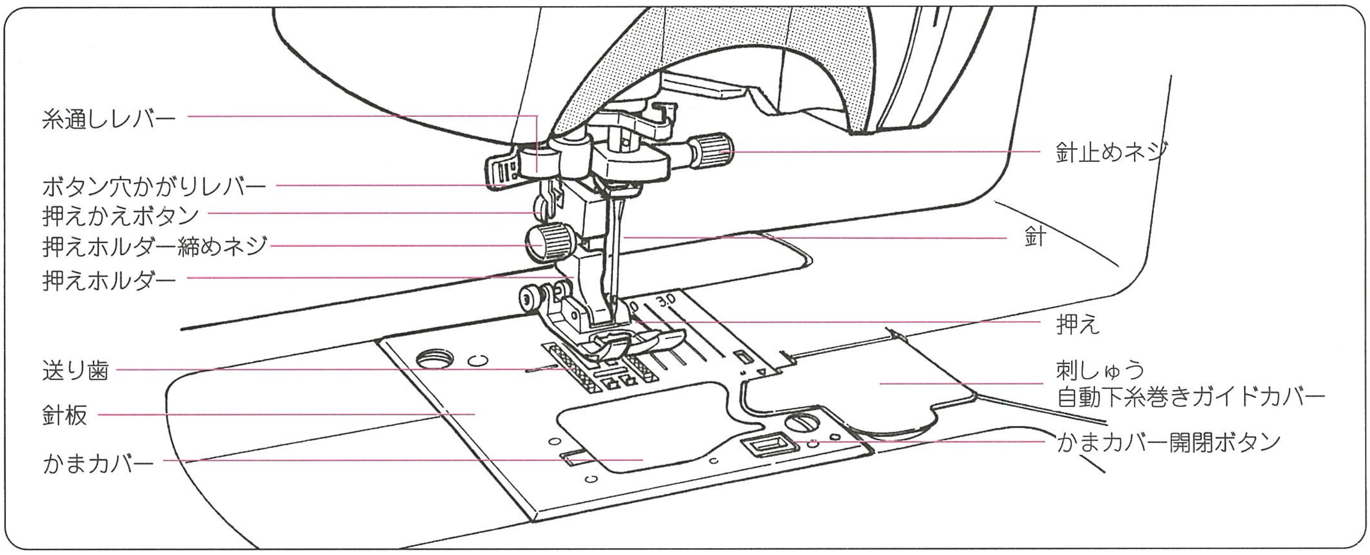
その他

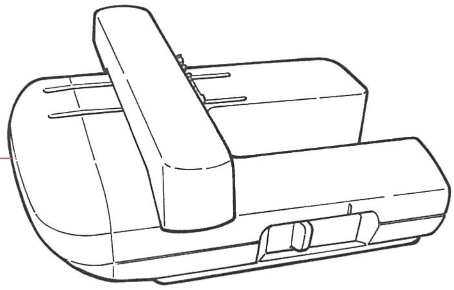
しんせつメッセージ ……83～85
別売品のご紹介 ……86,87,88
コントローラー、手動BH押え、三ツ巻き押え、
ひもつけ押え、上送りアタッチメント、
刺しゅう枠（小）、刺しゅうスタンド、
刺しゅうカード、刺しゅう糸セット
オプション キーの使い方 ……89,90
手動下糸巻き／ボビンのセット ……91,92
手動上糸かけ ……93,94
下糸の引きあげ方
故障かな・・・というときは ……95,96
仕様表 ……96
ランプの交換 ……97
ミシンの手入れ ……97,98
模様一覧表 ……99
刺しゅう模様見本 ……100,101,102
アフターサービスと保証 ……裏表紙

各部のなまえ

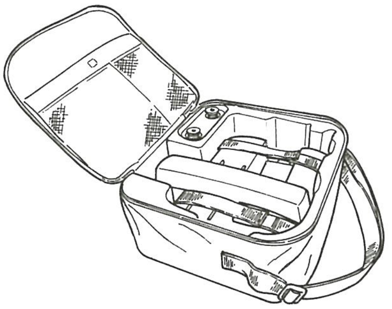

キャップ
糸立棒
面部カバー
スピードコントロールつまみ
糸切りボタン
返しぬいボタン
スタート・ストップボタン
押え上げレバー
補助ベッド（付属品ケース）
ドロップフィードつまみ
画面
操作キー
糸立棒（刺しゅう下糸巻き専用糸用）
キャップ（刺しゅう下糸巻き専用糸用）
刺しゅう専用糸用カバー


はずみ車（プーリー）
刺しゅうカード挿入口
電源スイッチ
画面の明るさ調整
コントローラー（別売）プラグ差し込み口
電源プラグ（コードリール）

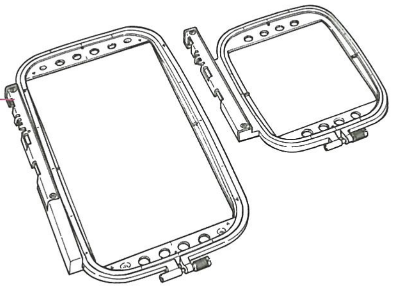

糸通しレバー
ボタン穴かがりレバー
押えかえボタン
押えホルダー締めネジ
押えホルダー
送り歯
針板
かまカバー
針止めネジ
針
押え
刺しゅう
自動下糸巻きガイドカバー
かまカバー開閉ボタン



刺しゅう機

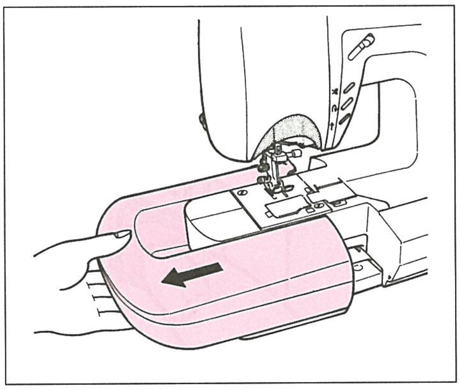


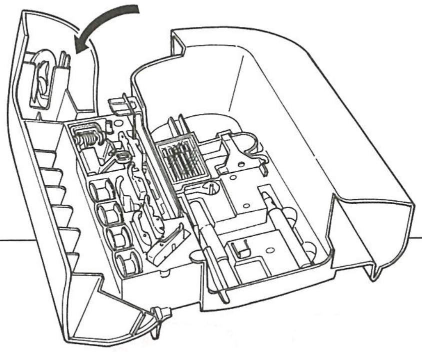
刺しゅうバッグ



刺しゅう枠 大・中

補助ベッドを左へ引き出します。

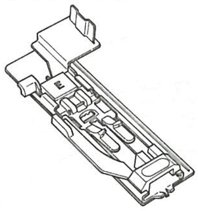




付属品

●補助ベッドの中に入っています。

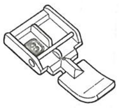
基本押え（A）



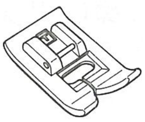
ボタン穴かがり押え（E）

裁ち目かがり押え（C）

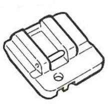
ブラインドステッチ押え（D）



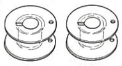
ファスナー押え（B）



模様押え（T）

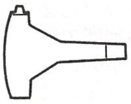


コンシール押え（G）

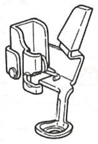


手動用ボビン（2）

自動用ボビン（3）

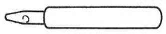


専用ドライバー



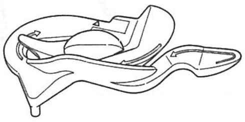
刺しゅう押え（J）

リッパー（糸ほどき）

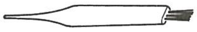


はと目パンチ

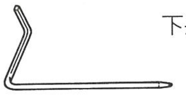
下糸巻き軸



刺しゅう下糸巻き用ガイド



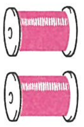
掃除用ブラシ



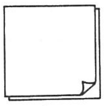
棒定規

針ケースと針
HAx1・・・11番・2本、14番・1本
HAx1SP（青色）・・・ニット針11番・2本

刺しゅう機バッグ内の付属品



糸（2）



布

ハサミ

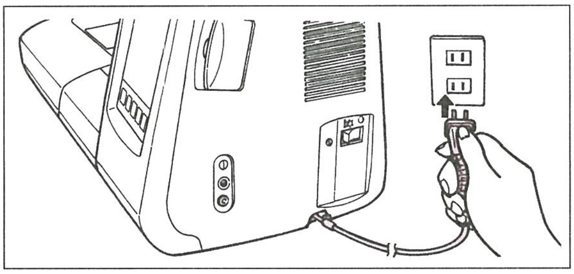
ピンセット

チャコペン

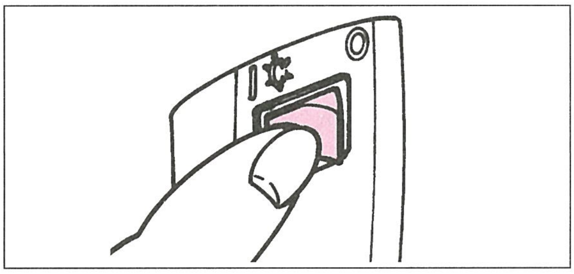
※付属品は補助ベッドの所定の位置にセットしてください。補助ベッドの出し入れができなくなることがあります。
※基本押え（A）と自動用ボビンは最初ミシン本体にとりつけられています。

電源の入れ方/操作スイッチのなまえとはたらき

電源の入れ方

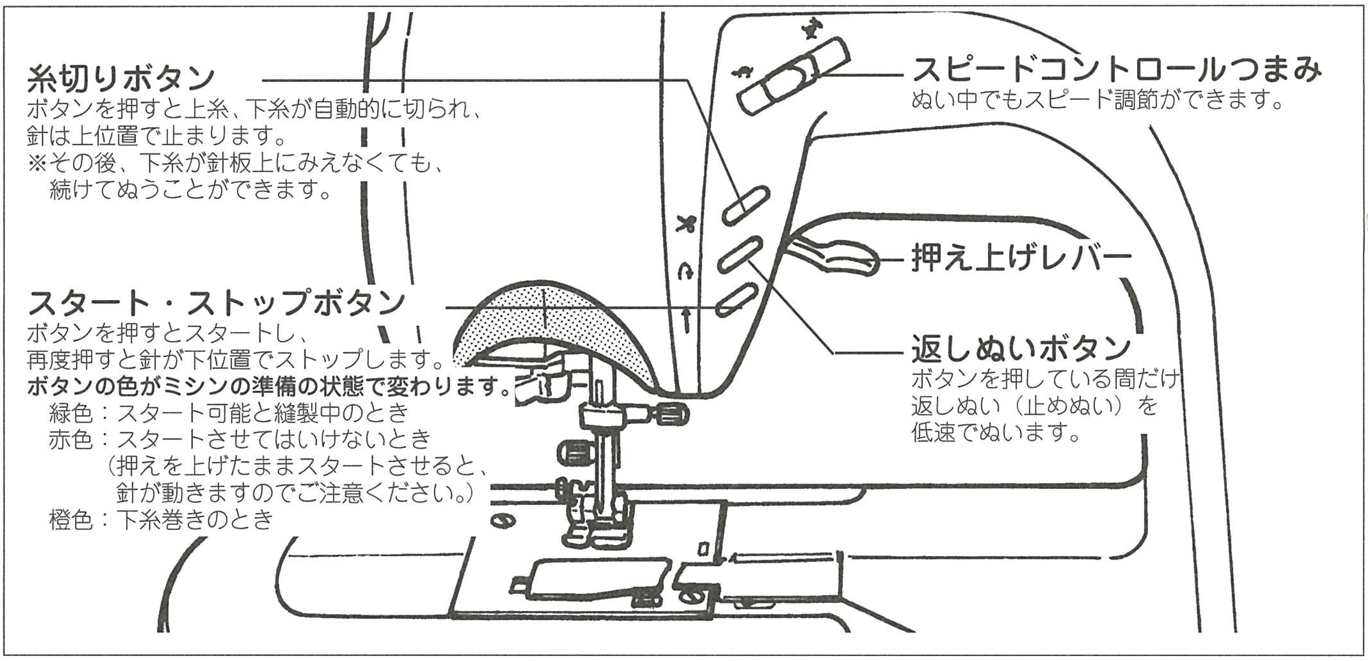


1） コードリールの電源コードを引き出して、
室内コンセントへ差し込みます。
▲このミシンは一般家庭用交流電源100Vをご使用ください。
▲電源コードの赤印以上は引き出さないでください。



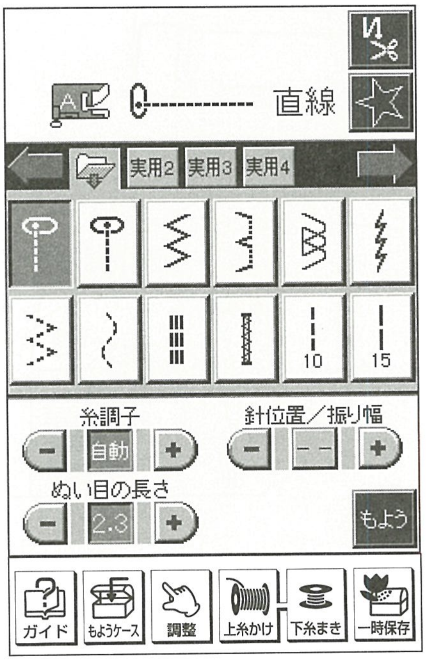
2） 電源スイッチ（I側）を押すと電源が入り、
ランプがつきます。
3） 電源を切るときは、電源スイッチ（O側）を押します。
ランプも消えます。
※電源コードをしまうときは、少し（5センチ位）引いて
手を離すと自動的に巻き込みます。

操作スイッチ



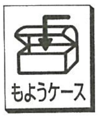
操作キーのはたらき／画面の調整

操作キー



液晶画面の上に表示される模様がぬえる模様です。

このキーを押すと、「ぬい方」が液晶画面に表示されます。



もようや文字を保存するために使います。

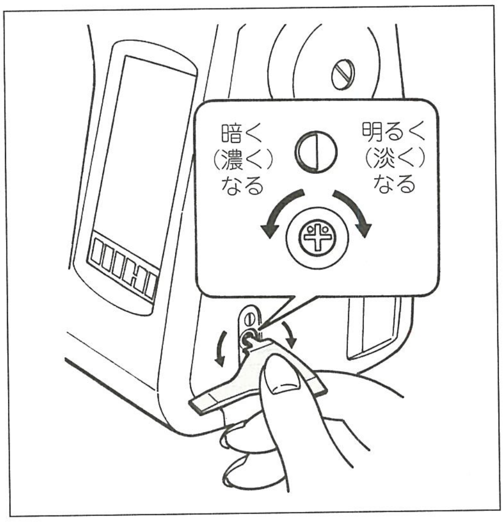
糸調子やぬい目の長さ、針位置、振り幅を変えるときに使います。

上糸を自動でかけるときに使います。

下糸を自動で巻くときに使います。

刺しゅうのぬい途中でぬいを一時的に中断して、その状態を保存させ、
後でぬう時に使います。
（刺しゅう機がセットされているときの画面でのみ使用できます）

画面の明るさ、濃度の調整

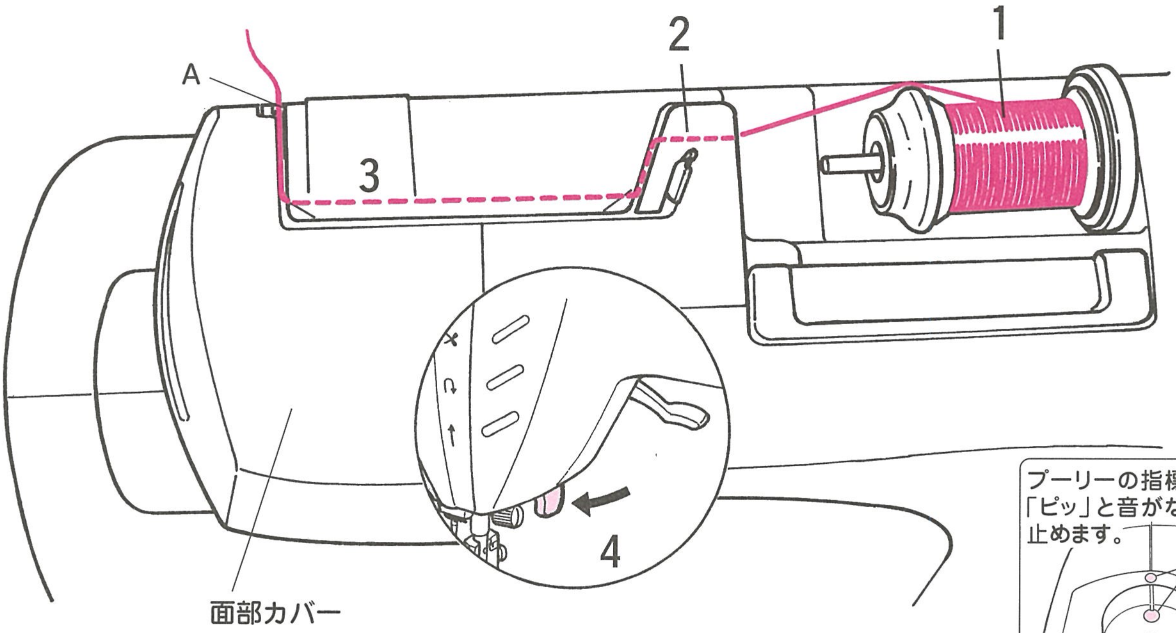


画面を見ながら、ミシン側面の調整穴で調整します。

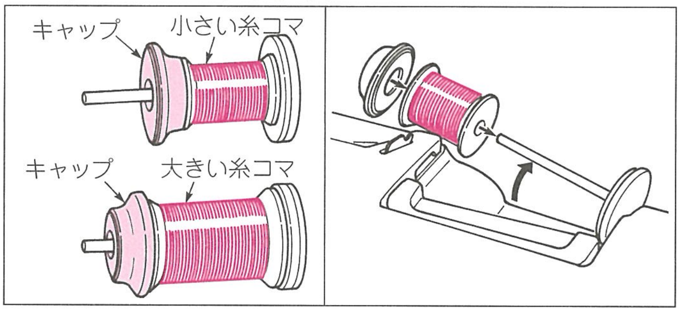
1. 付属のドライバーの一番細いところを、
   穴の十字に合わせます。
2. 画面を明るく（淡く）したい場合は→右側へ回します。
   画面を暗く（濃く）したい場合は→左側へ回します。

自動上糸かけ

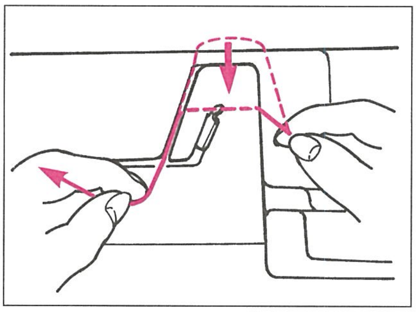
※面部カバーが閉じていることを確認します。
※糸かけ中は面部カバーを開けないでください。



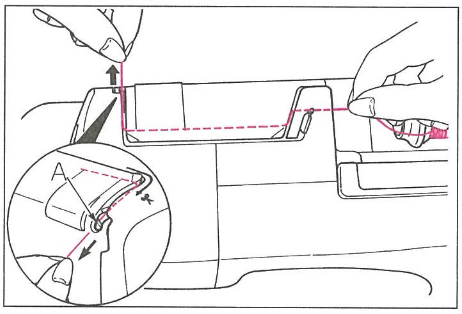
1 糸ゴマをセットします.



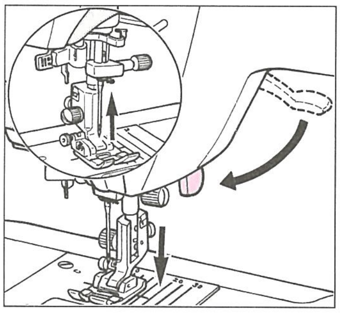
2 糸を両手で手前に引き込みます。



3 右手で糸を持ちながら、みぞにそって糸をかけ、矢印の後ろ方向へ引っ張り、「A」の糸切り刃で糸を切ります。

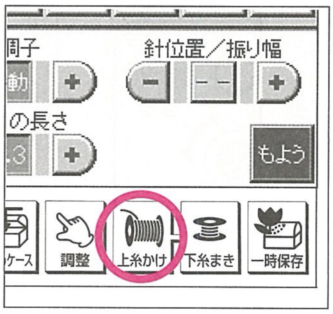


4 押え上げレバーをさげます。

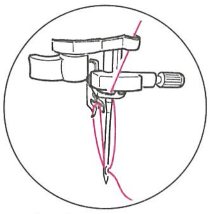


＊プーリーの指標を合わせます。

5 を押します。



自動で糸かけが始まり、針に糸が通ります。



＊糸がフックにかかったままの場合は、はずしてからご使用ください。

※自動上糸かけをするときは、11番～16番の針をお使いください。
　針の太さと糸の番手の組み合せを23ページの「布地に合った糸と針の選び方」で確認してください。
　その他の針を使用するときは、手動で上糸をかけてください。
※特殊な糸を使ったときに、上糸かけができない場合があります。
　その場合は手動で上糸をかけてください。
　（手動の上糸かけは93,94ページをご覧ください）

自動下糸巻き

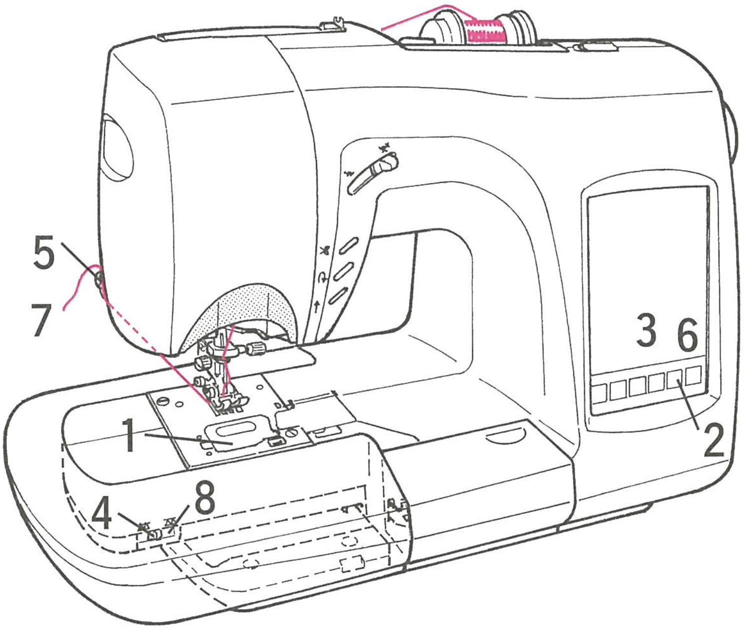
⚠注意　ボビンをセットするときは電源スイッチを切ってください。

■上糸からの自動下糸巻き（本体のみ）

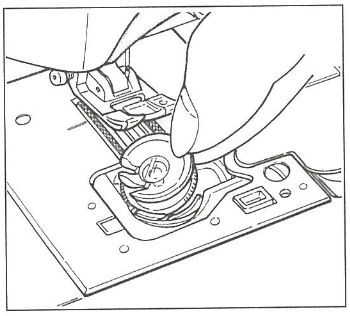
使うボビン

※必ず上記のボビンをお使いください。他のボビンでは自動下糸巻きはできません。
※糸の太さは　30番～100番
押えは　基本押え（A）
をお使いください。

上糸からの自動下糸巻きを行うときは、刺しゅうの自動下糸巻き専用糸を外してください。（P52参照）

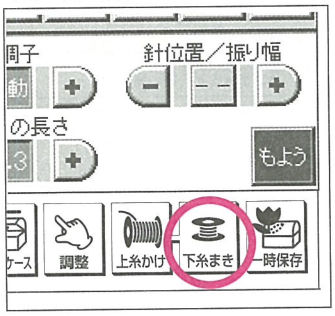


1 空ボビンをセットし、かまカバーを閉じます。



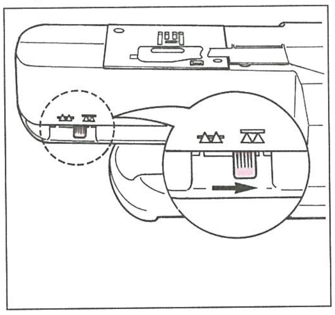
※ボビンに糸が残っていると、下糸巻き操作はできません。

2 上糸をかけたあとに [下糸まき] を押します。

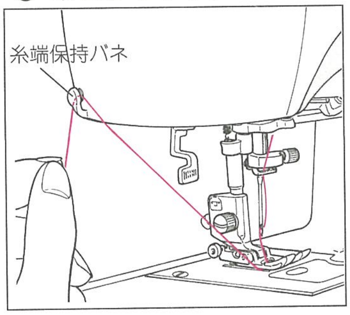


3 巻き量を選びます。

4 ドロップフィードつまみを右にします。



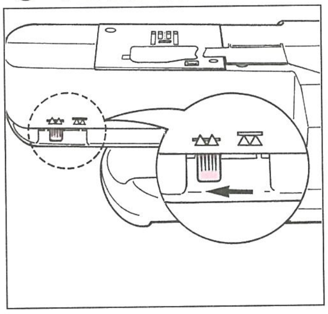
5 糸を張ったまま押えの下にくぐらせ、押えをさげてから、糸端保持バネに糸をかけます。



6 画面上の [スタート] キーを押します。

7 巻き終わりましたら、糸は切れていますので、糸端保持バネから糸を取り除きます。

8 ドロップフィードつまみを左に戻します。

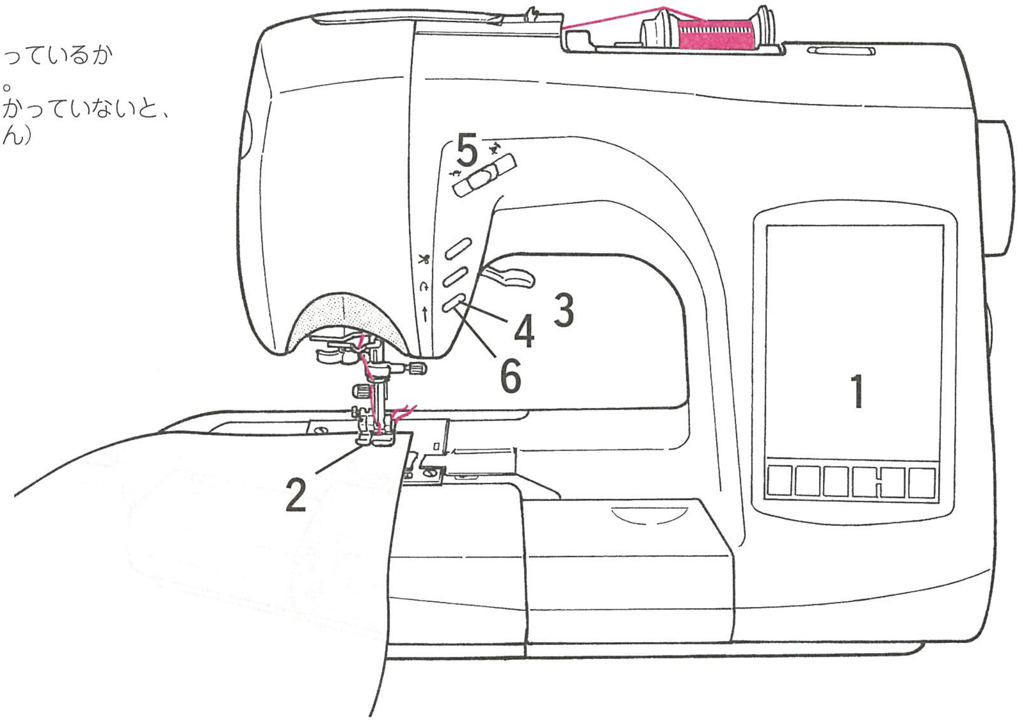


＊途中でストップ、再スタートしたいときは、スタート・ストップボタンを押します。
＊途中で中止したいときは、【終了】キーを押します。

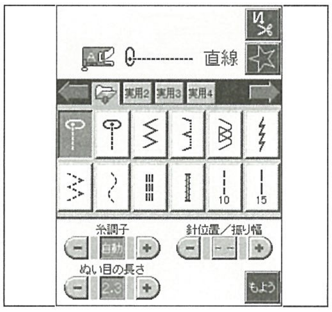
※下糸巻きがうまくできなかったときは、もう一度上糸をかけ直してください。
※特殊な糸を使ったときに、下糸巻きがうまくできない場合があります。
その場合は手動下糸巻きで、巻いてください。
（手動下糸巻きは91,92ページをご覧ください。）
※糸巻き中に上糸がなくなったときは、ボビンのセット状態を確認してください。

布地を入れてぬってみよう！

※上糸が正しくかかっているか
確認してください。
（上糸が正しくかかっていないと、
ミシンが動きません）

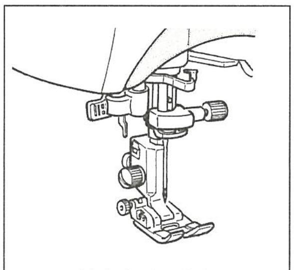


1 電源を入れて画面にタッチしてください。



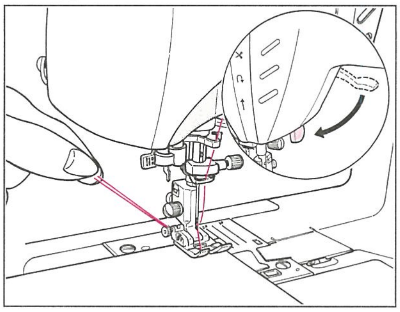
実用ぬいの直線ぬい（左基線）が選ばれます。

2 押えを確かめます。

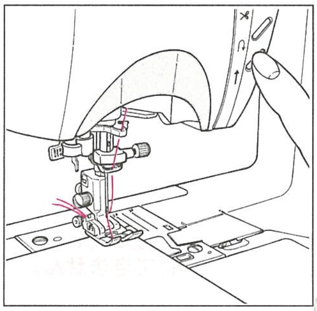


基本押え（A）

3 布地を入れ、上・下糸をそろえて後ろに出し、押えをさげます。

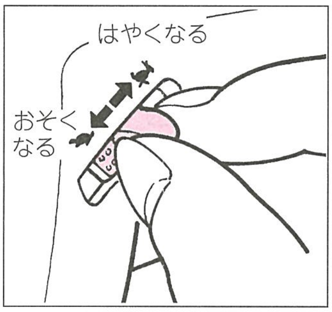


4 スタートさせます。

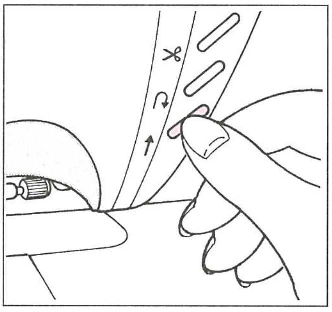


押えを上げたままスタートさせると、針が動きますのでご注意ください。

5 スピードを調節します。



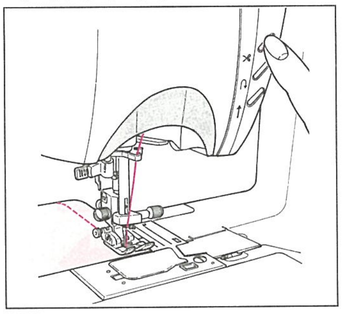
6 ストップさせます。



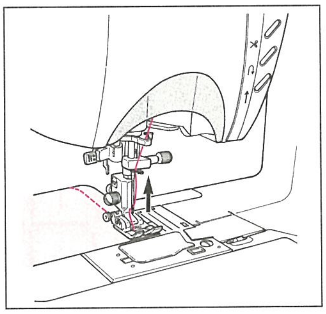
自動糸切り

ぬい終ったら・・・

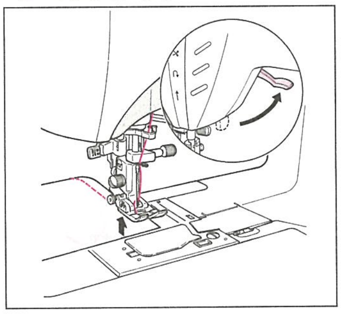
1 **糸切りボタンを押します。**



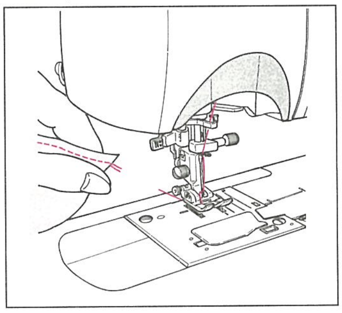
2 **針が動いて上で止まります。**



3 **押え上げレバーをあげます。**



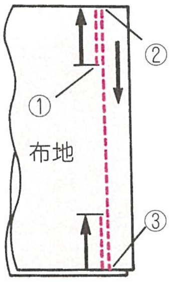
4 **上・下糸が切られて、あとは布地を取り出すだけです。**



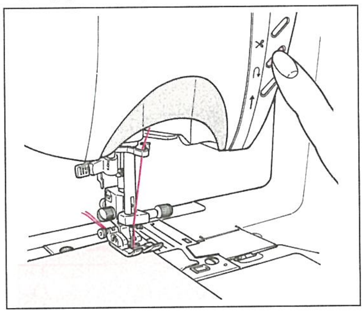
＊30番以下の太い糸や特殊な糸はハサミを使って切って下さい。
＊自動糸切りしたあと、下糸が見えなくてもそのまま次にぬえます。

返しぬい（ほつれ止め）

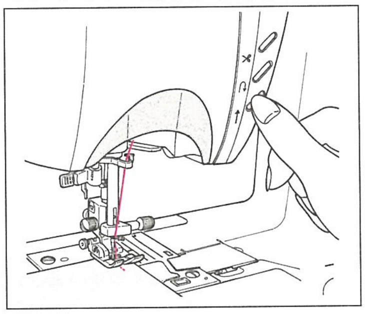
ぬい始めと、ぬい終りに返しぬいをするとぬい目がほつれません。



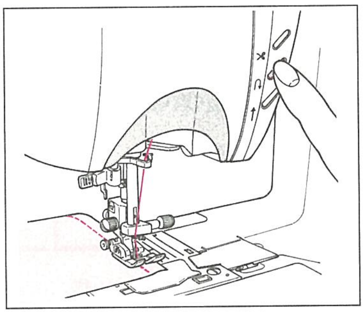
1 **返しぬいボタンを押します。**



2 **スタート・ストップボタンを押します。**



3 **返しぬいボタンを押します。**



＊返しぬいボタンは押している間だけ返しぬいができます。
＊返しぬいは、ゆっくりな速度になっています。
＊ジグザグなどの模様ぬいのときは、止めぬいになります。

自動止めぬいについて

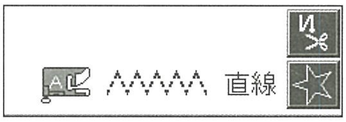
キーを押してからスタートさせると、

ぬい始めに3針の返しぬい（止めぬい）をしてから、ぬい進みます。
所定の位置まできましたら、返しぬいボタンを押します。3針の返しぬい（止めぬい）をして、さらに糸切りをして止まります。（25ページ参照）

基本操作

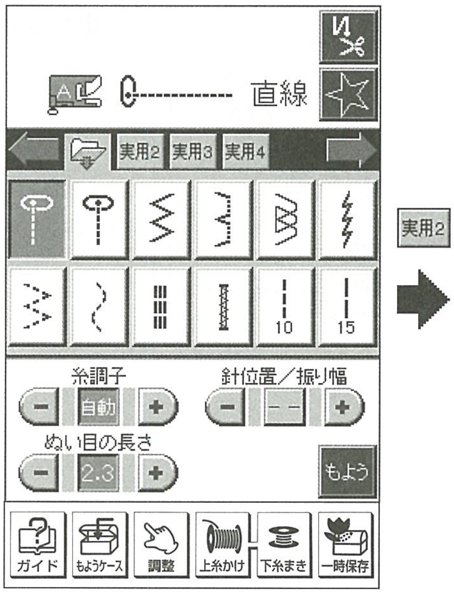
実用ぬい模様の選び方

＊実用ぬい模様は4画面あります。
＊画面に軽くふれるだけで、縫製に多く使う左基線の直線ぬいが、自動的に選ばれ表示されます。
＊お好みの模様を選ぶときは、その模様のボタンに軽くふれてください。
すると・・・
例： は に反転され、画面（模様群の上）に
選んだ模様と使う押え（記号）が表示されます。



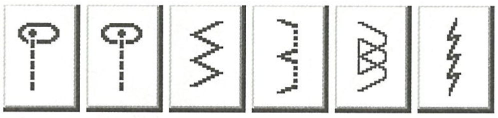
画面に軽く触れます。

1番目の画面

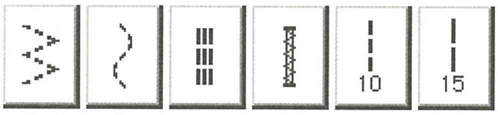


＊糸調子、針位置／振り幅、ぬい目の長さを変更したいときは、16,17,18ページをご覧ください。

●実用模様の主な用途

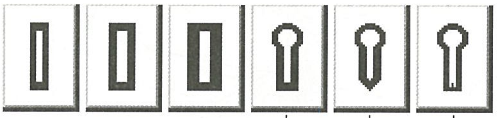


左基線　中基線
直線ぬい
裁ち目かがりジグザグぬい
まつりぬい
裁ち目かがり
伸縮直線ぬい



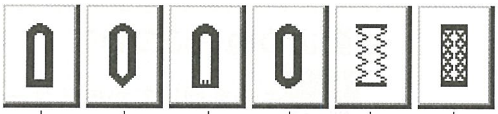
三点ジグザグ裁ち目かがり
飾りぬい
伸縮強化ぬい
かん止め
しつけぬい

ボタン穴かがり



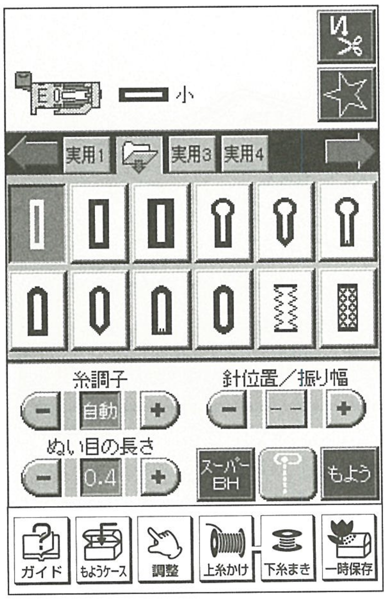
小　中　大　ハト目

ボタン穴かがり



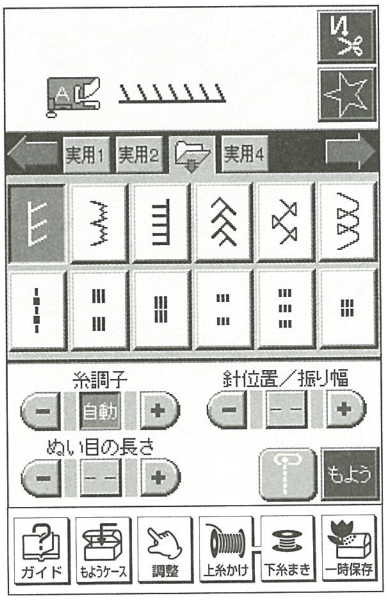
ねむり
伸縮ボタン穴かがり

2番目の画面



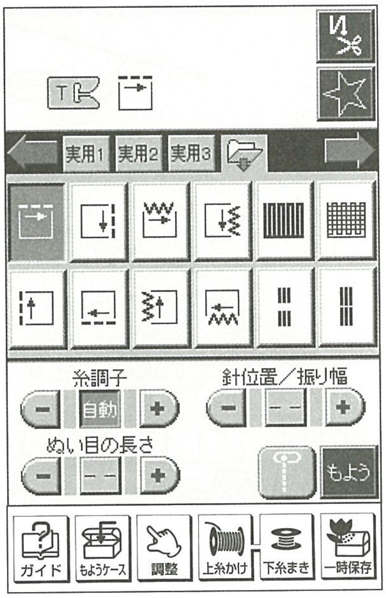
実用3

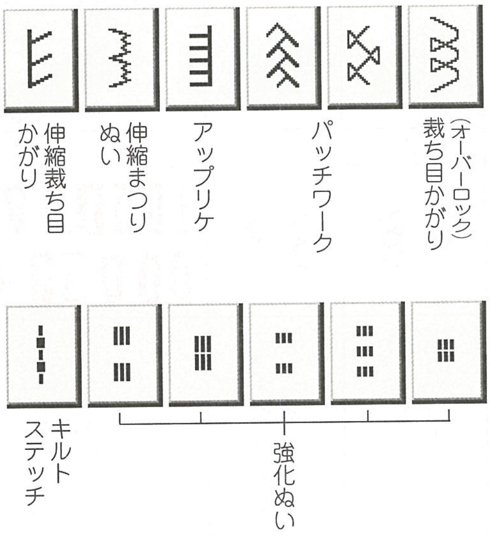
3番目の画面

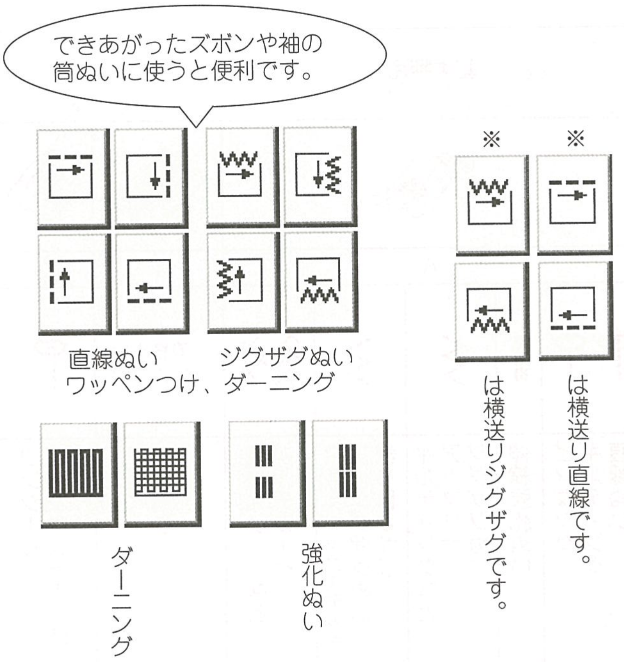


実用4

4番目の画面

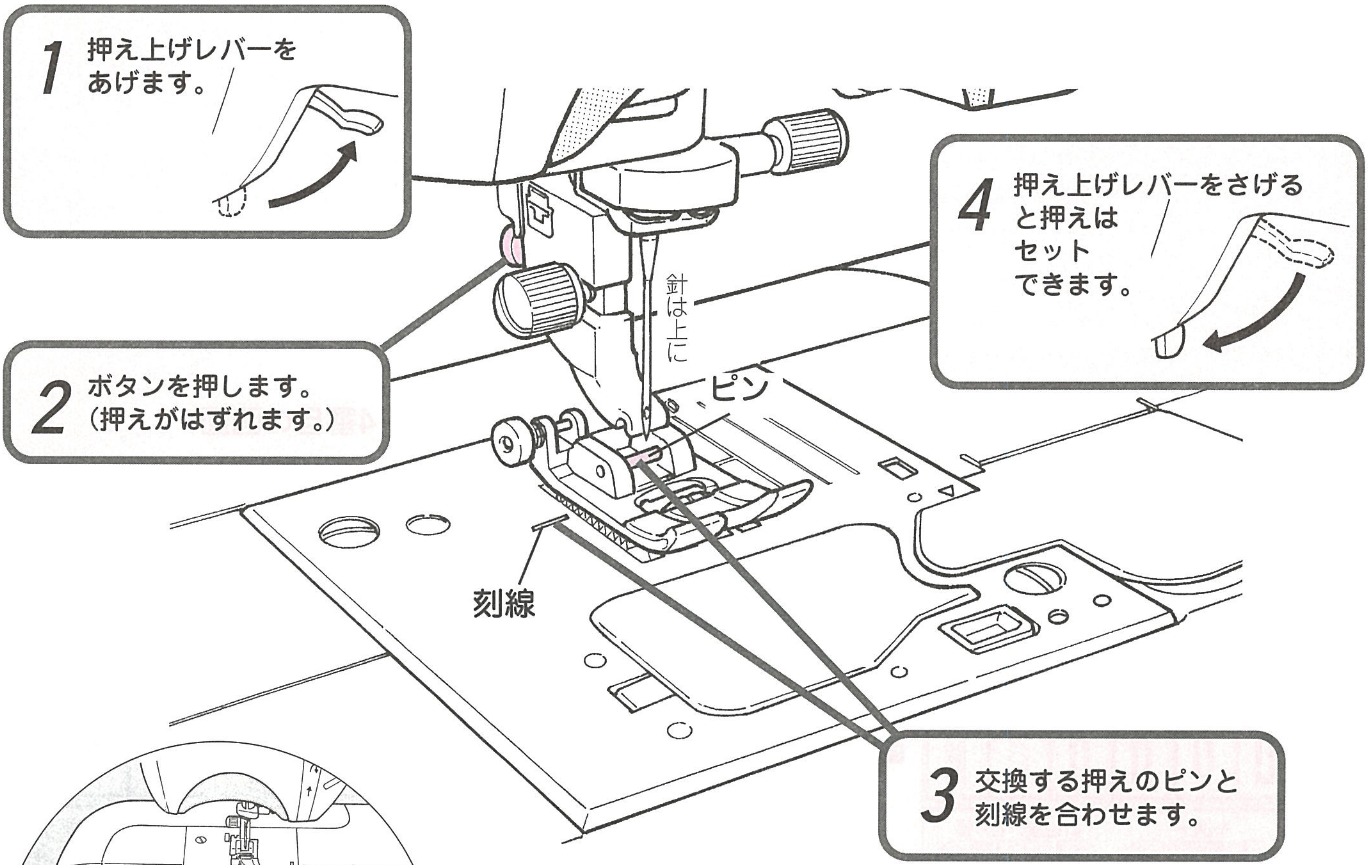


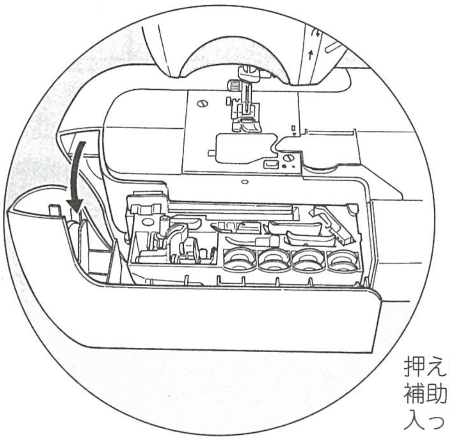




押えを交換するには・・・

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

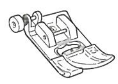
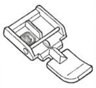
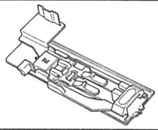
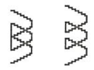
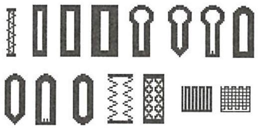




押えは
補助ベッドの中に
入っています。

押えの種類と主な用途

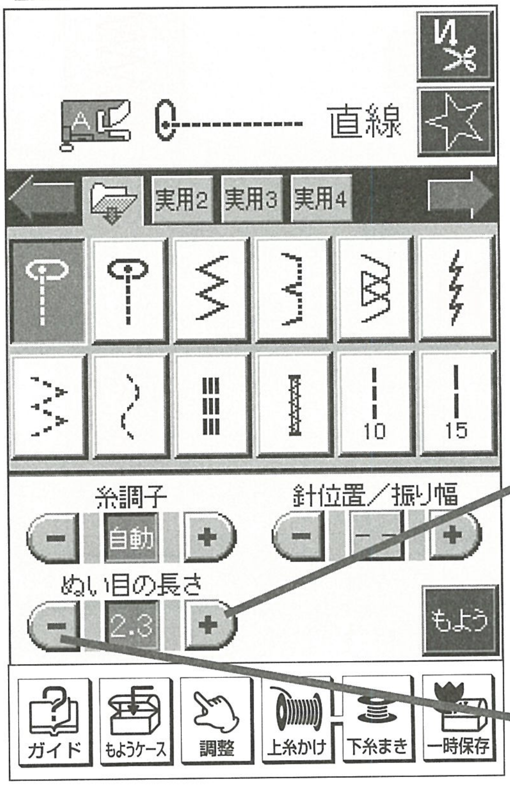
模様とあった「押え」を使いましょう！

	基本押え					模様押え	コンシールファスナー押え	ファスナー押え	裁ち目かがり押え	ブラインドステッチ押え	ボタン穴かがり押え
押え											
記号	A					T	G	B	C	D	E
模様						・連続ぬい ・もよう					
主な用途	ピンタック キルティング 直線ぬい	伸縮強化ぬい	キルティングなど アップリケ ジグザグぬい	三点ジグザグぬい（エラスチックステッチ） 裁ち目かがり	模様ぬい　など パッチワーク	模様ぬい	コンシール ファスナーつけ	ファスナーつけ	裁ち目かがり （オーバーロック）	ブラインドステッチ （まつりぬい）	自動ボタン穴かがり かん止めぬい ダーニングぬい

ぬい目の長さを調節（手動）にするには・・・

模様を選ぶと自動的に適正なぬい目がセットされていますが・・・

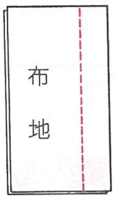
もようと連続の選択画面のときは
（調整）キーを押すと、表示されます。



自動の場合

直線ぬいの例

ぬい目の長さ　－ 2.3 ＋



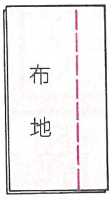
手動の場合

＋ を押すと数字が大きくなります。
－ を押すと数字は小さくなります。

数字が大きくなると･･･ぬい目が長くなります。

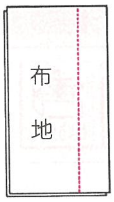
－ 4.0 ＋

4.0 の上を指で触れると自動の2.3に戻ります。



数字が小さくなると･･･ぬい目が短くなります。

－ 1.5 ＋



※ぬい目の長さの表示される数字は
0.0/0.2～1.0/1.5/2.0/2.3/2.5/3.0/3.5/4.0です。
※ - - の表示される模様はボタンを押しても表示は変わりません。

各模様のぬい目の長さの自動と調節できる範囲

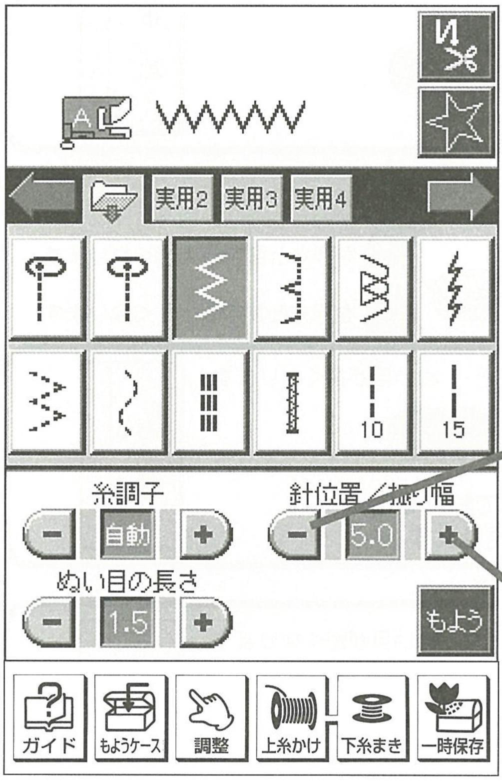
模様																			
ぬい目の長さ　自動	2.3		1.5	2.0	1.0		0.5	0.4		0.5	0.6			0.4				1.0	2.0
ぬい目の長さ　手動の範囲	0.0～4.0				0.0～2.0	0.0～4.0	0.0～1.0											0.0～2.0	

模様			もようぬい		もようぬい　連続ぬい
ぬい目の長さ　自動	2.0		0.4	--	--
ぬい目の長さ　手動の範囲	0.0～4.0	2.0～4.0	0.0～4.0	--	--

針位置／振り幅を変えるには・・・

もようと連続の選択画面のときは

キーを押すと、表示されます。



1.振り幅

自動の場合

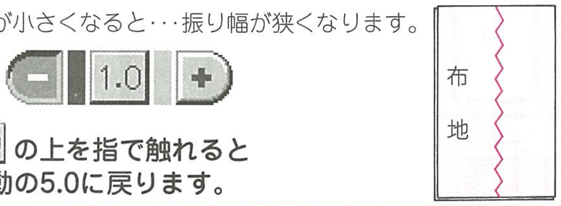
ジグザグぬいの例

手動の場合

を押すと数字は小さくなります。

を押すと数字が大きくなります。

数字が小さくなると･･･振り幅が狭くなります。

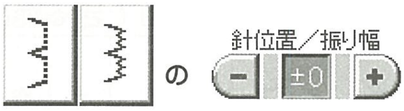


1.0 の上を指で触れると自動の5.0に戻ります。

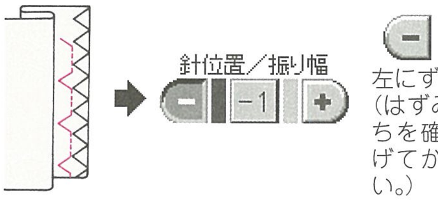
数字が大きくなると･･･振り幅が広くなります。

2.針位置

ブラインドステッチなどの針落ちの調整に使用します。

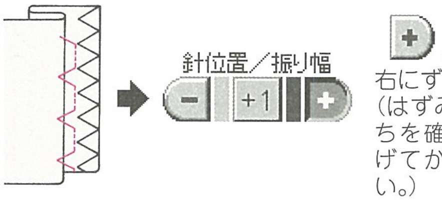
例）  の

折り山にぬい目がかからない場合



を押して針落ちを左にずらします。（はずみ車をまわして針落ちを確認し、針を上に上げてから調整してください。）

折り山にぬい目がかかりすぎた場合

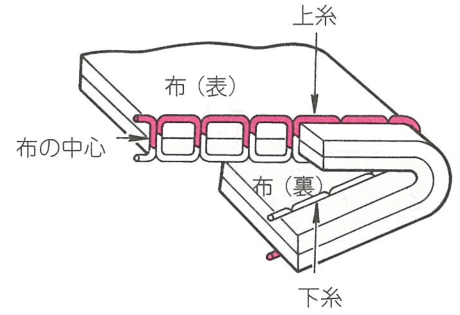


を押して針落ちを右にずらします。（はずみ車をまわして針落ちを確認し、針を上に上げてから調整してください。）

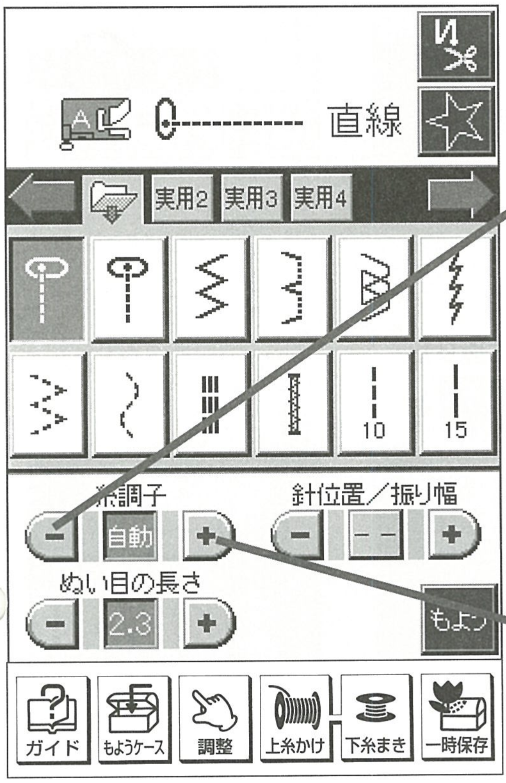
糸調子を調節（手動）にするには・・・

このミシンはコンピューターにより通常のぬいには最適な自動糸調子になっています。
特殊なぬいで糸調子を変えるには･･･

通常のよい糸調子は
布の中心で上糸と下糸が
からみます。



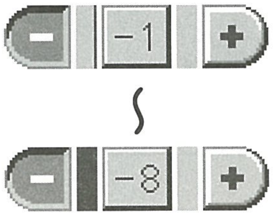
もようと連続の選択画面のときは
キーを押すと、表示されます。



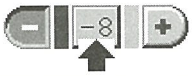
上糸調子を弱くしたいとき

を押します。

8段階に弱くなります。



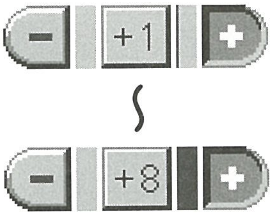
※変更した糸調子を一度に自動に戻すには

 の上を押してください。

上糸調子を強くしたいとき

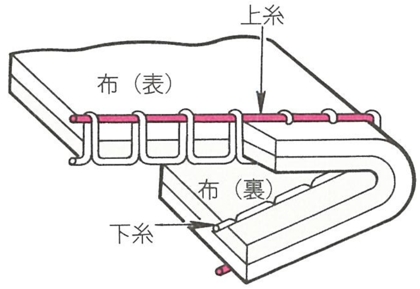
を押します

8段階に強くなります。



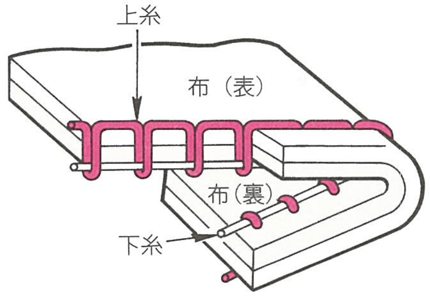
●糸調子を強くしたとき･･･

布の表から見て下糸が見える



●糸調子を弱くしたとき･･･

布の裏から見て上糸が見える

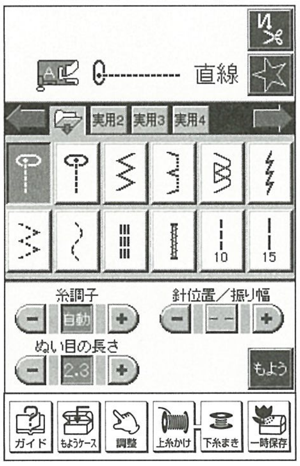


※いせ込み・ギャザー寄せは、ぬい目の長さと糸調子の手動を使います。（39ページ参照）

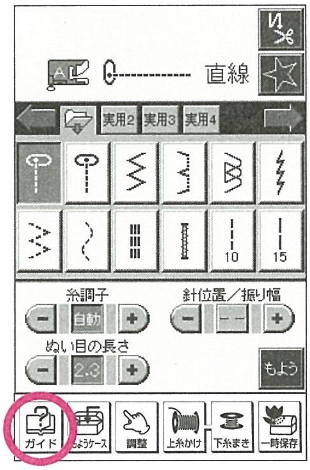
ガイド キーの使い方　（1）ぬい方

※このコンピューターミシンには説明書に準じた基本的なミシンの操作内容
（ぬい方、ミシンの使い方、アドバイス、トラブル）が液晶画面に表示されます。

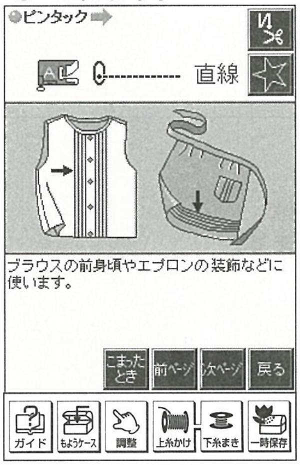
1 模様を選びます。



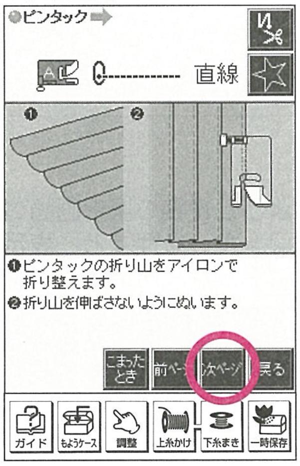
2 画面下の ガイド キーを押します。



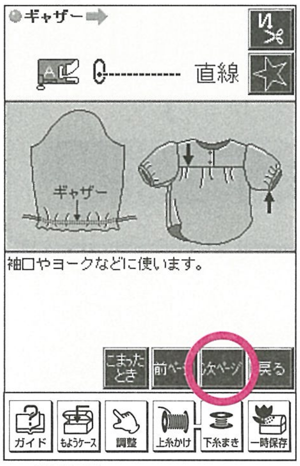
3 その模様でぬえるぬい方のガイドが表示されます。



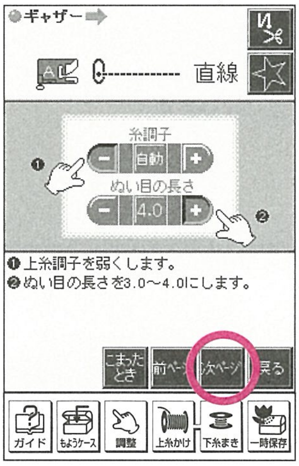
4 次ページ を押すと･･･



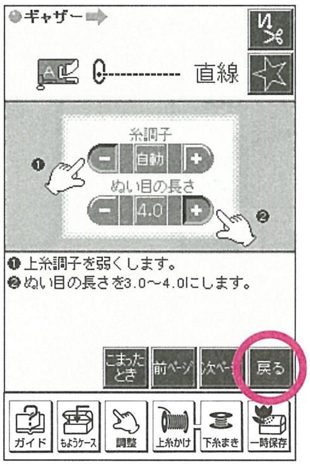
5 さらに 次ページ を押すと･･･



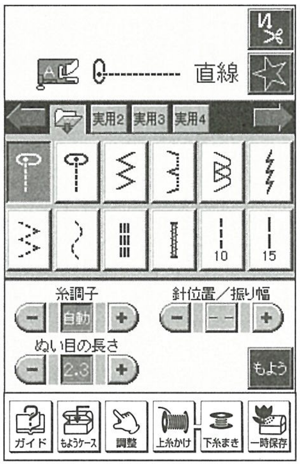
6 次ページ を押すたびに次の画面に移ります。



7 実用画面に戻りたいときは 戻る を押します。



8



※ 前ページ を押すと、
前の画面が表示されます。

●ぬい方説明表示の種類と画面数

ぬい方	画面数
ピンタック	2 画面
ギャザー	3 画面
いせ込み	3 画面
コンシールファスナー	6画面
脇あきファスナーつけ	7画面
つき合わせファスナーつけ	7画面
小物作りのファスナーつけ	4画面
たち目かがり	1画面
アップリケ（2種）	各4画面
まつりぬい	5画面
たち目かがり	1画面
伸縮直線ぬい	1画面
たち目かがり	1画面
飾りぬい	1画面
伸縮強化ぬい	1画面
かん止め	5画面
しつけ（10）	1画面
しつけ（15）	1画面
ボタン穴かがり	9画面
ボタン穴かがり	9画面
ボタン穴かがり	9画面

ぬい方	画面数
ハト目ボタン穴かがり	9画面
ハト目ボタン穴かがり	9画面
ハト目ボタン穴かがり	9画面
ねむりボタン穴かがり	9画面
ねむりボタン穴かがり	9画面
ねむりボタン穴かがり	9画面
ねむりボタン穴かがり	9画面
伸縮ボタン穴かがり	9画面
伸縮ボタン穴かがり	9画面
伸縮たち目かがり	1画面
まつりぬい	5画面
アップリケ	4画面
パッチワーク・はぎ合わせ	3画面
パッチワーク・はぎ合わせ	3画面
たち目かがり	1画面
キルトステッチ	1画面
強化ぬい	1画面

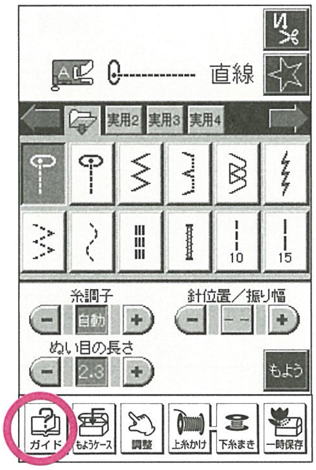
ぬい方	画面数
強化ぬい	1画面
強化ぬい	1画面
強化ぬい	1画面
強化ぬい	1画面
横送り：直線右	1画面
横送り：直線下	1画面
横送り：直線左	1画面
横送り：直線上	1画面
横送り：ジグザグ右	1画面
横送り：ジグザグ下	1画面
横送り：ジグザグ左	1画面
横送り：ジグザグ上	1画面
ダーニング	1画面
ダーニング	1画面
強化ぬい	1画面
強化ぬい	1画面
もよう を押して表示されるもよう	2画面

ガイド キーの使い方　（2）ミシンの使い方

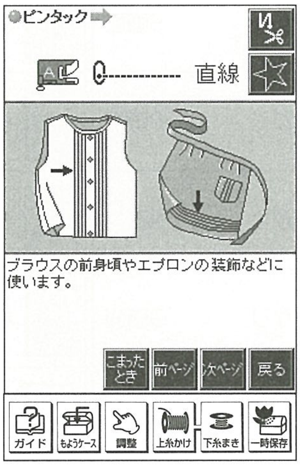
基本操作

例：「自動上糸かけ」の方法を知りたいときは・・・

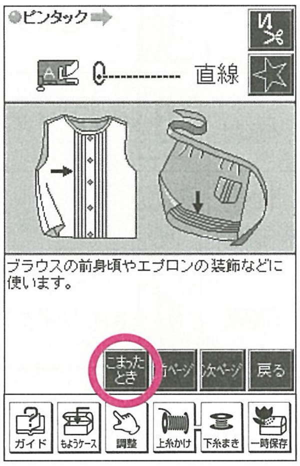
1 画面下の ガイド キーを押します。



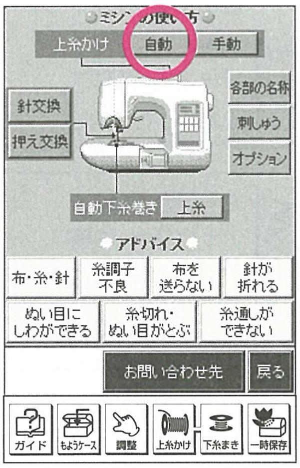
2



3 画面上の こまったとき を押します。

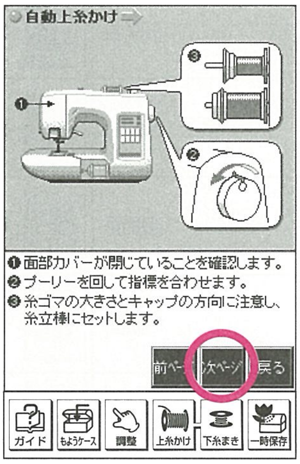


4 画面上の 上糸かけ 自動 を押します。

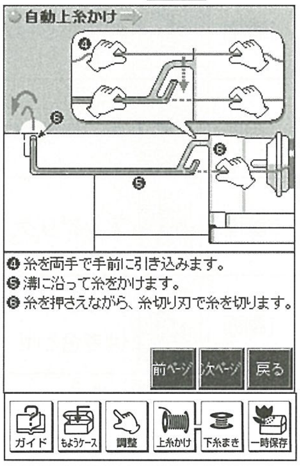


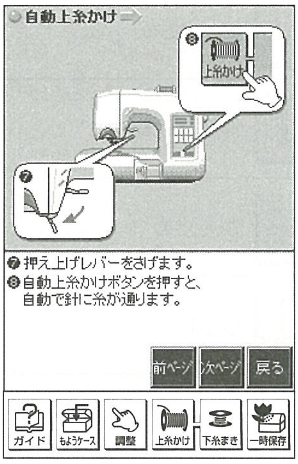
5

6 次ページ を押すと・・・



7 さらに 次ページ を押していくと・・・





＊ 前ページ キーを押すと、前のページが出てきます。

＊ 戻る を押すと「ピンタック」の画面に戻ります。

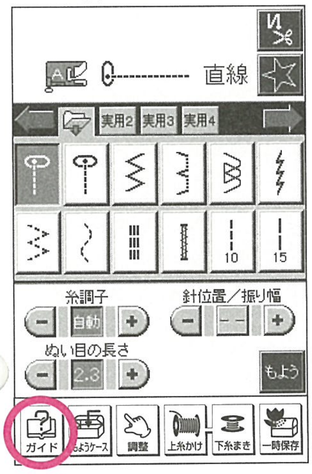
●ミシンの使い方説明表示の画面枚数（本体の場合）

自動上糸かけ	4画面	自動下糸まき（上糸ゴマ）	4画面	刺しゅう機のセット	5画面
手動上糸かけ	4画面	自動下糸まき（専用糸ゴマ	5画面	各部の名称	4画面
針の交換	1画面	押えの交換	1画面	オプション（89,90ページ参照）	5画面

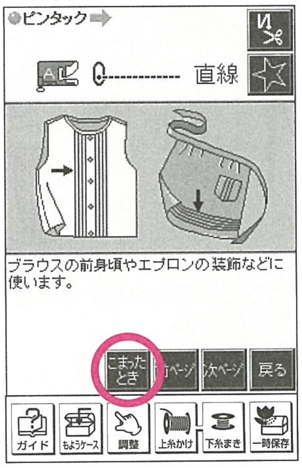
キーの使い方　(3) アドバイス

例：「布・糸・針の関係」を知りたいときは・・・

1 画面下の ガイド キーを押します。

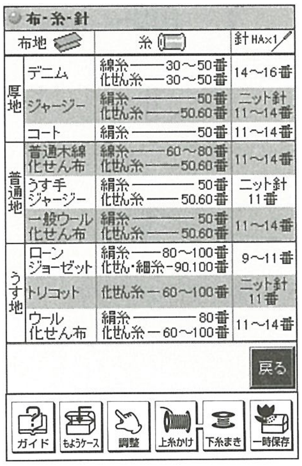


2 画面上の こまったとき を押します。



3 画面上の 布・糸・針 を押します。

4



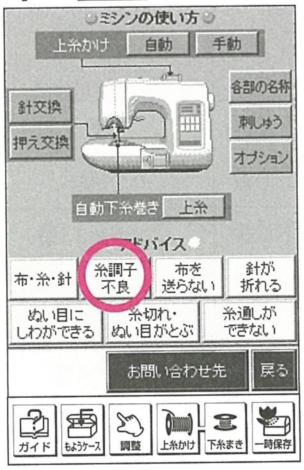
＊説明画面がいくつもある場合は 次ページ を押して確認してください。

＊終了したいときは、 戻る を押してください。元の画面に戻ります。

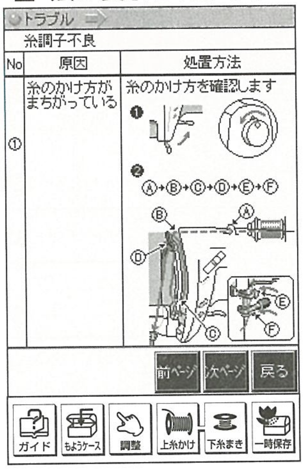
ぬい調子が悪かったり、トラブルがおきたときは・・・

例：糸調子が不良のときは・・・

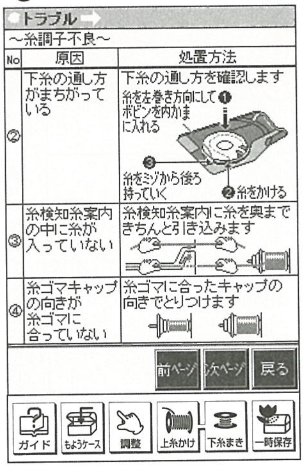
1 アドバイス項目の中の 糸調子不良 を押します。



2 「糸調子不良」の考えられる原因と処置方法が表示されます。



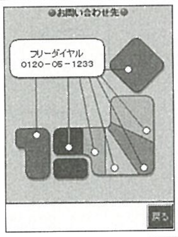
3 次ページ を押していくと、いろいろなトラブルの原因と処置方法が表示されます。



＊終了したいときは、 戻る を押してください。元の画面に戻ります。

●アドバイス説明表示の画面枚数（本体の場合）

布・糸・針	1画面	ぬい目にしわができる	1画面
糸調子不良	2画面	糸切れ・ぬい目がとぶ	4画面
布を送らない	1画面	糸通しができない	2画面
針が折れる	3画面	お問い合わせ先	1画面

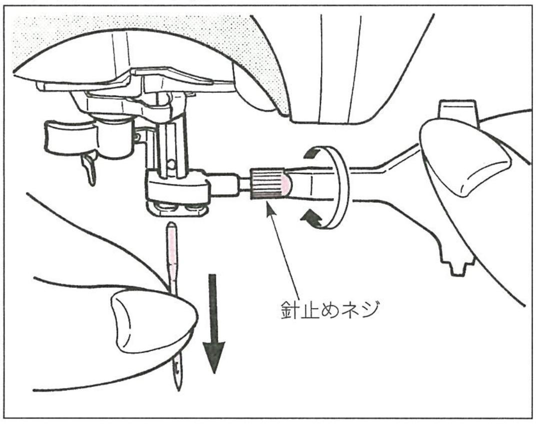


お問い合わせ先

針の交換

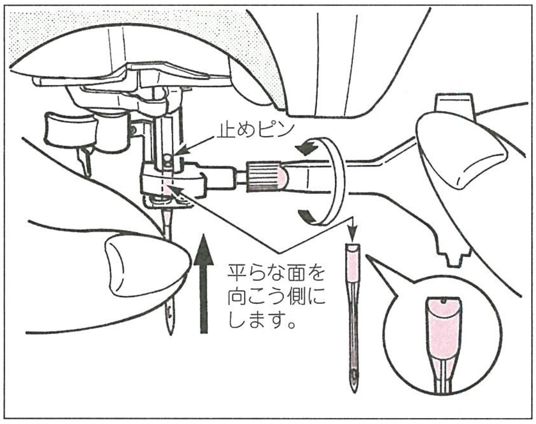
⚠注意 針の交換のときは電源スイッチを切ってください。
刺しゅうぬいのときは、一時保存してから切ってください。

1．針のはずし方



①針を最上部にあげます。
②針止めネジをゆるめます。

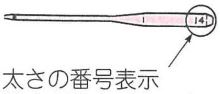
2．針の取り付け方
(針が正しい向きでないと、取り付きません)



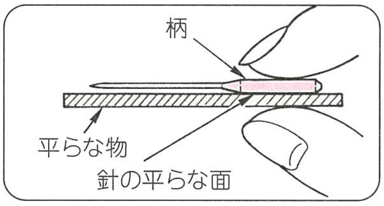
針の平らな面を向こうにして止めピンに突き当てます。針止めのネジをしめます。

●針の選び方

針をお買い求めの際は、
家庭用ミシン針のＨＡ×１、
またはＨＡ×１ＳＰ（ニット針）
を指定します。

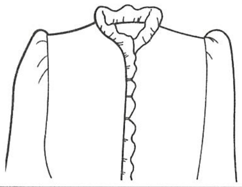
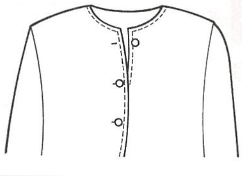
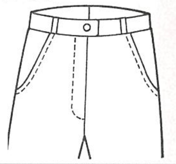


●針の調べ方



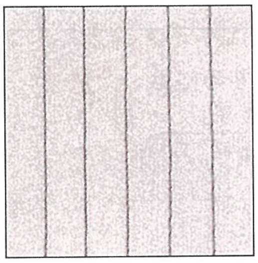
すき間が針先まで平均に
見えるのが良い針です。
針先が曲がったり、つぶれて
いるものは使わないように
します。

●布地に合った糸と針の選び方

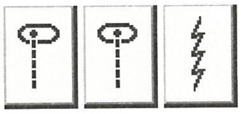
	布地	ミシン糸	ミシン針 HA×1
薄地ぬい 	ローン	絹ミシン糸……80番～100番	9番
	ジョーゼット	化繊・細ミシン糸……90番・100番	11番
	トリコット	化繊ミシン糸……60番～100番	ニット針11番
	ウール・化繊布	絹ミシン糸……80番 化繊ミシン糸……60番～100番	11～14番
普通地ぬい 	普通木綿・化繊布	綿糸……60番～80番 化繊ミシン糸……50番・60番	11～14番
	薄手ジャージー	絹ミシン糸……50番 化繊ミシン糸……50番・60番	ニット針11番
	一般ウール・化繊布	絹ミシン糸……50番 化繊ミシン糸……50番・60番	11～14番
厚地ぬい 	デニム	綿糸……30番～50番 化繊ミシン糸……30番～50番	14～16番
	ジャージー	絹ミシン糸……50番 化繊ミシン糸……50番・60番	ニット針11～14番
	コート	絹ミシン糸……50番	11～14番

※ニット針〔ＨＡ×１ＳＰ（１ＫＮ)〕は目とびを防ぎ、伸縮性の布地に適します。

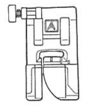
直線ぬい



選ぶ模様



使う押え



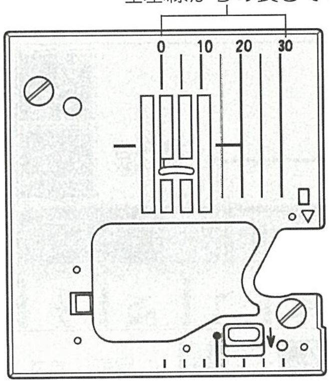
基本押え（A）

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

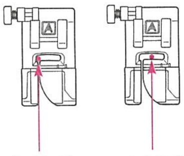
直線ぬいは、ぬいの基本です。
布地に適した針と糸を選びましょう。

針板の刻線

左基線からの長さです。



針の落ちる位置

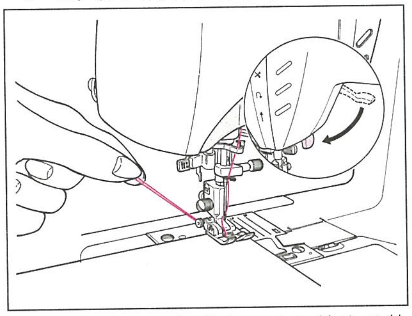


：左基線の直線模様です。
（自動的に選ばれます。）

：中基線の直線模様です。

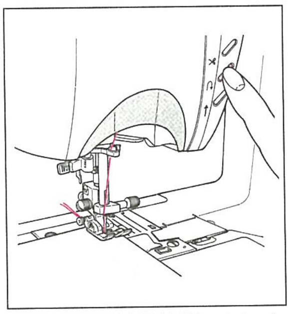
：伸縮地用の直線模様です。

1 返しぬいの分だけ後ろへ布地を入れて押えをさげます。



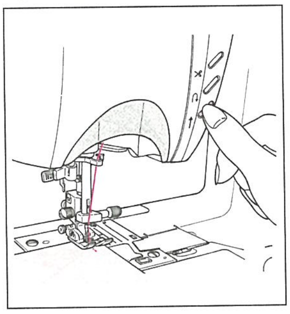
布地を押えの下におき、ぬい始める位置に針をおとします。上・下糸をそろえて押えをさげます。

2 返しぬいボタンを押します。

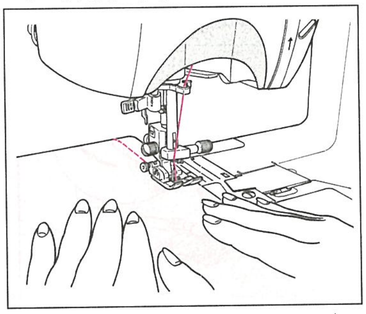


押してる間だけ返しぬいをします。

3 スタートさせます。

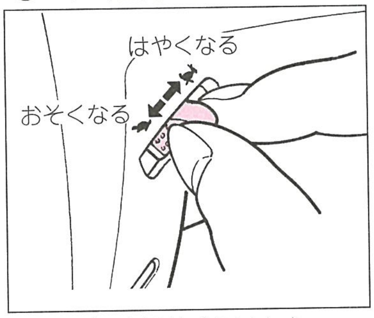


4 布地に軽く手をそえます。



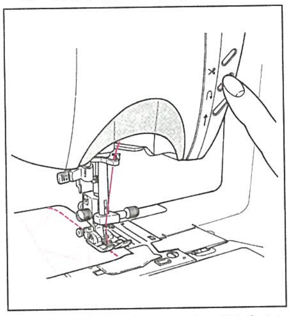
ぬっている間は布地をムリに引っぱらないようにします。

5 ぬい速度を調節します。



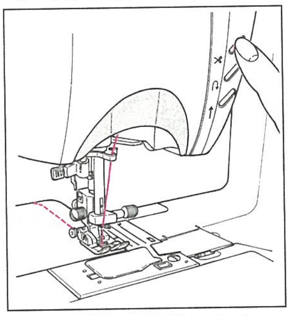
上にあげるとはやくなります。
下にさげるとおそくなります。

6 返しぬいボタンを押します。



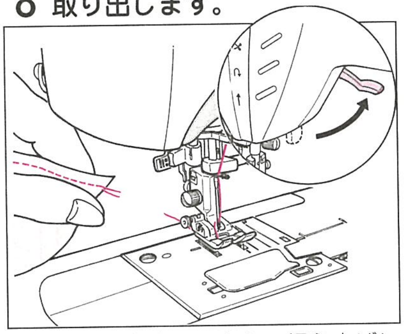
※返しぬいをしない場合はスタート・ストップボタンを再度押してストップさせます。

7 糸を切ります。



糸切りボタンを押します。

8 押えをあげて布地を取り出します。



針が完全に止まってから、押え上げレバーを上にあげます。
上・下糸が同時に切れて、布地が取り出せます。

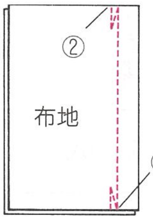
自動止めぬい（返しぬい）

ぬう模様を選んでから

を押します。

ぬい始め、ぬい終りに３針の
返しぬい（止めぬい）をして、
最後に上・下糸の糸切り
をして止まります。

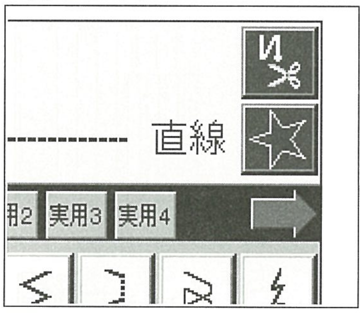
例：直線ぬい



**＊自動止めぬいを解除するには
3通りの方法があります。**

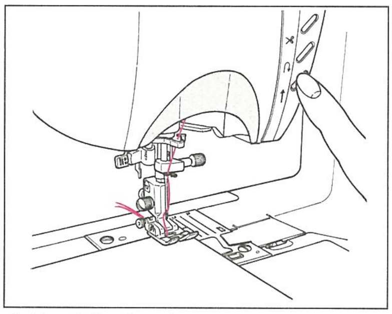
（１）もう一度 を
押します。
（２）他の模様を選びます。
（３）電源を入れ直します。

**①模様を選んだあと を
押します。**



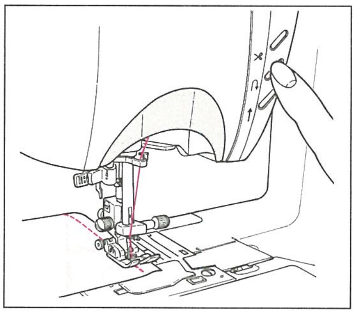
が に反転します。

**②布地をぬい始める位置に
入れ、スタートさせます。**



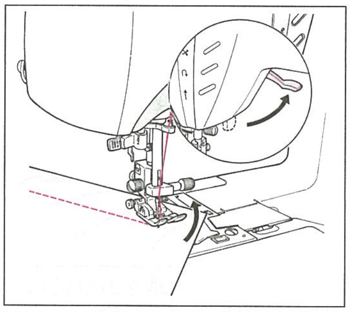
３針の返しぬいをして、
ぬい進みます。

**③返しぬいボタンを
押します。**

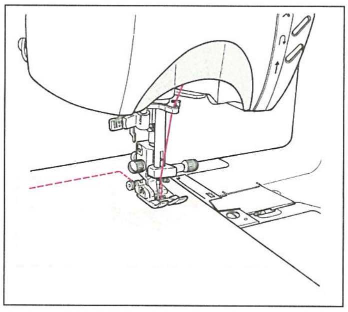


所定の位置で返しぬいボタンを押します。
３針の返しぬいをして、所定の位置で自動的に
止まり、上・下糸の糸切りをします。

■ぬい方向を変えるには

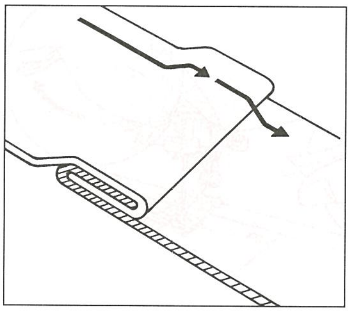


所定の位置でストップさせて押え
をあげ、針を軸にして布地を回し、
ぬい方向に正しくセットします。

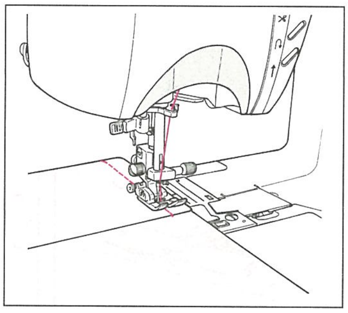


押えをさげてぬい始めます。

■ぬいしろの重なっている部分のぬい方

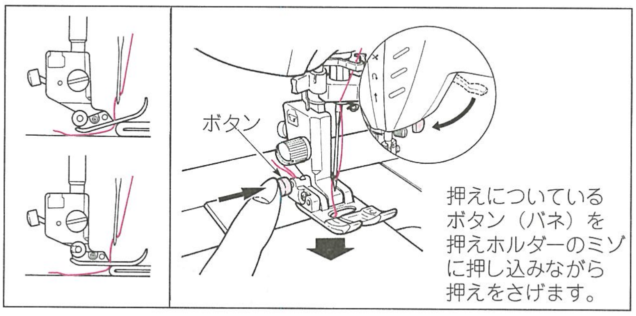


ぬいしろの重なりや、極端に厚み
に差ができているところは、ぬい
しろを倒した方向にぬいます。



手で少しずつ布の送りを助けなが
らぬっていきます。
※薄地のぬい始めは上・下糸を
進む方向に軽くひっぱりながら
ゆっくりとぬいます。

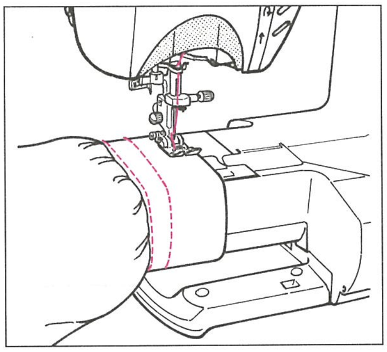
■厚地のぬい始め



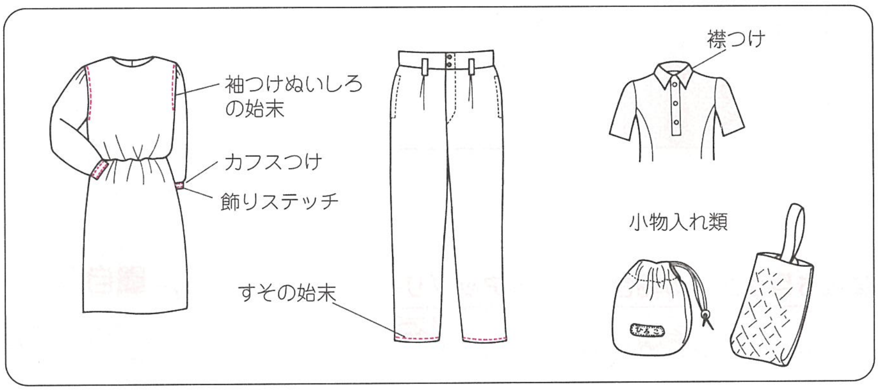
ぬいしろが重なった布端よりぬう場合は、押えについている
ボタンを使うと、押えが布地と平行になり、スムーズにぬう
ことができます。

筒ぬい（フリーアーム）

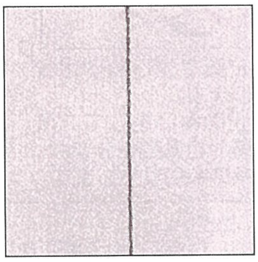
カフスつけ、ノースリーブの見返しつけ、袖口、
ズボンのすそなど、筒型部分をぬうのに大変便利です。

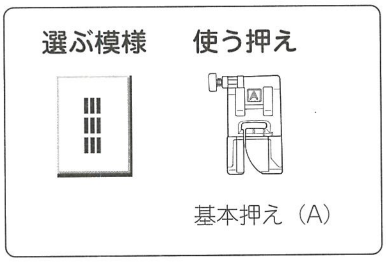


補助ベッドを左側へ引いて、はずします。



伸縮強化ぬい

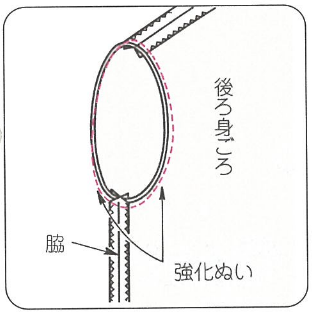




⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

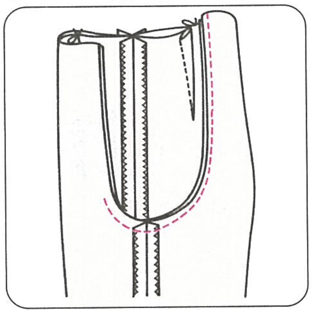
伸縮性のある布地や、力がかかってほつれやすい部分
などに使うと、ぬい目がしっかりします。

●袖つけ



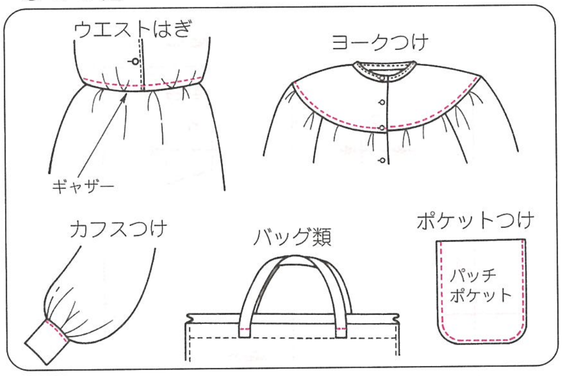
後ろ袖や、袖下に力がかかり、ほつれやすいところに使います。

●パンツ類の股ぐり



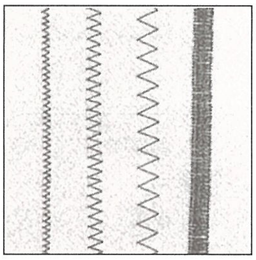
二度ぬいするときに便利です。

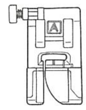
●その他



ぬい合わせる布の一方にギャザーやタック، プリーツなどが入っているとき（ウエストはぎ、カフスつけ、ヨークつけなど）使うと、ぬい目がしっかりとできあがります。

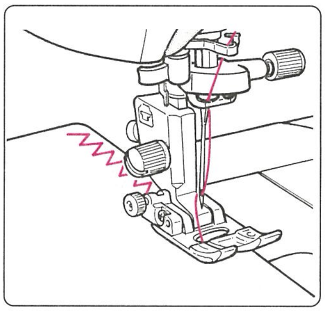
ジグザグぬい



選ぶ模様	使う押え
	 基本押え（A）

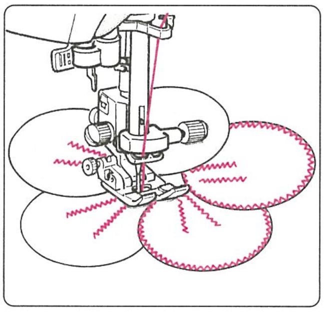
⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

●裁ち目かがりの場合



針は布端ぎりぎりのところへおとします。

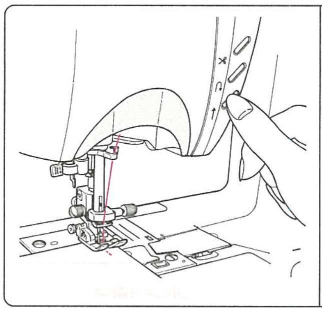
●アップリケの場合



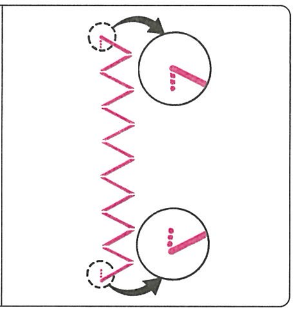
カーブをぬうときはジグザグ模様（小）か（中）を選び、ぬい目を細かくします。
針をアップリケ布の端より少し外側へおとします。

■自動止めぬい

ぬう模様を選んでから **を押します。**
布地をぬい始める位置に入れ、スタートさせます。



3針の止めぬいをしてからぬい進みます。



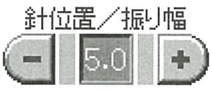
所定の位置で返しぬいボタンを押します。
3針の止めぬいをして、所定の位置で自動的に止まり、上・下糸の糸切りをします。

※必ず返しぬいボタンでストップさせてください。
返しぬいボタンを押さずにミシンをストップさせ、ぬう場所を変えて再度スタートさせると、（模様を選び直さないかぎり）止めぬいをしないで前のもようの続きをぬい始めてしまいます。

●ジグザグ模様の振り幅／ぬい目の長さ

				振り幅 自動
振り幅（例）		2	3	5
ぬい目の長さ	自動	1.5	1.5	1.5
	手動の範囲	0.2～4.0	0.2～4.0	0.2～4.0

振り幅

自動の振り幅は： 

手動の振り幅は：画面上の振り幅を変更して選びます。

●振り幅を変えるには
を押します。

ぬい目の長さ

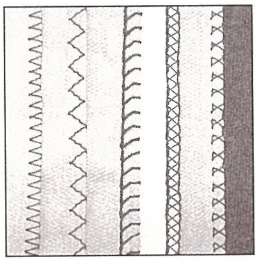
自動のぬい目は：

手動のぬい目は：画面上のぬい目の長さを変更して選びます。

●ぬい目の長さを小さくするには
を押します。

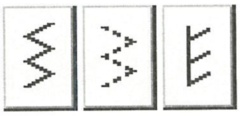
●ぬい目の長さを大きくするには
を押します。

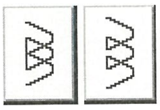
裁ち目かがり



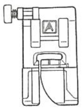
布地の裁ち目がほつれるのを防ぐために用います。

選ぶ模様

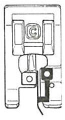




使う押え



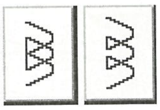
基本押え（A）



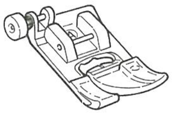
裁ち目かがり押え（C）

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

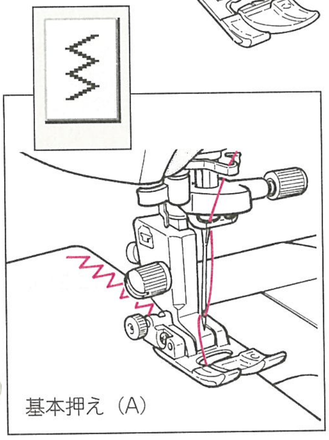
ご注意：
裁ち目かがり押え（C）は

縁かがり模様  だけにご使用ください。

その他の模様は押えに針がぶつかります。



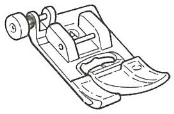
基本押え（A）



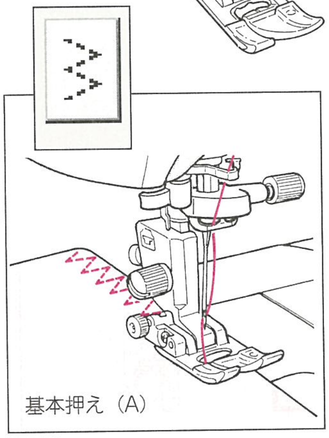
ジグザグぬいの裁ち目かがり

薄地の布で布端が丸まりやすい場合に使います。

※薄地や普通地では
　振り幅を小さめにします。

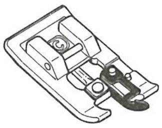


基本押え（A）

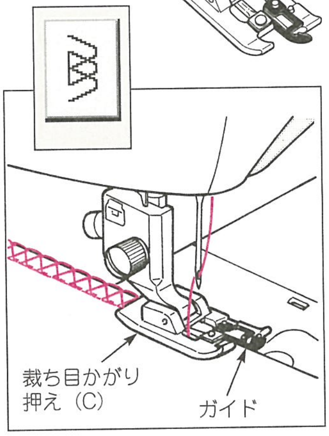


三点ジグザグぬいの裁ち目かがり

ほつれやすい布、伸縮性のある布に利用します。

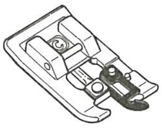


裁ち目かがり押え（C）

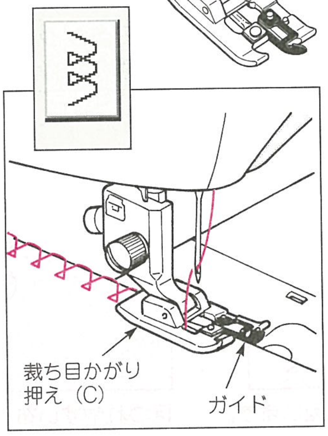


ジグザグぬいの裁ち目かがり

裁ち目のほつれ止めとして広範囲に利用できます。布端を押えのガイドにあてて、ぬいます。



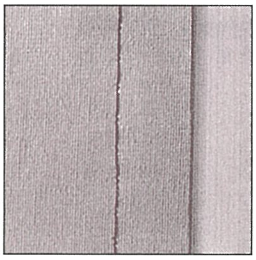
裁ち目かがり押え（C）



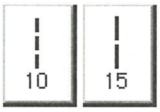
オーバーロックの裁ち目かがり

布地のたち目のほつれ止めとして広く使います。
布端に針が落ちるようにぬいます。

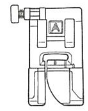
しつけぬい



選ぶ模様



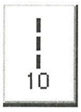
使う押え



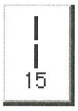
基本押え（A）

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

まつりぬいやファスナーつけなど、
このしつけぬいをしますと、あとの糸ぬきが簡単にできます。

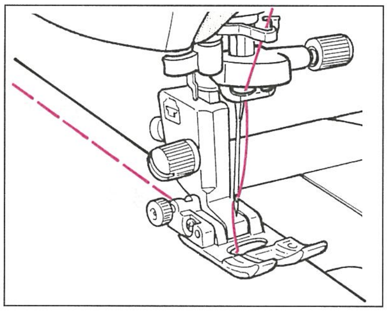


：1センチごとの針落ち（ぬい目）になります。

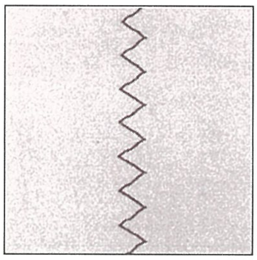


：1.5センチごとの針落ち（ぬい目）になります。

模様を選び、上・下糸をそろえて後ろへ出してから、スタートさせます。

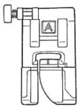


三点ジグザグ



選ぶ模様

使う押え

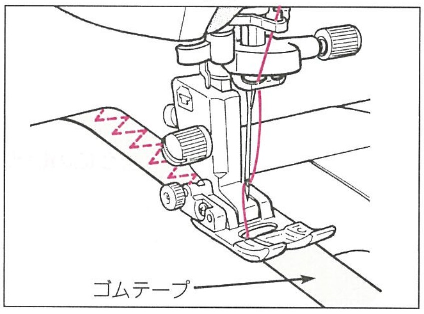


基本押え（A）

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

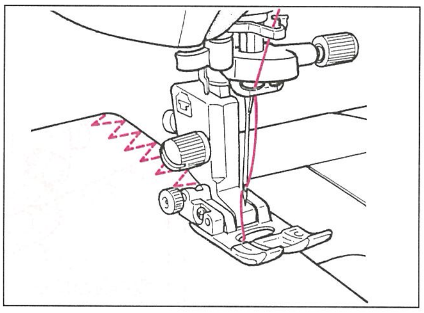
ゴムテープ、のび止めテープ、インサイドベルトを布地にぬい止める場合や
伸縮素材の裁ち目かがりなどに、三点ジグザグぬいを使います。

■三点ジグザグの テープつけの場合



ゴムテープを前後にのばしながらぬいます。

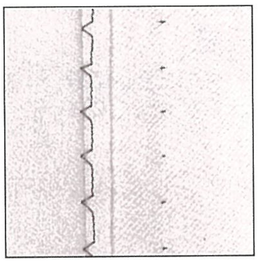
■三点ジグザグの 裁ち目かがりの場合



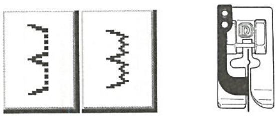
ほつれやすい布、伸縮性のある布に利用します。
布端に針が落ちるようにぬいます。

（まつりぬい）

ブラインドステッチ



選ぶ模様　　使う押え

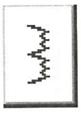


ブラインドステッチ
押え（D）

⚠注意　押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

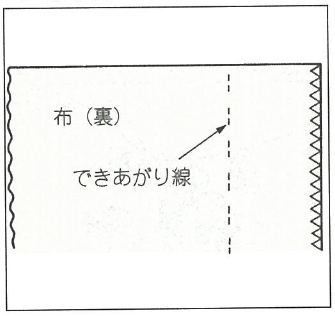
スカートやワンピースなどの、
すそのまつりが簡単にできます。

：普通地用



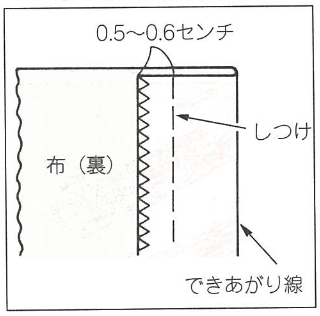
：伸縮地（ジャージー、ニット地など）用

1 裁ち目かがりをします。

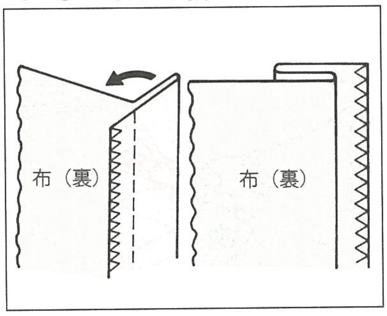


●裁ち目かがりは28ページ参照
●しつけぬいは29ページ参照

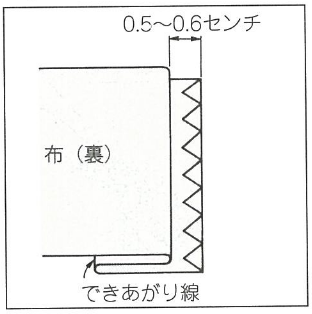
2 しつけをします。



3 しつけより折ります。

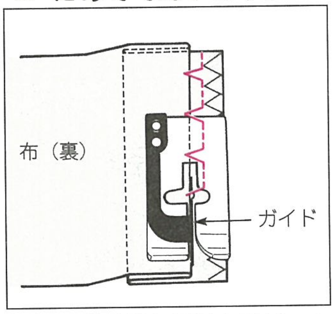


4



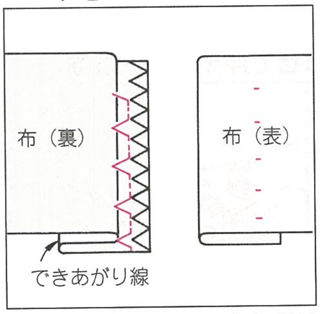
※0.5〜0.6センチ出します。

5 折り山を押えのガイドにあてててぬいます。



押えのガイドを折り山にピッタリあててぬいます。

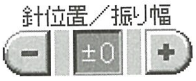
6 布地をかえします。



布地をかえして、できあがりに整えます。

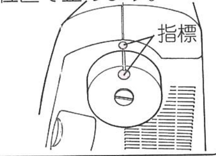
●ブラインドステッチの針落ちの調整方法

画面の

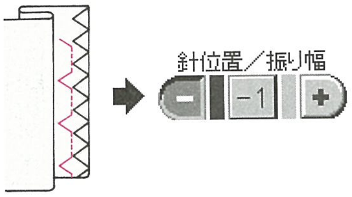


で調整します。

プーリーの指標を目安に「ピッ」と音がなる位置で止めます。

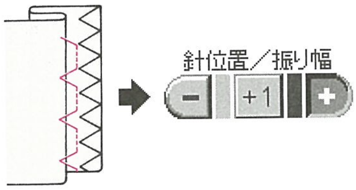


折り山にぬい目がかからない場合



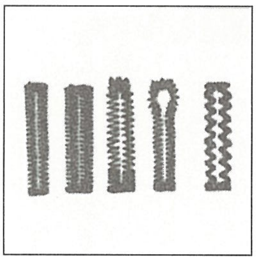
[−]を押して針落ちを左にずらします。
（はずみ車をまわして針落ちを確認し、針を上に上げてから調整してください。）

折り山にぬい目がかかりすぎた場合

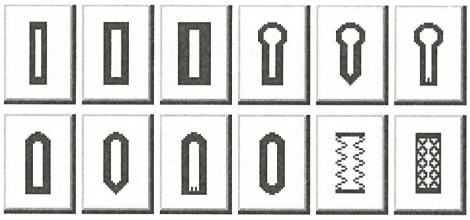


[+]を押して針落ちを右にずらします。
（はずみ車をまわして針落ちを確認し、針を上に上げてから調整してください。）

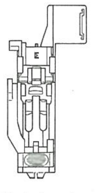
両かん止め／ハトメ穴かがり



選ぶ模様



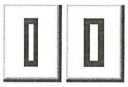
使う押え



ボタン穴
かがり押え（E）

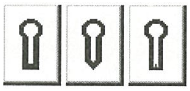
⚠注意

押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

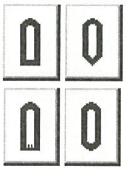


薄い布地（シャツ、ブラウスなど）の小さいボタンに使います。

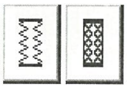
普通の布地で大きめのボタンに使います。



厚い布地（スーツ、オーバーなど）の大きいさいボタンに使います。

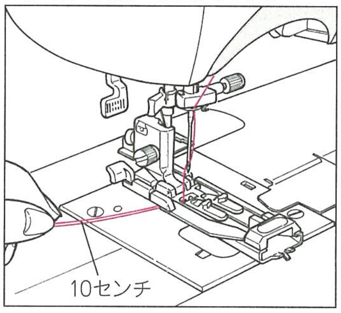


薄い布地（シャツ、ブラウスなど）の大きいボタンに使います。



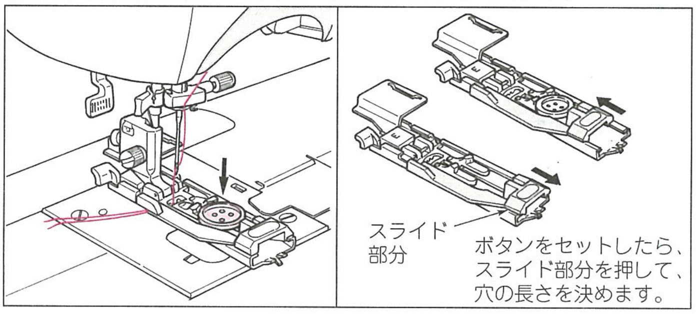
ニット地に使います。

1 糸を横に出します。



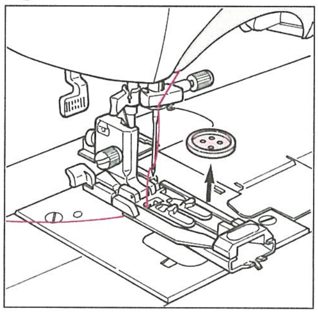
上糸を押えの下へくぐらせます。

2 一度押えをさげて、ボタンをセットします。



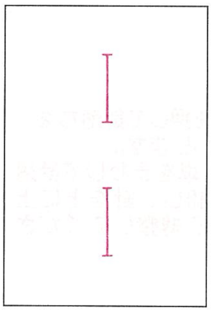
かがり穴の長さはボタンをセットするだけで自動的に決まります。
（押えにボタンがのらないときは、ボタンの直径＋ボタンの厚みが、かがり穴の長さです。）

3 ボタンをはずします。



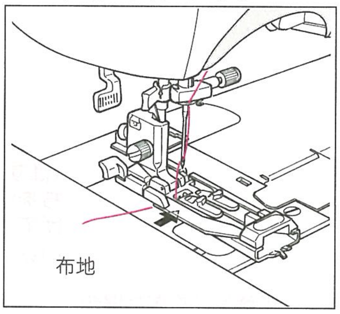
長さが決まりましたらボタンをはずします。

4 布地に印をつけます。

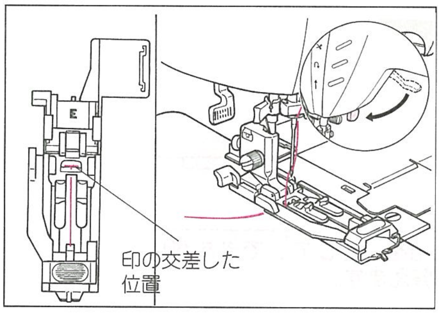


ボタン穴の位置にチャコで印をつけます。

5 布地を入れます。

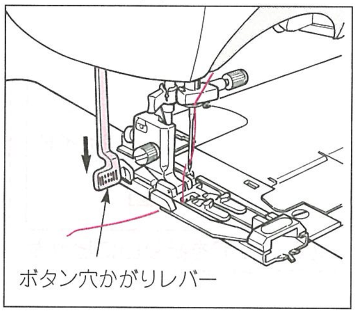


6 印に合わせて押えをさげます。



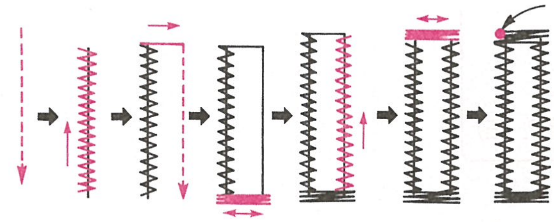
印を押えの針穴の中心に正しくセットして、押えをさげます。

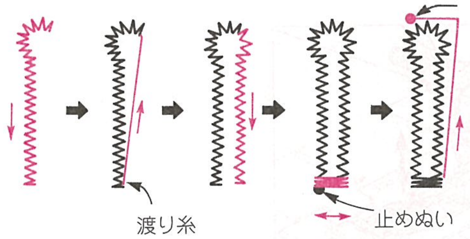
7 ボタン穴かがりレバーをさげます。



レバーを止まるところまでさげます。

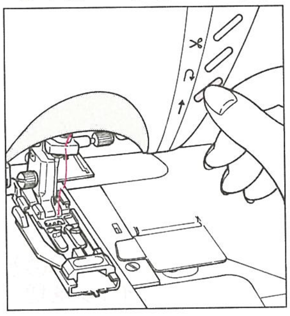
●自動ボタン穴かがりのぬわれる順序





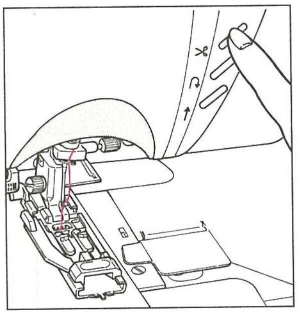
8 ぬい速度を決めます。

9 スタートさせます。



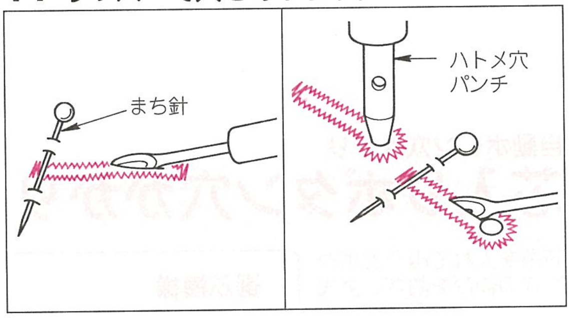
スタート・ストップボタンを押します。

10 ぬい終ったら糸を切ります。



糸切りボタンを押します。
※ボタン穴の2個目からは布地の次の印に合わせ押えをさげてぬうことができます。

11 リッパーで穴をあけます。

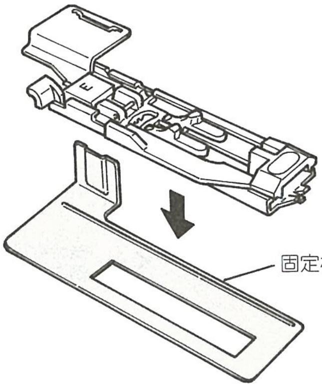


リッパーでぬい糸を切らないように中央の布地を切り開きます。
かん止めの所にまち針をさしますと切りすぎがありません。

厚紙などを下にしいて、ハトメ穴パンチで穴をあけてから、リッパーを使ってください。

※ボタン穴の大きさをまちがえたり、途中で糸切れしたときは、
ミシンを止めて模様を選びなおして最初からぬってください。
ぬいの途中で押えをあげると、途中までのぬいがクリアされます。

薄地や段部近辺のぬいにくいボタン穴かがりには、
固定板をセットするとスムーズにぬうことができます。



1.ボタン穴かがり押えに固定板をセットしたまま、押えを取り付けます。

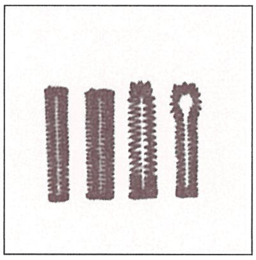
2.押えと固定板の間に布地を入れてぬいます。

＊糸調子を強くします。

実用ぬい

自動ボタン穴かがり

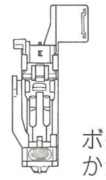
パールぬい



選ぶ模様

両かん止め／
ハトメ穴かがり
と同じ。

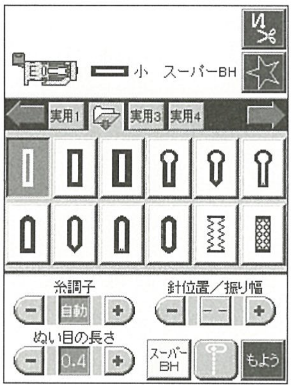
使う押え



ボタン穴
かがり押え（E）

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

表布上で上糸と下糸重なりが山となり、手ぬい風になります。



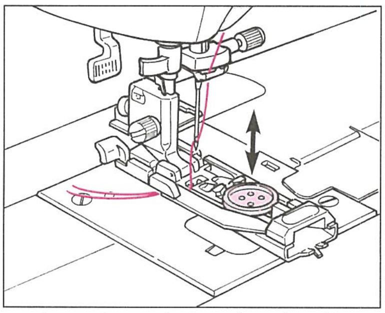
ボタン穴かがりを選び、

スーパーBH を押します。

スーパーBH が スーパーBH に

反転します。
画面上に表示されます。

ぬう順序は自動ボタン穴かがり
と同じです。



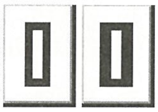
※パールぬいのとき、古い糸など
切れやすい糸は、糸調子を
自動よりよわめにしてください。

自動ボタン穴かがり

芯入りボタン穴かがり

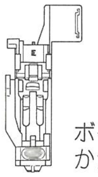
芯糸を入れてぬうとボタン穴の伸びを防ぎ、丈夫なボタン穴かがりができます。
芯糸にはレース糸、穴糸などを使用します。

選ぶ模様



（中）（大）

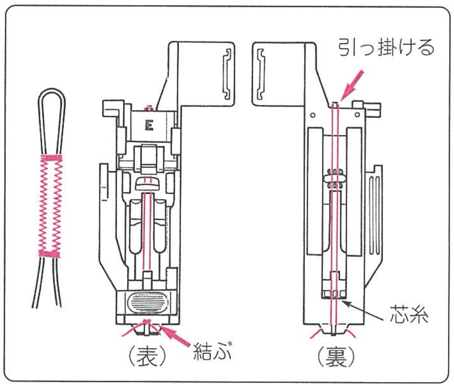
使う押え



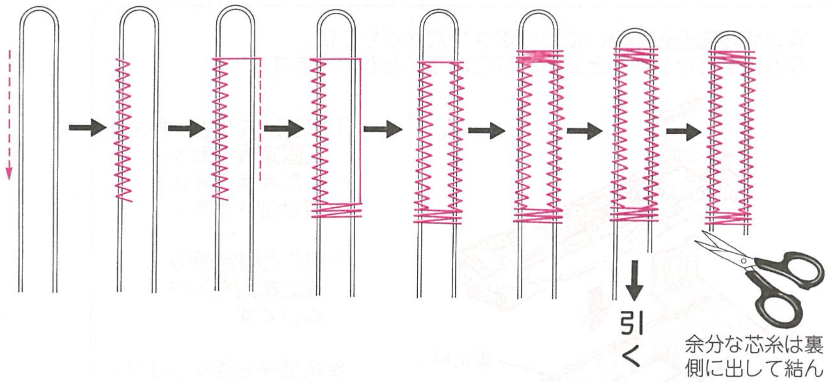
ボタン穴
かがり押え（E）

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

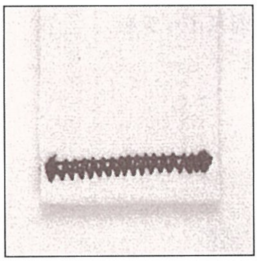
●芯入りボタン穴かがりの
芯のかけ方



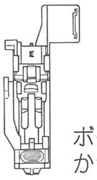
芯糸を、ボタン穴かがり押えの裏側の先端に引っ掛けて、裏側の手前側を結びます。
そのままボタン穴かがり押えを取り付けて、穴かがりをすれば芯糸入りのボタン穴かがりができます。



かん止め



選ぶ模様　使う押え



ボタン穴
かがり押え（E）

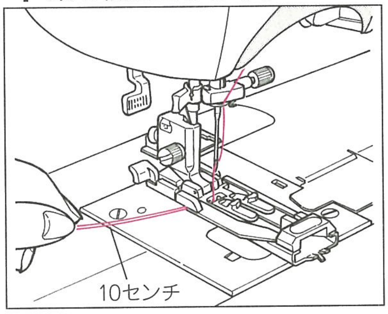
⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

ほつれやすい部分に使うとぬい目がしっかりします。

■使用例

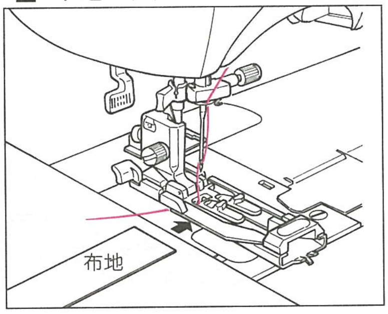
＊かん止めの長さは、返しぬいボタンを押すことで決まりますが、最長20針までで自動的にUターンします。
＊段部などで押えが水平にならないときは、あて布や厚紙をご使用ください。

1 糸を横に出します。

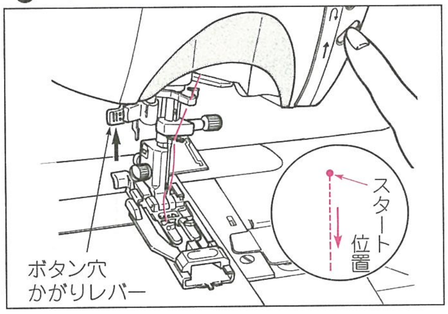


上糸を押えの下へくぐらせます。

2 布地を入れます。

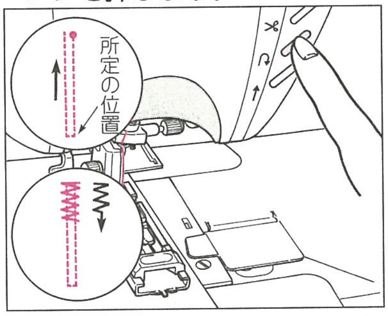


3 ボタン穴かがりレバーをあげたままスタートさせます。



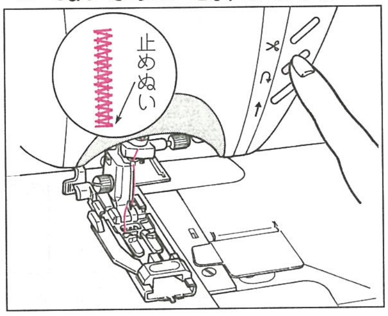
スタート・ストップボタンを押すと直線ステッチが始まります。

4 所定の位置で返しぬいボタンを押します。



スタート位置へ直線ステッチで返り、ふたたび自動的にジグザグぬいで戻ってきます。

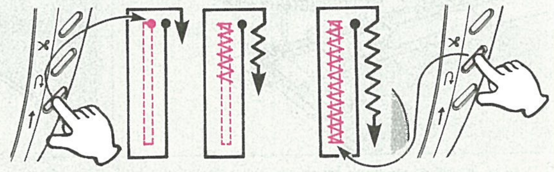
5 所定の位置まできたら返しぬいボタンを押します。



止めぬいをして止まります。

同じ長さのかん止めをつづけてぬうには･･･
1つ目のかん止めの長さが記憶されていますので

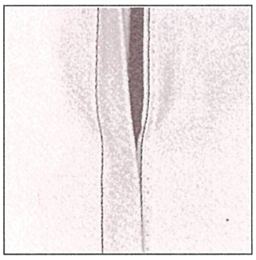
- スタート・ストップボタンを押すと自動的にUターンします。
- ぬい終り位置にきたら返しぬいボタンを押してください。

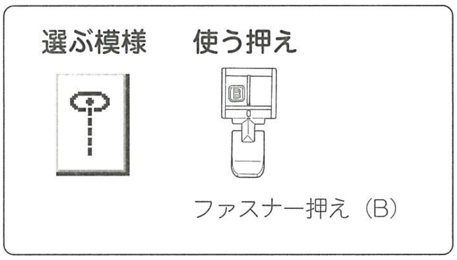


＊記憶されたかん止めの長さを変更したいときは、もう一度、模様を選びなおしてください。

脇あき

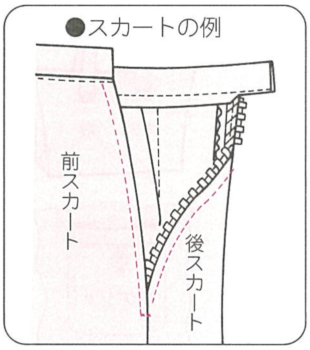
ファスナーつけ



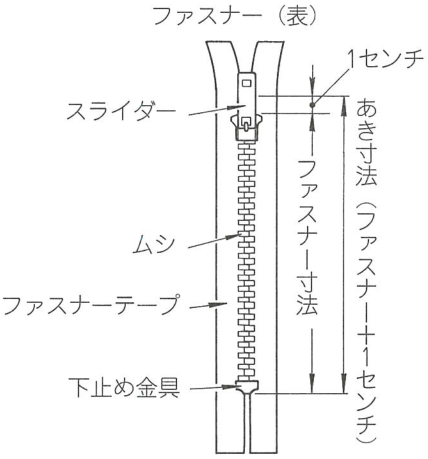


⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

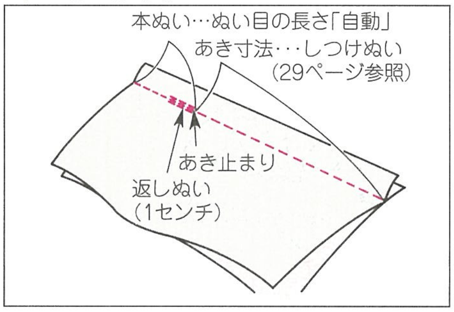
スカート、スラックス、ワンピースなどのあきの始末に用います。



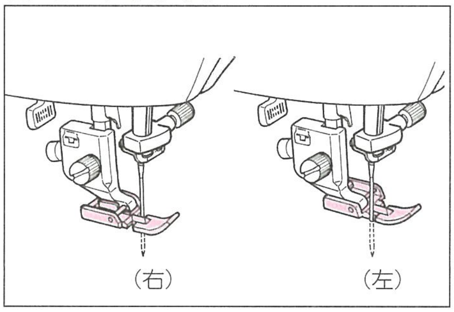
：必ず中基線の直線でぬってください。



1 基本押え（A）を使ってぬいます。

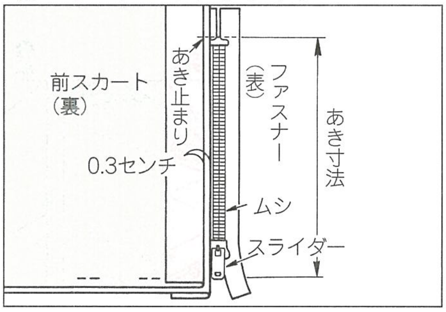


2 ファスナー押え（B）をセットします。



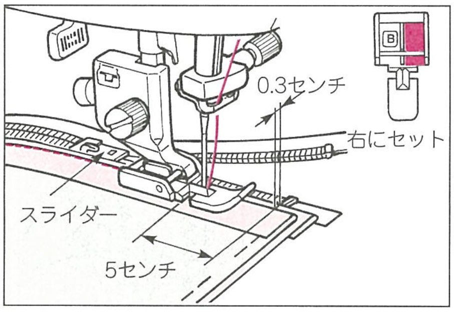
ファスナーの左側をぬうときは、押えの右へセットします。右側をぬうときは、左へセットします。

3 ぬいしろをわります。



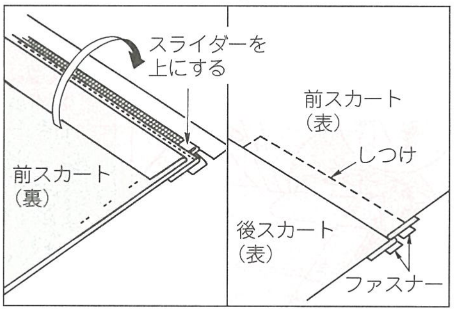
ぬいしろをわり、後ろスカートのぬいしろを0.3センチ出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をムシのきわにあてます。

4 左側をあき止まりからぬいます。



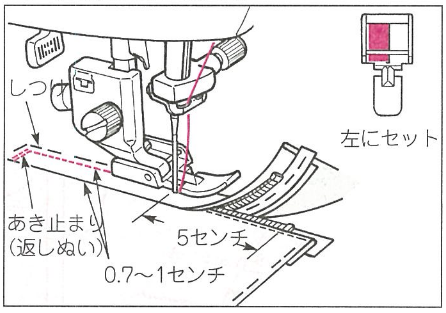
0.3センチ幅の中央をあき止まりからぬいます。
手前5センチ位でミシンを止めて、スライダーを向こう側へさげて、端までぬいます。

5 前スカートをかえしてしつけをします。



※布とファスナーテープを手のしつけで止めます。

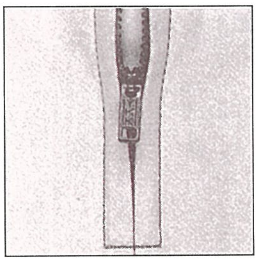
6 あき止まりを返しぬいして、右側をぬいます。

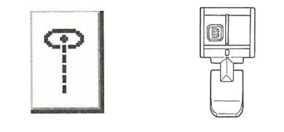


返しぬいしたあと、押えの左端をムシのきわにあて、0.7～1センチのミシンをかけます。
手前5センチ位のところでしつけぬいのぬい目をほどき、押えの向こう側までスライダーをさげます。そして残りの部分をぬいます。

つき合わせ

ファスナーつけ



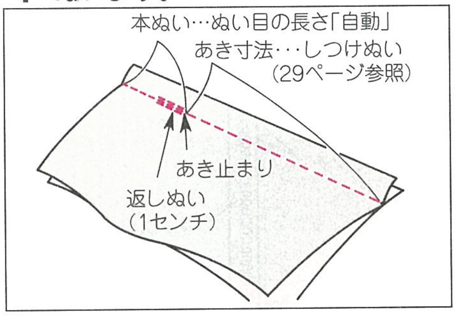


⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

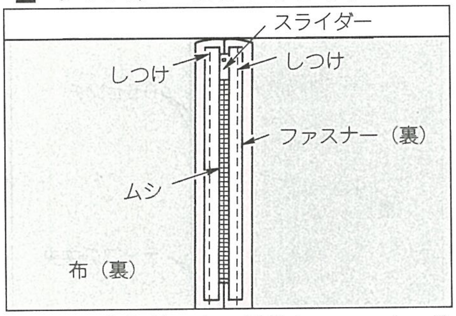
バック、クッション、カバー類に使われるファスナーつけの方法です。

：必ず中基線の直線でぬってください。

1 基本押え（A）を使ってぬいます。

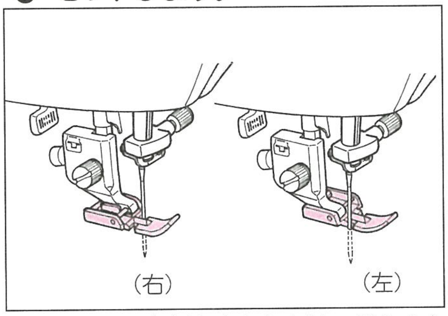


2 ファスナーをしつけます。



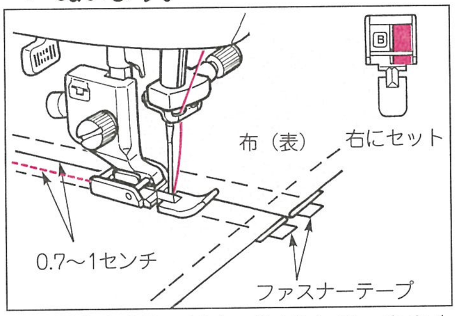
ぬいしろをわり、ぬい目線とファスナーのムシの中心を合わせて、表まで手のしつけで止めつけます。
スライダーは上に倒します。

3 ファスナー押え（B）をセットします。



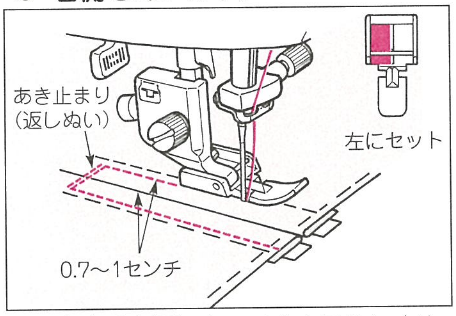
ファスナーの左側をぬうときは、押えの右へセットします。右側をぬうときは、左へセットします。

4 左側をあき止まりからぬいます。



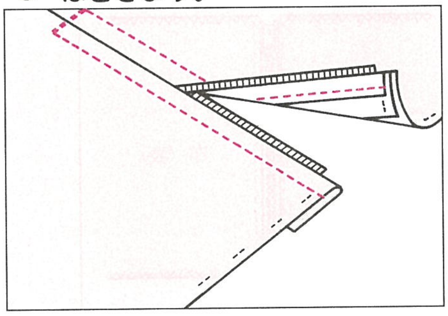
ぬい目から0.7～1センチはなして、あき止まりより上に向かってミシンをかけます。

5 右側をぬいます。

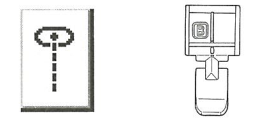


あき止まりを返しぬいで丈夫にぬい止め、もう一方も0.7～1センチはなしてミシンをかけます。

6 しつけぬい部分のみほどきます。



小物づくりの
ファスナーつけ



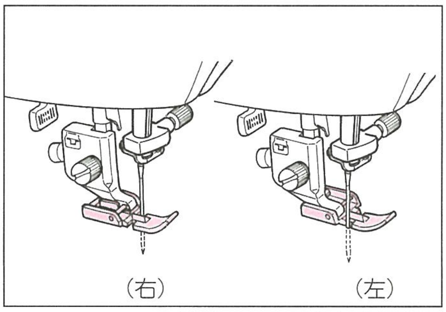
⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

ファスナーテープが見えるつけ方でポーチやバックに使われる方法です。

：必ず中基線の直線でぬってください。

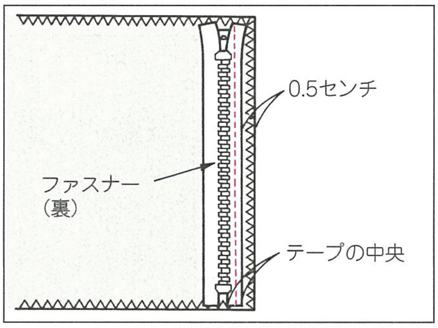
実用ぬい

1 ファスナー押え（B）をセットします。



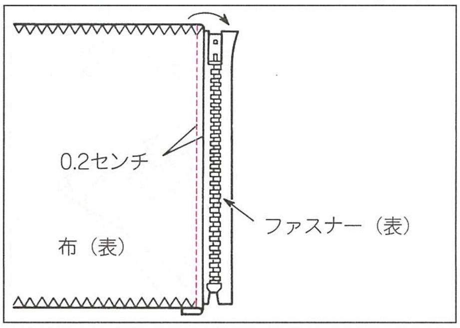
ファスナーの左側をぬうときは、押えの右へセットします。右側をぬうときは、左へセットします。

2



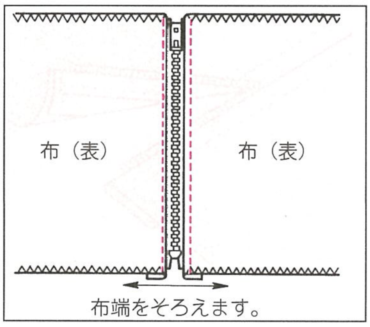
裁ち目かがりをした布地から0.5センチずらして裏にしたファスナーの片側テープの中央にミシンをかけます。

3



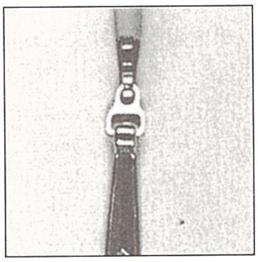
1.でぬったところからファスナーをかえして、その上に端から0.2センチのところへミシンをかけます。

4

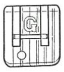


もう片方の布地も1,2と同じようにぬいつけます。

コンシールファスナーつけ



選ぶ模様　**使う押え**

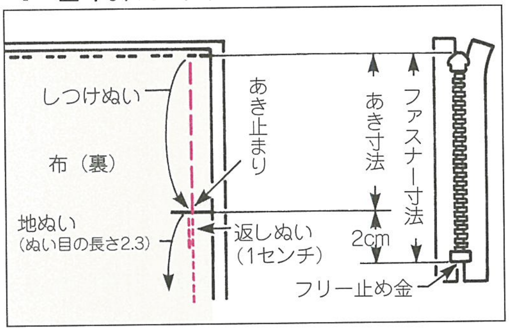


コンシールファスナー
押え（G）

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

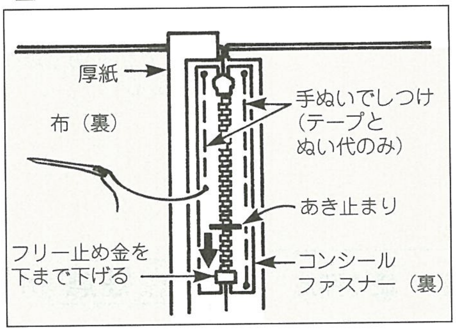
ファスナーのぬい目が布地の裏に出ないので、
つき合わせの状態で、あきの始末ができます。

1 **ファスナーあき寸法を確かめ基本押え（A）でぬいます。**



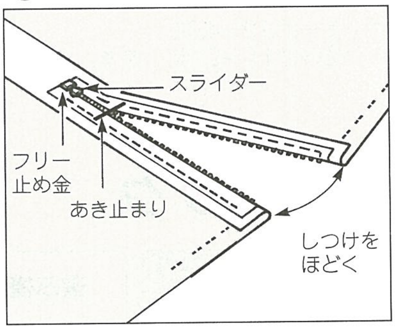
布地を中表に合わせ、布端よりあき止まりまでしつけぬいをします。
あき止まりからぬい目を（2.3）にして、1センチ返しぬいをし、所定の位置までぬいます。
ぬいしろをきちんとわります。

2



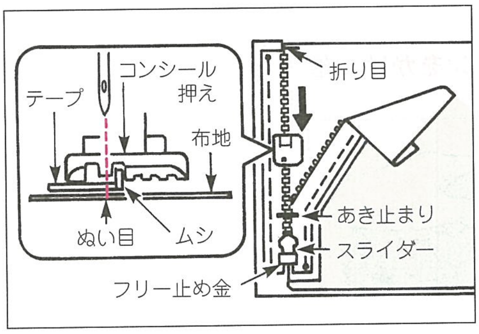
ぬい目線の上にコンシールファスナーの中心をのせて、ぬいしろと表布の間に厚紙を入れます。
ぬいしろとファスナーテープを両側とも手のしつけでぬい止めます。
しつけが終わったら厚紙をとります。

3



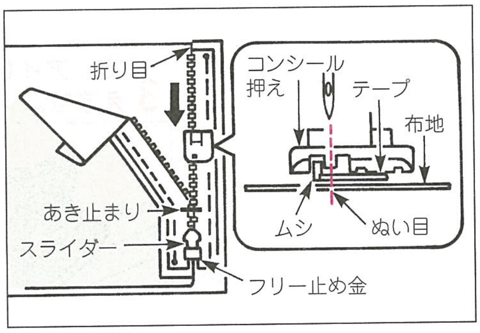
あき止まりまでぬったしつけぬいをほどいて、ファスナーを開きます。
スライダーをフリー止め金まで引き下げます。

4



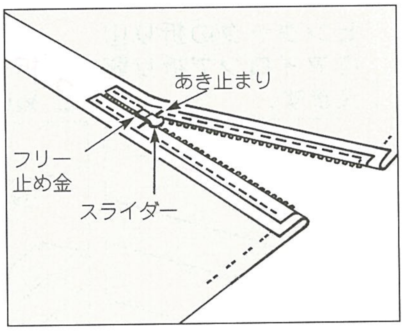
図のように左側の折り目を開き、あき止まりまでぬいます。
ファスナーのムシを押えのみぞに合わせ、指でムシを立てるようにして、ムシのきわにミシンをかけます。

5



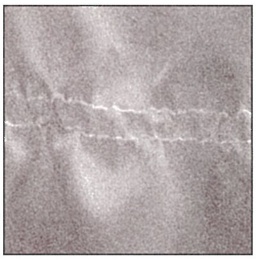
もう一方のぬいしろも同じ方法でぬい合わせます。（ファスナーテープのあき止まりから下の部分はぬいしろに全部ぬいつけられずに、一部残ります。）

6

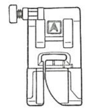


フリー止め金とスライダーをあき止まりまで移動させます。
フリー止め金をペンチ等ではさみ固定します。

いせ込み・ギャザーの寄せ方



選ぶ模様　　使う押え



基本押え（A）

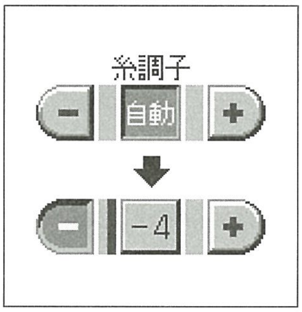
⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

いせ込みをする場合：袖山やスカートのウエストなど外から布地のちぢめさせたのが見えないものに。
ギャザーをいれる場合：袖口やヨークなどに。

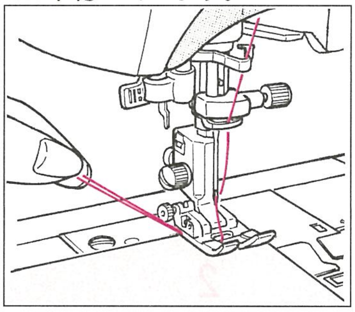
1 ぬい目の長さを変えます。

ギャザーは3.0～4.0に、
いせ込みは1.5～2.0にします。

2 上糸をよわくします。

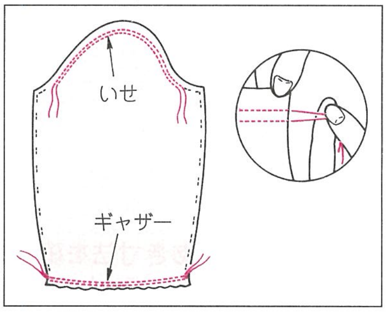


3 ぬい始め、ぬい終りに上・下糸を5センチ位出して2本平行にぬいます。

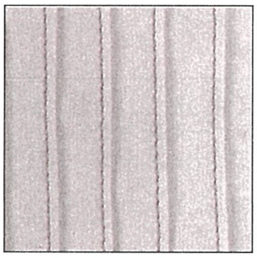


ぬい終りは５センチ以上布地を引き出して、糸切りボタンを押してください。

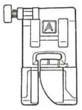
4 下糸を手で引いて布地を縮めます。



ピンタック



選ぶ模様　　使う押え

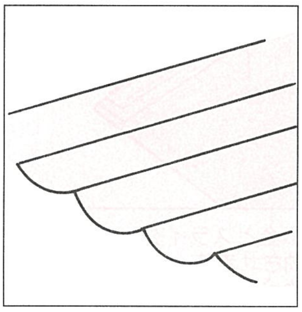


基本押え（A）

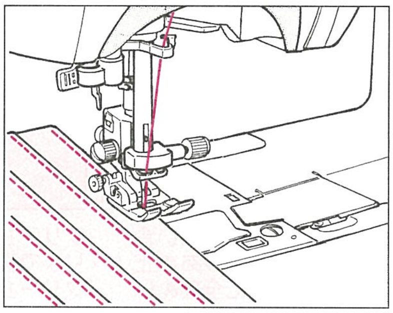
⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

ブラウスの前身ごろやエプロンの装飾などに利用します。

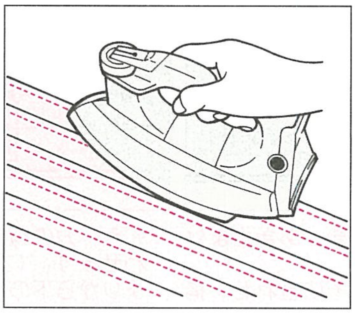
1 ピンタックの折り山をアイロンで折り整えます。



2 折り山を伸ばさないようにぬいます。



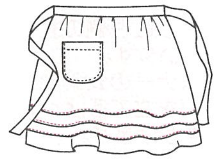
3 ぬい終ったら片返しにして、アイロンをかけ、整えます。



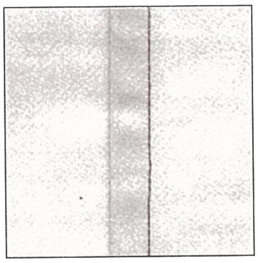
■応用例

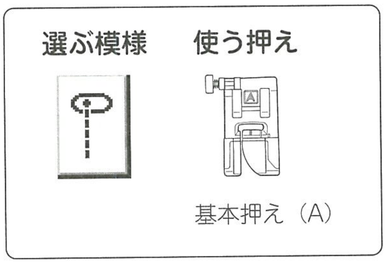
●ブラウス

●エプロン



伏せぬい

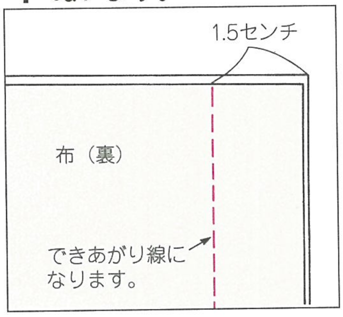




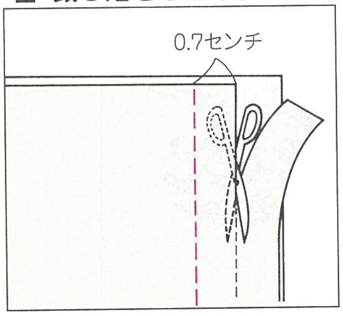
⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

丈夫できれいに端の仕上げを始末するときに使います。

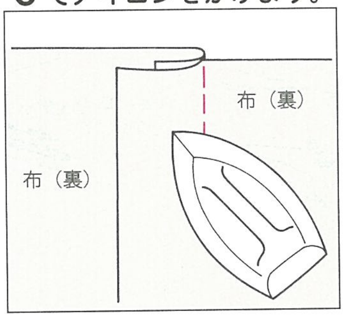
1 **布地を合わせてぬいます。**



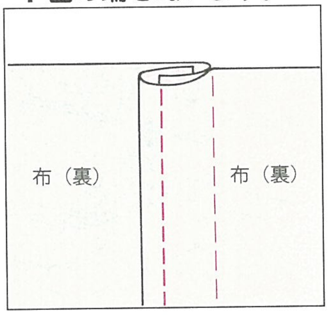
2 **ぬいしろの半分を裁ち落とします。**



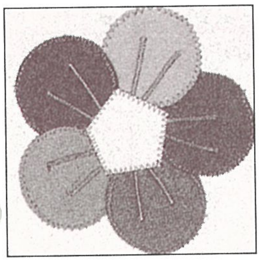
3 **できあがり線を軸に布地を広げ、2枚一緒に倒してアイロンをかけます。**

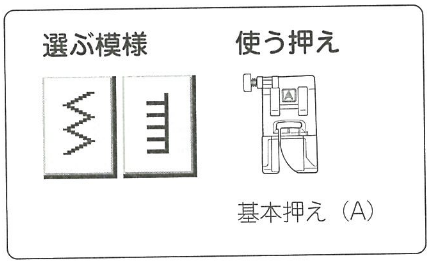


4 **短いぬいしろを長いぬいしろでくるみ、折り山の端をぬいます。**



アップリケ

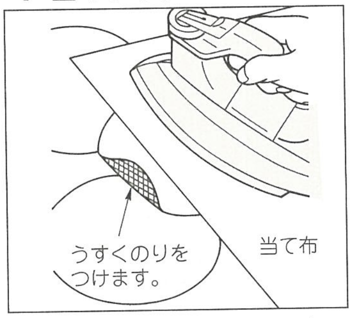




⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

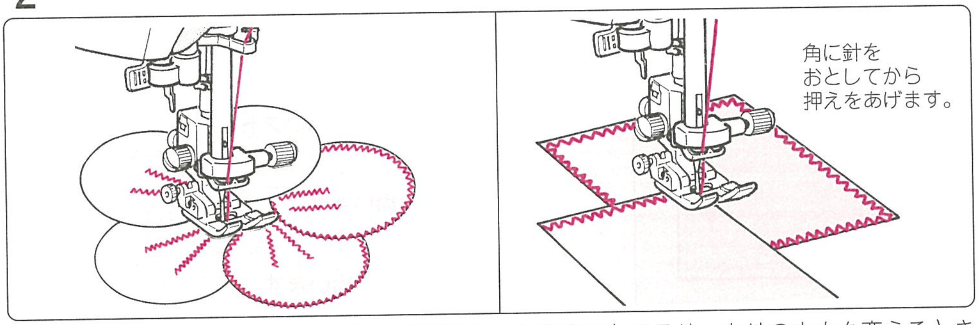
市販のアップリケ布や、自分で切り抜いたアップリケ布を丈夫に、簡単にぬいつけられます。

1 **アップリケ布を止めます。**



アップリケ布を正確にのりずけ、またはしつけ止めして、当て布をあててかるくアイロンで押えます。

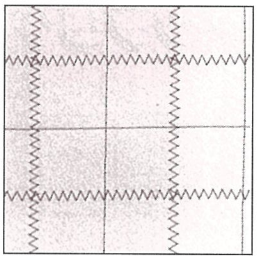
2

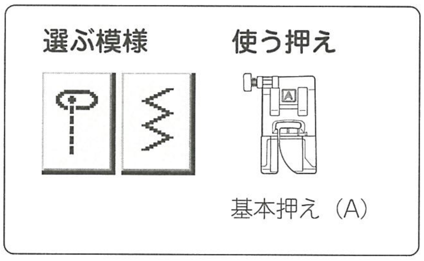


アップリケの布端を裁ち目かがりと同じ要領でぬいつけます。ぬい始めと終りは返しぬいスイッチを押して止めぬいをします。カーブの強いものは振り幅を小さくします。

急角度のところや、布地の方向を変えるときは、アップリケの布端に針をおとした状態で方向を変えるようにします。

キルティング



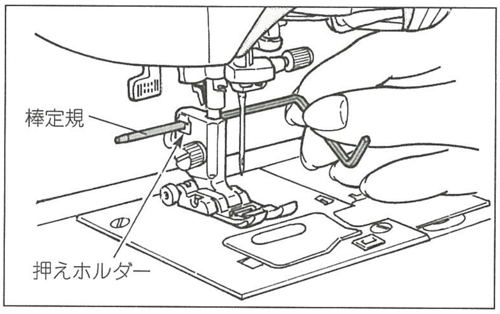


⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

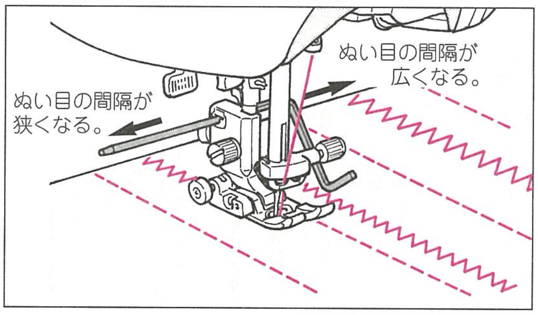
２枚の布地を合わせ、平行にぬい目を入れていく方法で、
布地の間に綿などを入れると、防寒や、装飾に役立ちます。

実用ぬい

1 押えホルダーのみぞに棒定規を差し込みます。

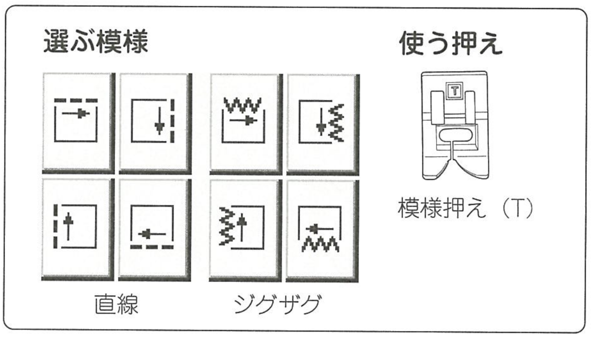


2 棒定規の先でぬったぬい目をたどりながらぬいます。



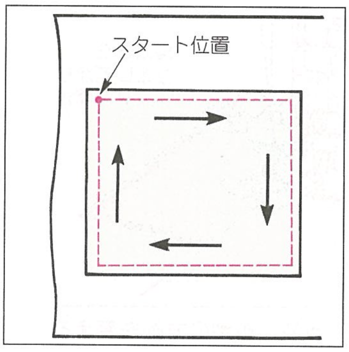
左右の間隔が自由に調節できます。

横送り（四方ぬい）

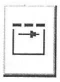


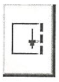
⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

出来上がった袖やズボンの筒にワッペンをつける場合に便利です。
押えをあげずに外周をぬい付けることができます。

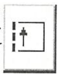


（例：直線）
スタート位置を決めて

（1）  を押し、角までぬいストップさせます。

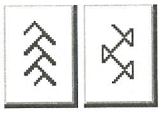
（2）  を押し、ぬいます。

（3） 次に を押し、ぬいます。

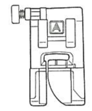
（4） 最後に  を押して一周ぬわれます。

パッチワーク

選ぶ模様



使う押え



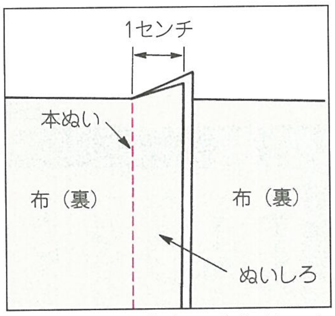
基本押え（A）

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

模様ぬいを使っていろいろな布をはぎ合わせます。
残り布などを活用し、小物類や室内装飾に応用します。

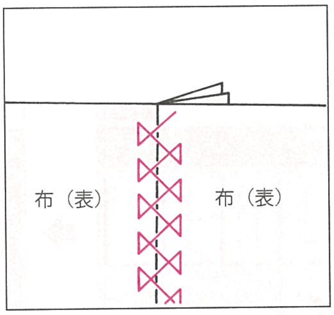
●重ねはぎ

1



2枚の布地を中表に合わせ、本ぬいした後、ぬいしろを片返しにします。

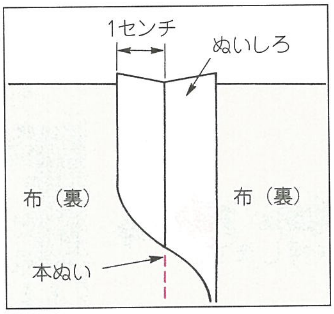
2



両方の布地に模様がまたがるようにぬいます。

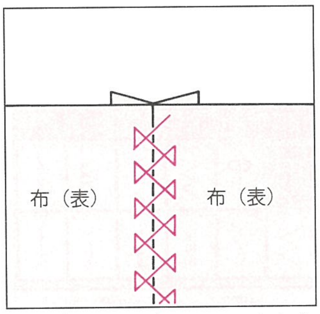
●割りはぎ

1



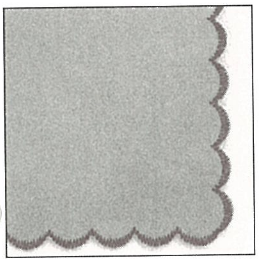
2枚の布地を中表に合わせ、本ぬいした後、ぬいしろをきれいに割ります。

2



つき合わせになっている表布から両方の布地に模様がまたがるようにぬいます。

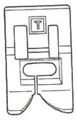
貝がらぬい（スカラップ）



選ぶ模様

の

使う押え

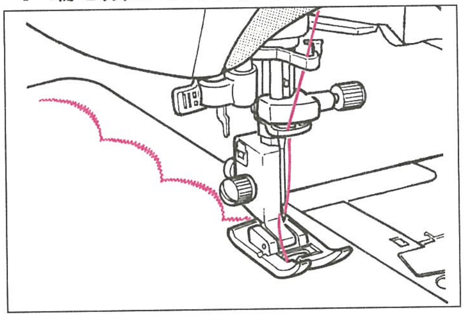


模様押え（T）

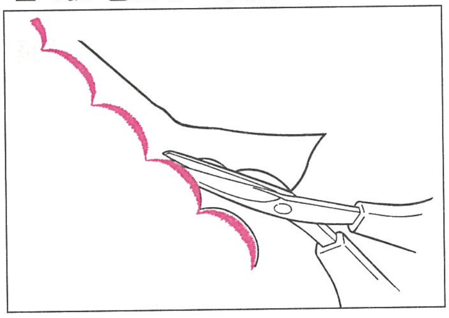
⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

テーブルクロスやブラウスの衿など、ふち飾りに使います。

1 **布端に模様がかからないように端を残してぬいます。**

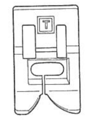


2 **糸を切らないようにぬい目にそって切ります。**



連続もようぬい

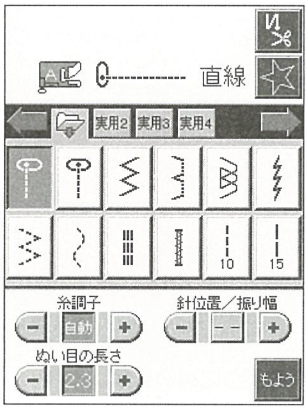
使う押え



模様押え（T）

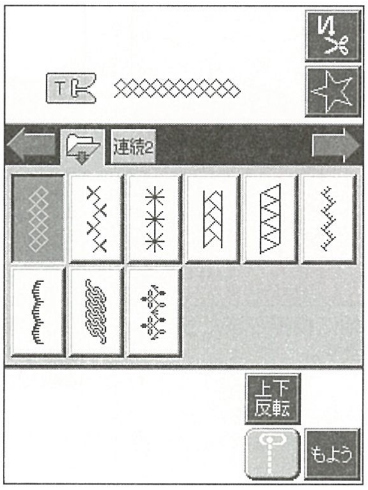
⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

画面の模様の出し方

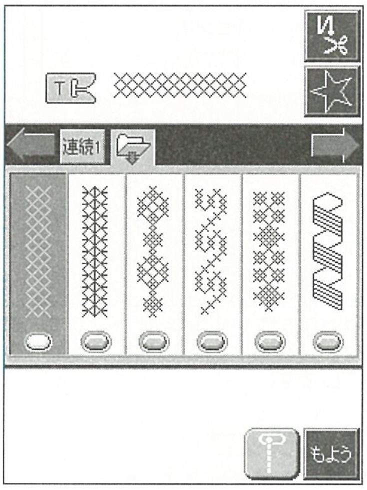


か を押します。

1番目の画面



2番目の画面



＊もように ◯ がある場合は、◯ を押して選択します。

上下反転	連続ぬいの模様の上下を反転させます。
左右反転	連続ぬいの模様の左右を反転させます。
	実用ぬい画面に戻るキーです。（左基線の直線ぬいが選択されます。）
もよう	『もよう』画面を表示します。

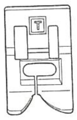
もようぬい

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

使う模様

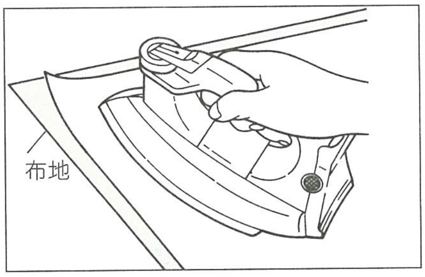
もよう を押してお好みの模様を選びます。

使う押え



模様押え（T）

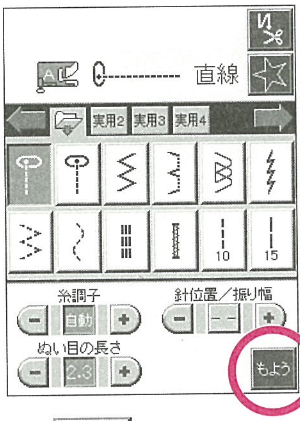
ぬう前の準備



きれいに模様をぬうためには、芯地をはり、ためしぬいをしましょう。

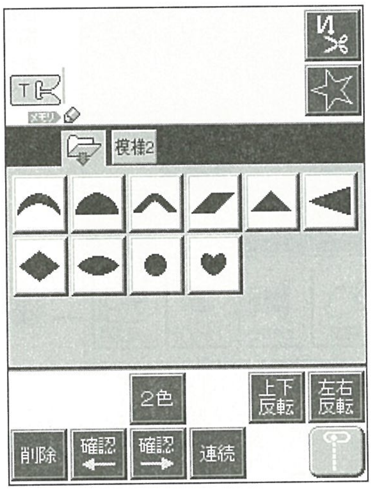
裏面に接着芯地(不織布)をアイロンで接着させます。(アイロン温度は低温～中温です)
※不織布の接着芯地は仮接着タイプを使います。

画面の模様の出し方

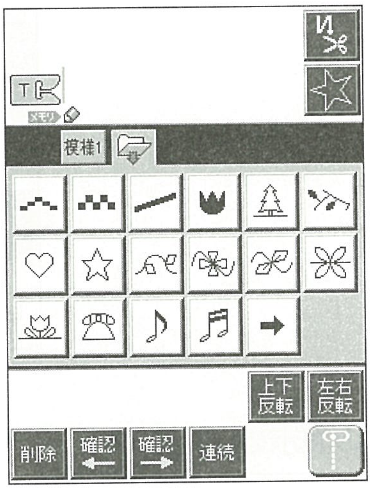


もよう を押すと･･･

1番目の画面



2番目の画面

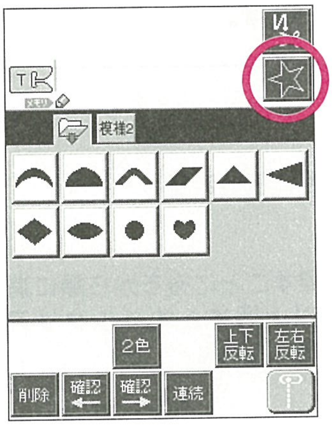


ためしぬい

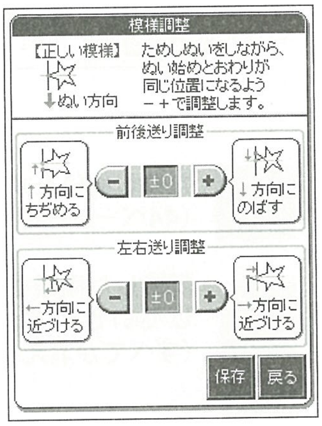
●模様をぬうときは必ずためしぬいをします。

布の種類や厚さ、接着芯地（不織布）などの種類により模様が変形することがありますので、必ず同じ布でためしぬいをしてください。

1 ☆ を押します。

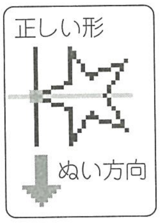


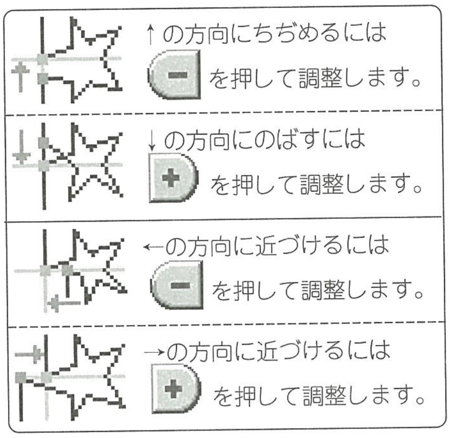
2



3 ミシンをスタートさせます。

4 ためしぬいの模様の形によって [－ ±0 ＋] を使って調整します。

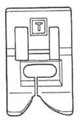




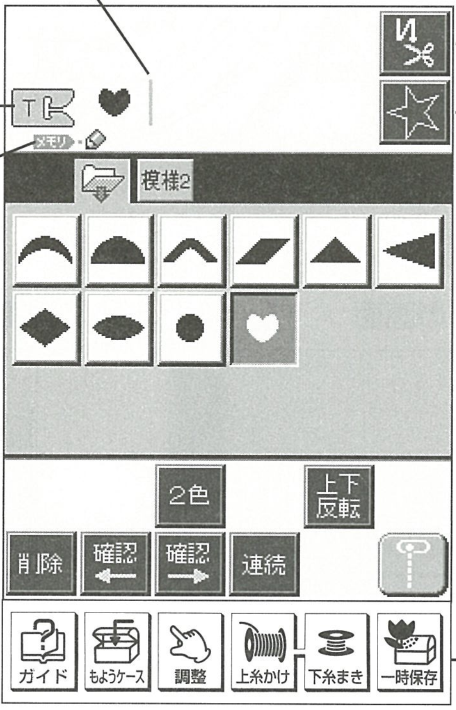
5 調整が終わりましたら 保存 を押します。

カーソル
この線のすぐ左にある模様が、編集（削除や反転など）ができる模様となります。
模様と模様の間に新たに模様を追加するときは、
確認← キーを使って、追加したい位置に移動させてから、模様を選びます。

使う押え



模様押え（T）



— 自動糸切り

— 模様調整

設定されると反転します。

メモリ表示
模様を選ぶと自動的にメモリされます。
メモリされた数だけ点が増えます。（最大40コまで）

画面
画面上の模様や表示を指で押しますと、画面の上の方に表示されます。
表示された模様をぬうことができます。

— 操作キー

画面上の表示のはたらき

画面表示	ぬえる模様	画面表示
2色	2色ぬいが可能な模様です。	2色
上下反転		上下反転
左右反転		左右反転
連続	1つ、または組み合せた模様を何個も連続してぬうことができます。	連続

操作キーのはたらき

操作キー	はたらき
もようケース	選んだ模様を保存できるキーです。
調整	糸調子・ぬい目の長さの画面をよびだすキーです。

ためしぬいをするときに使います。
（44ページ参照）

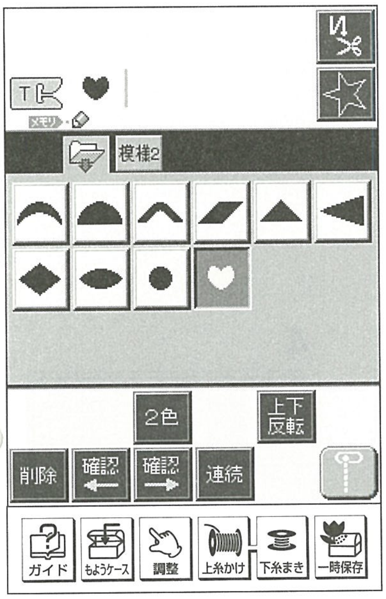
削除　記憶した模様を一度押すごとに後ろから順に消していきます。3秒以上押すとオールクリア（すべてが消える）になります。

確認← 確認→　多くの模様を記憶したときの確認ができます。

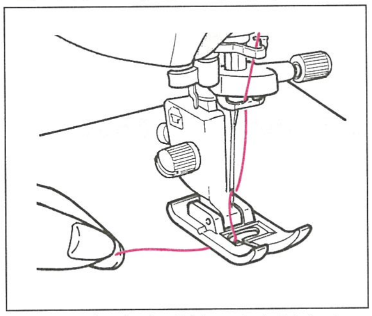
実用ぬい画面に戻るキーです。
（左基線の直線が選択されます。）

ぬう模様を選ぶには

1 2画面よりお好みの模様を選び、画面の上を指で押します。

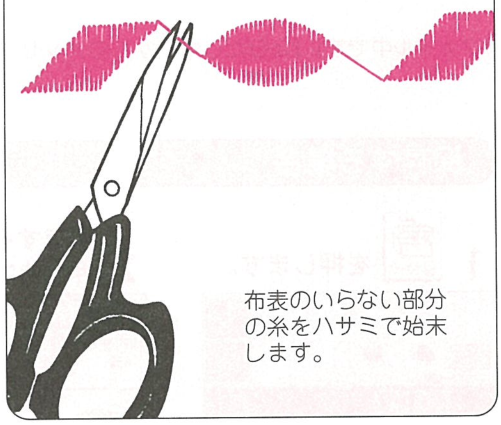


2 布地を入れてスタートさせます。



ぬい上がると自動的に止まります。

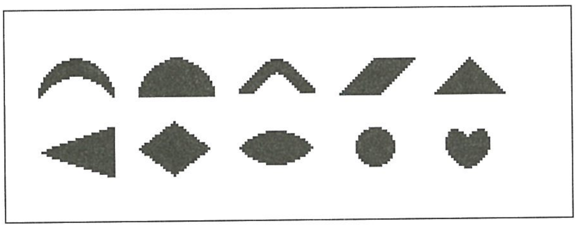
●渡り糸の始末のしかた



布表のいらない部分の糸をハサミで始末します。

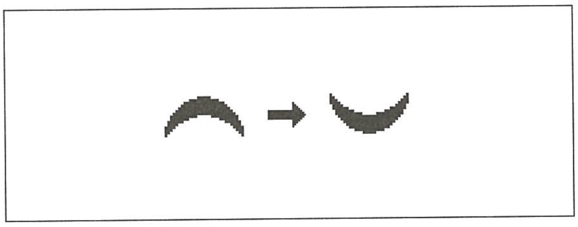
2色ぬい

下の模様を選び下糸と上糸の色を変えて
2色 を押してぬいますと、
布上に下糸が出てきて２色になります。



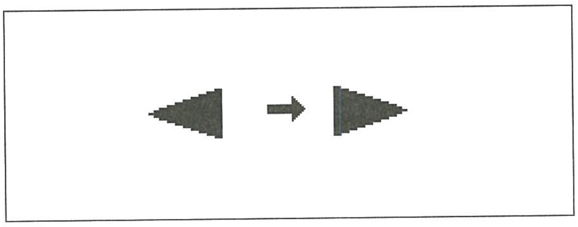
上下反転ぬい

1．模様を選びます。
2．上下反転 を押します。
3．スタートさせます。



左右反転ぬい

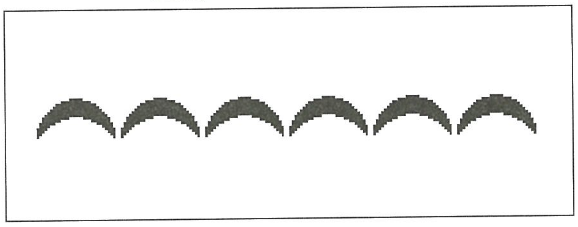
1．模様を選びます。
2．左右反転 を押します。
3．スタートさせます。



連続ぬい

1．模様を選びます。
2．連続 を押します。
3．スタートさせます。
4．ストップさせるまでぬい続けます。

※最後の模様をきちんとぬい終わらせたい場合は、最後の模様をぬい始めたら再度 連続 を押すとその模様をぬい終って止まります。



模様ぬい

もようの保存･消去･取り出し

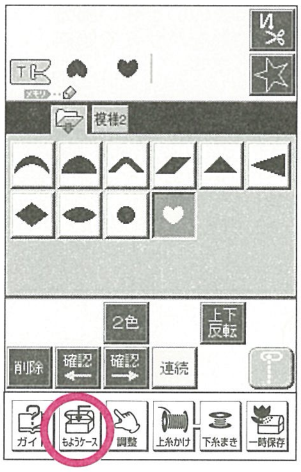
もようが画面の上の方に表示されると、メモリ にメモリされます（最大40コまで）が、
電源を切ると消えてしまいますので、保存しておきたいときは、【もようケース】を押してください。
よく使うもようパターンなどをファイルしておくことができます。
1 1つに、模様が40コまで（メモリ可能分）保存できます。

『ファイル中です』『よびだし中です』のメッセージがでているときは、電源を切らないでください。

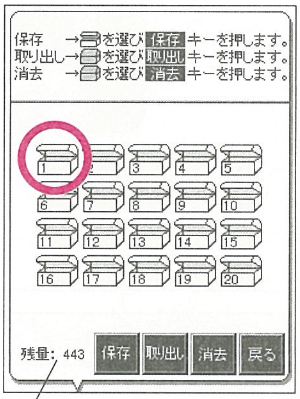
模様ぬい

保存する場合

1 もようケース を押します。

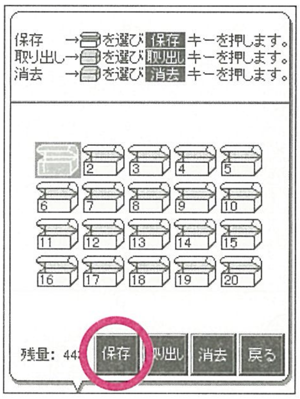


2 保存する 1 を押します。

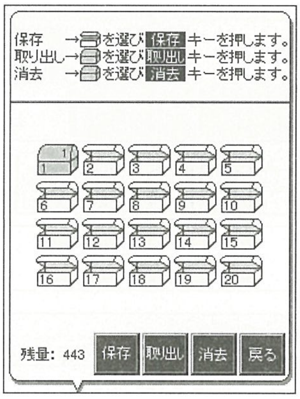


あとどのくらい保存できる容量があるか表示されます。

3 保存 を押します。



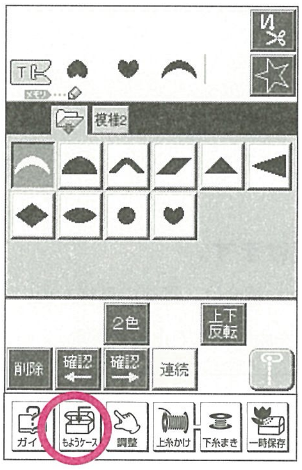
4



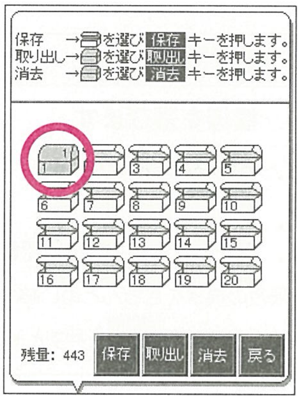
5 戻る を押すと元の画面に戻ります。

上書き保存する場合

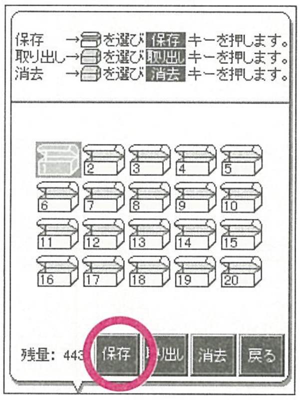
1 もようケース を押します。



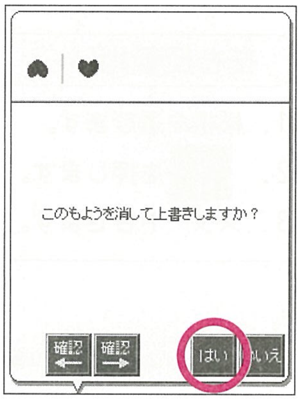
2 上書きする 1 を押します。



3 保存 を押します。



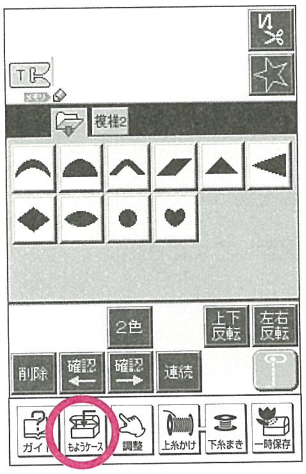
4 はい を押します。



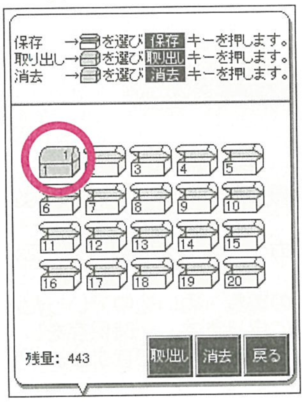
5 戻る を押すと元の画面に戻ります。

保存したもようを取り出す場合

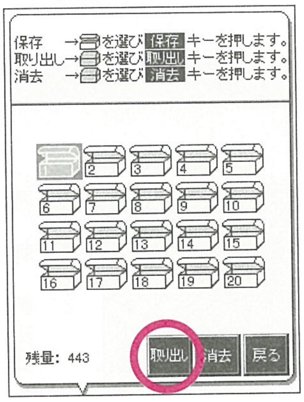
1 もようケース を押します。



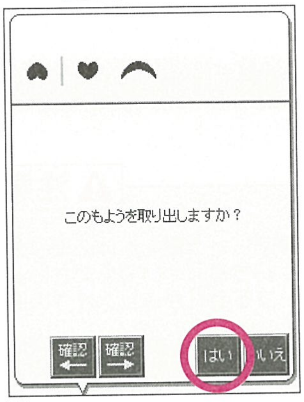
2 取り出すもようの入っている 1 を押します。



3 取り出し を押します。

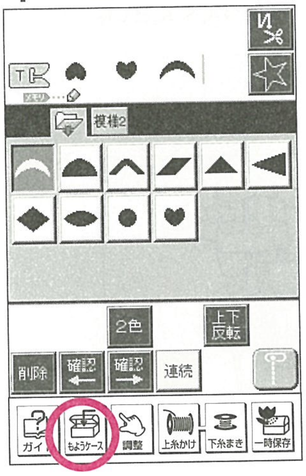


4 はい を押します。

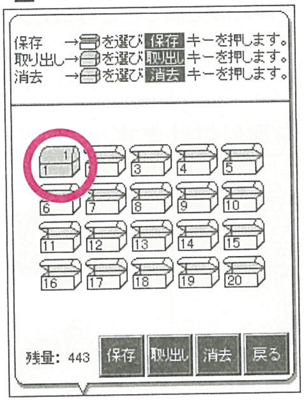


消去する場合

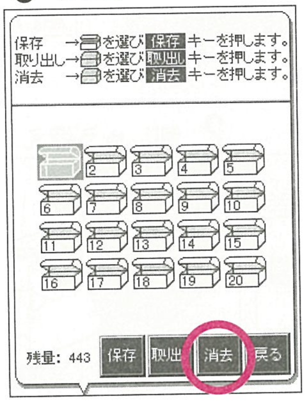
1 もようケース を押します。



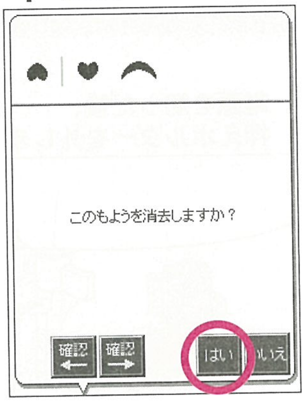
2 消去するもようの入った 1 を押します。



3 消去 を押します。



4 はい を押します。

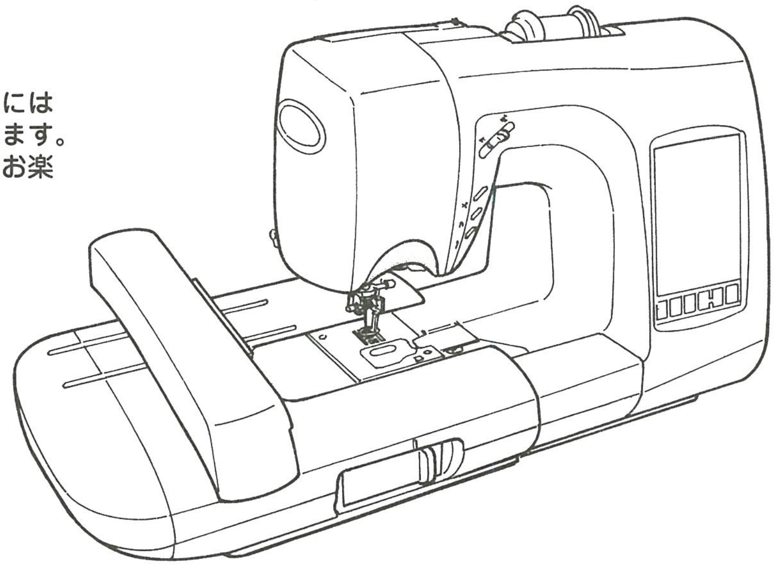


5 戻る を押すと元の画面に戻ります。

模様ぬい

ぬう前の準備

このコンピューターミシンの刺しゅうぬいには内蔵された刺しゅう模様と文字が入っています。刺しゅうカード（別売）も使えますので、お楽しみください。



刺しゅう機と刺しゅうカード（別売）の取扱いの注意

⚠注意

●刺しゅう機を本体に取り付けたまま持ち運ばないでください。刺しゅう機が落下する恐れがあり、けがの原因となります。

●刺しゅう機のキャリッジ、および刺しゅう枠が動いているときに手や物を近づけないでください。けがの原因となります。

1．刺しゅう機の取り付け、取り外しは必ず電源を切ってください。

2．刺しゅうカードは必ず収納ケースに入れて保管してください。

3．刺しゅうの編集・ぬい途中でいったん電源を切りますと、初期画面に戻ります。一時保存をしておくと、電源を切る前の画面を表示することができます。（78ページ参照）

4．刺しゅう枠には３つの種類があり、模様の大きさやぬう位置によって、使用できる枠が異なりますので注意してください。（ただし、小枠は別売です。）

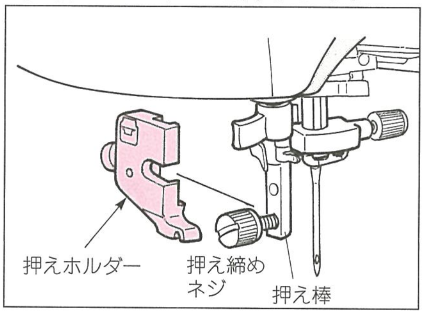
5．ミシンまたは別売の刺しゅうカードに内蔵されている刺しゅうは、一般家庭用としてお楽しみいただくものです。営業用または業務用としてのご使用は、著作権法上固く禁止されています。

刺しゅう

刺しゅう押え（J）の取り付け

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

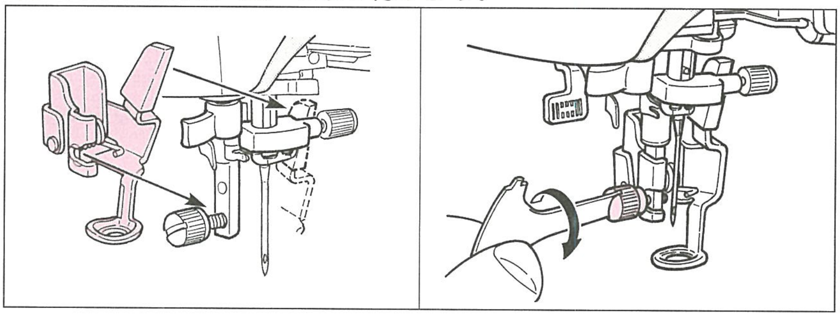
1 電源を切った後、押えホルダーを外します。



押え棒をあげて、押え締めネジをゆるめ、押えホルダーをはずします。

＊ネジがゆるまないときは、付属のドライバーをご使用ください。

2 刺しゅう押え（J）を取り付けます。

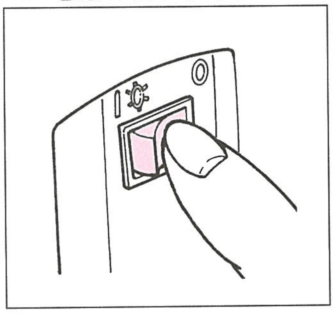


刺しゅう押えを矢印の位置にセットし、押え締めネジをしっかりしめます。

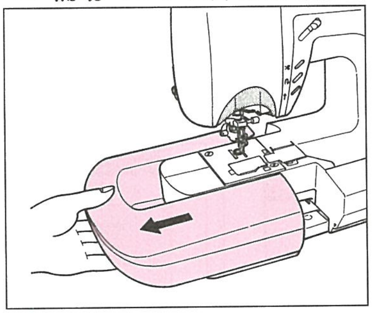
刺しゅう機の取り付け

注意：刺しゅう機を取り付けるときにキャリッジを持って押さないでください。

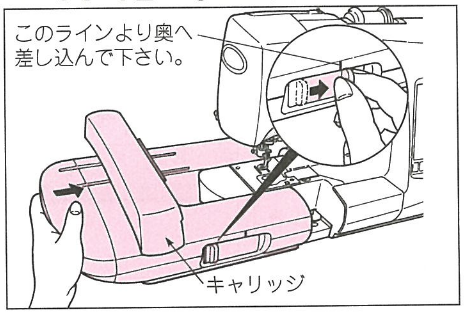
1 電源を切ります。



2 補助ベッドを外します。



3 刺しゅう機をミシンにしっかりとつけて、レバーをカチッと音がするまで右に寄せます。

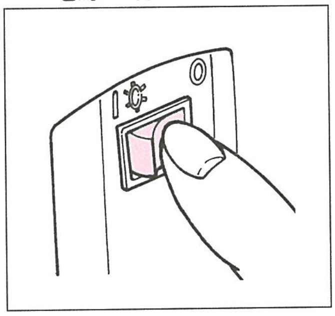


テーブル上など水平に置いた状態で滑らすように行います。すき間が開いていると模様くずれの原因になります。必ず奥までしっかり差し込んでください。

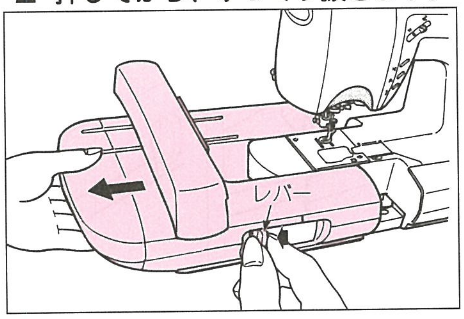
刺しゅう機を取り外すには

注意：刺しゅう機を取り外すときにキャリッジを持って押さないでください。

1 電源を切ります。



2 刺しゅう機のレバーを左側に押してから、ゆっくり抜きます。



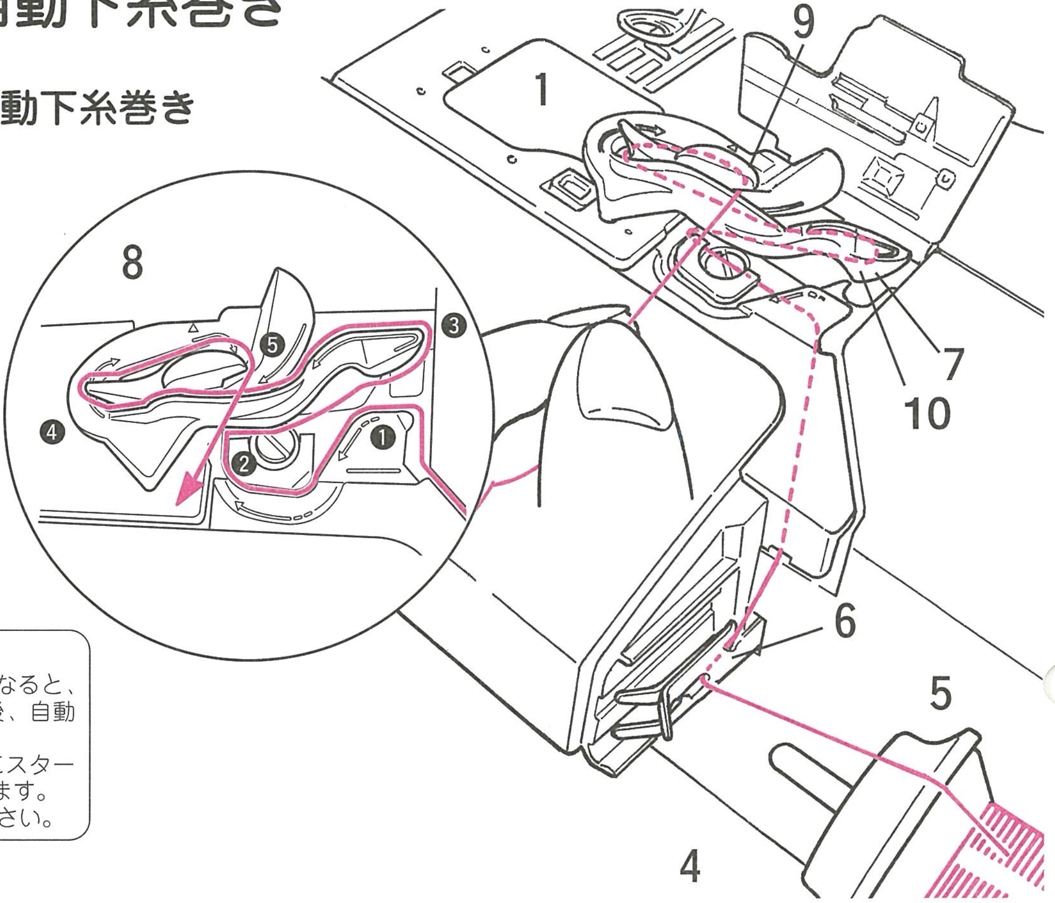
刺しゅうの自動下糸巻き

■専用糸からの自動下糸巻き

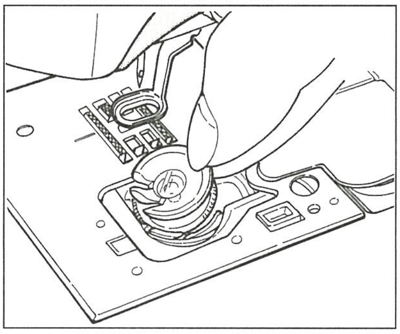
使うボビン

※必ず上記のボビンをお使いください。他のボビンでは自動下糸巻きはできません。
※シャッペスパン糸90番をお使いください。

《自動巻き》
刺しゅうぬい中に下糸が無くなると、刺しゅう枠が前後に動いた後、自動で下糸巻きが始まります。
下糸が巻きおわると自動的にスタートし、続けて刺しゅうをぬいます。
※設定は90ページをご覧ください。



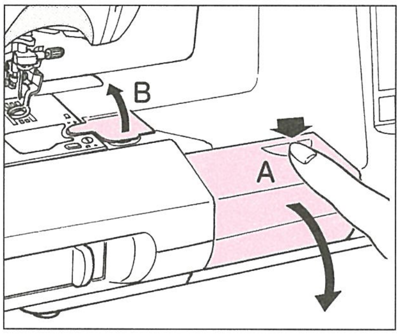
1 空ボビンをセットし、かまカバーを閉じます。



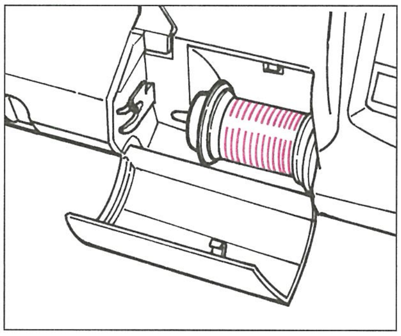
2 を押します。

3 巻き量を選びます。

4 専用糸セット部のカバー（A）と下糸巻きガイドカバー（B）を開けます。

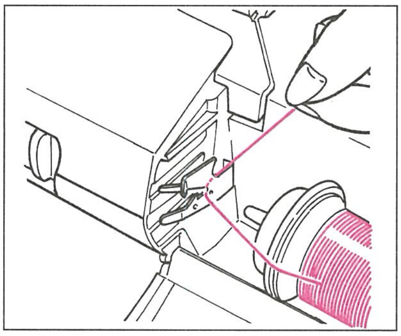


5 糸ゴマをセットします。

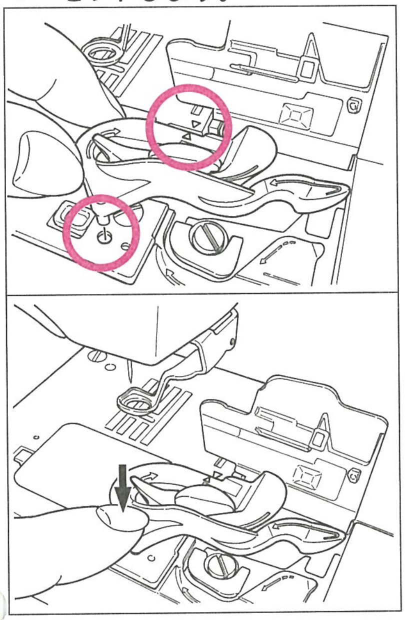


※シャッペスパン糸90番をお使いください。

6 糸案内にかけます。

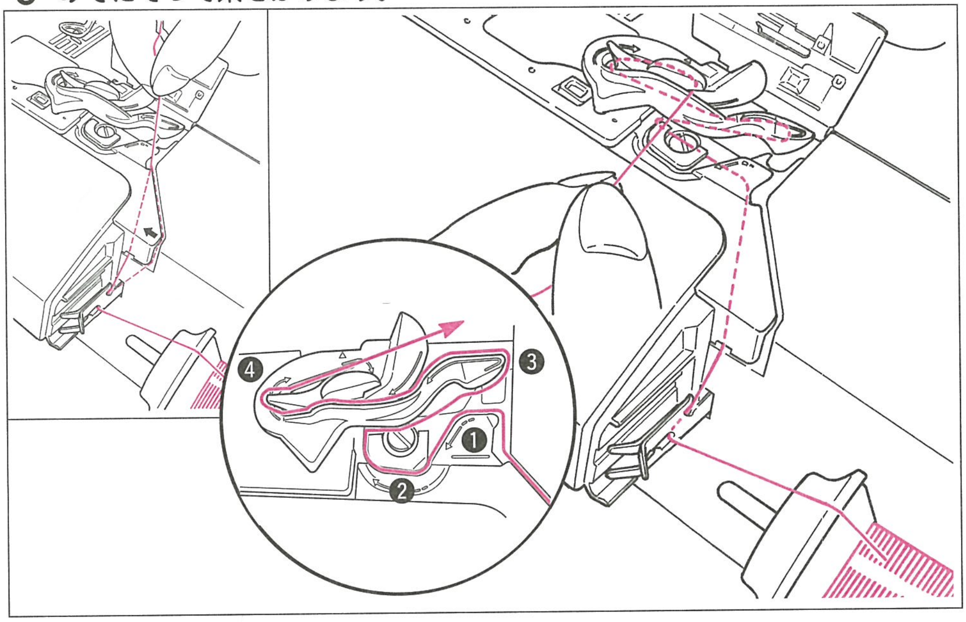


7 糸かけガイドをセットします。



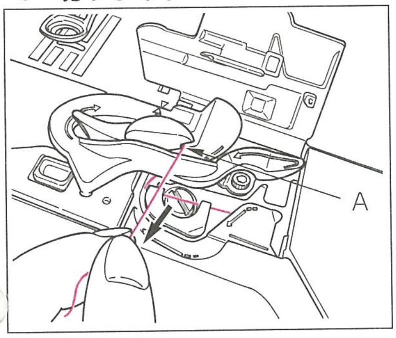
ガイドの奥側からセットします。
(▽の目印を合せます)
手前側の突起と穴を合わせて、しっかりと穴にはまるまで押し込みます。

8 みぞにそって糸をかけます。



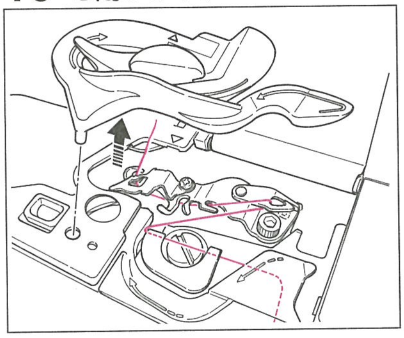
❶～❹まで糸をかけ、矢印の方向に3cmくらい引き出し、強く糸を引きます。

9 A部の糸切り刃で糸を切ります。

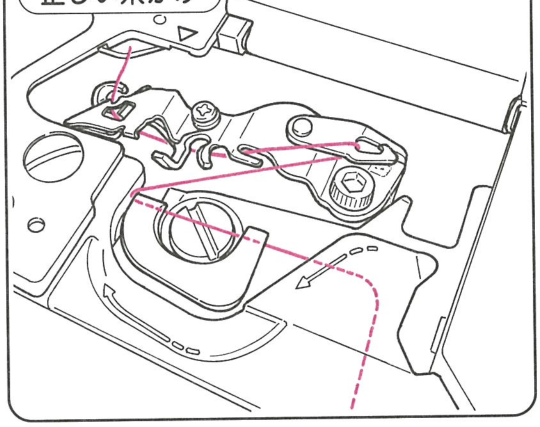


糸を手前に引くと糸が切れます。

10 糸かけガイドを外し、下糸巻きガイドカバーを閉じます。

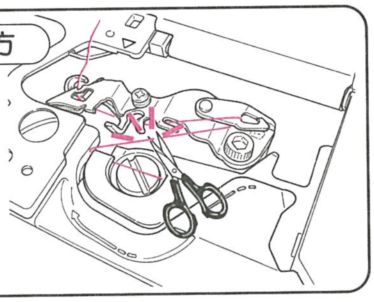


正しい糸かけ

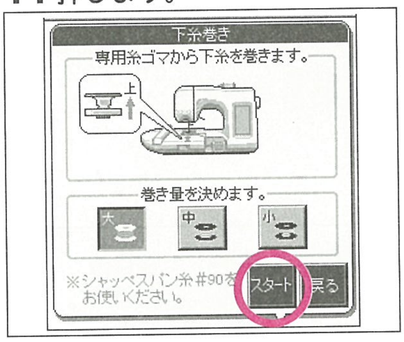


糸の外し方

糸を切って外します。



11 画面上の スタート キーを押します。



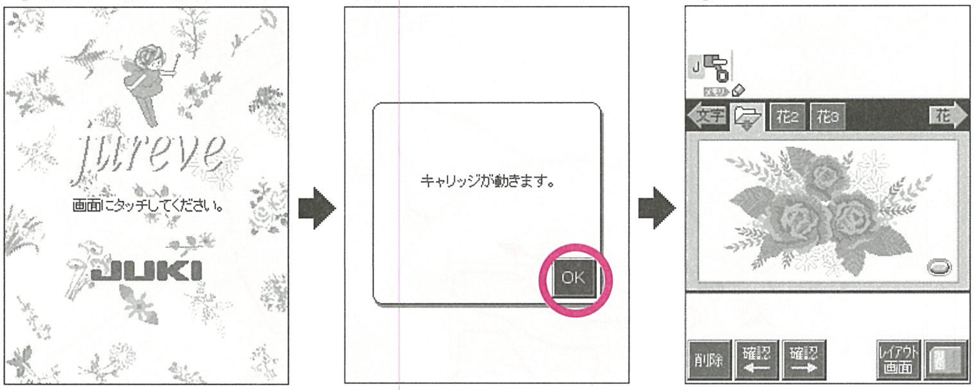
＊途中でストップ、再スタートしたいときは、スタート・ストップボタンを押します。

12 巻き終わりましたら、糸は切れていますので、そのままぬい始めることができます。

※自動下糸巻き中に専用糸がなくなると、メッセージが表示され、下糸巻きが止まります。92ページを参考に、ボビンを正しくセットしてください。
また、新しい専用糸をセットしておいてください。
ミシンをスタートさせると続きをぬい始めます。下糸がなくなると自動的に下糸巻きを行います。

模様・文字の選び方と種類

1 画面に軽く触れます。　2 OK を押します。　3



削除 は選んだもようを取り消すときに押します。

確認← 確認→ は画面に表示しきれない数のもようを選び、確認したいときに押します。

＊もように ⬭ がある場合は、⬭ を押して選択します。

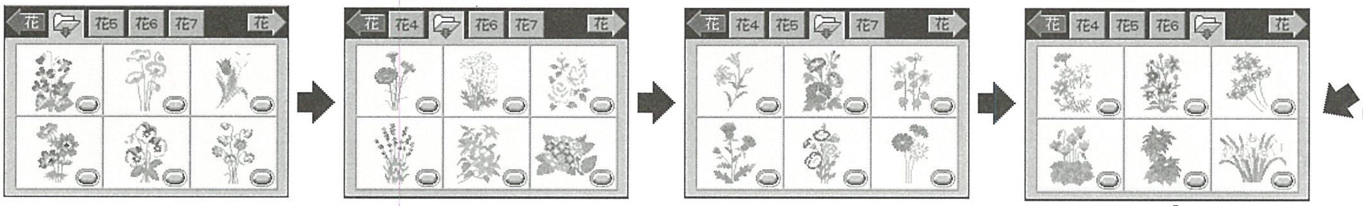
模様の選び方

「花」は15画面、「マーク」は9画面あります。

1　2 花2 を押すと･･･　3 花3 を押すと･･･

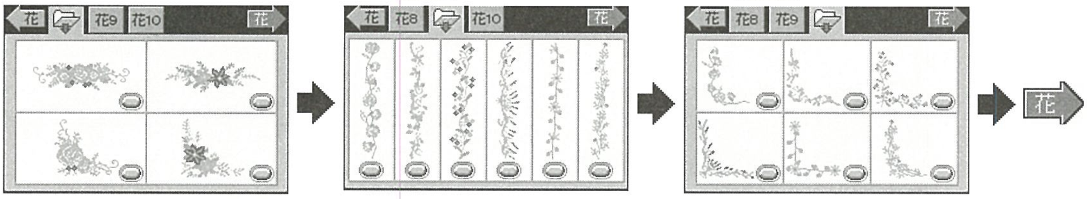
花 を押すと･･･

4　5 花5 を押すと･･･　6 花6 を押すと･･･　7 花7 を押すと･･･



花 を押すと･･･

8　9 花9 を押すと･･･　10 花10 を押すと･･･

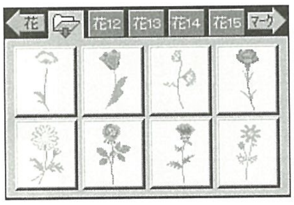


花 を押すと･･･

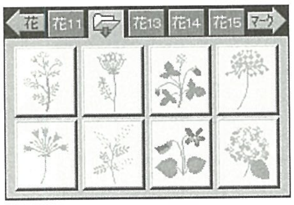
⇦ を押すと1つ前の選択群に戻ります。

刺しゅう

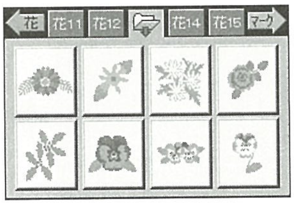
11



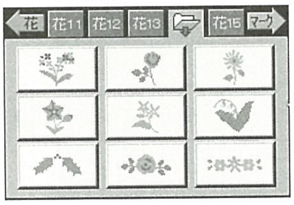
12 花12 を押すと・・・



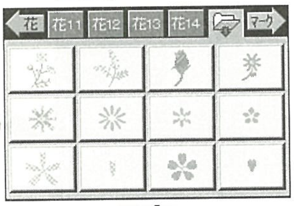
13 花13 を押すと・・・



14 花14 を押すと・・・

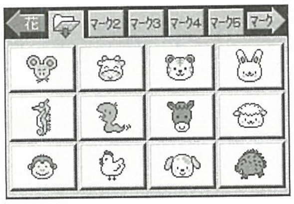


15 花15 を押すと・・・

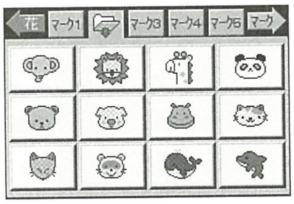


マーク を押すと・・・

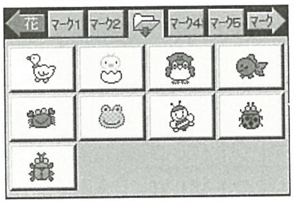
16



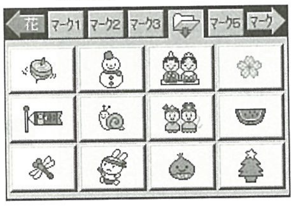
17 マーク2 を押すと・・・



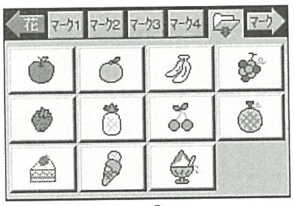
18 マーク3 を押すと・・・



19 マーク4 を押すと・・・

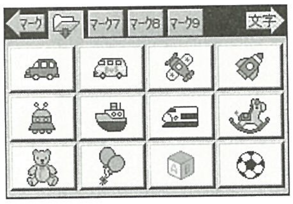


20 マーク5 を押すと・・・

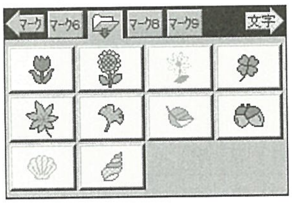


マーク を押すと・・・

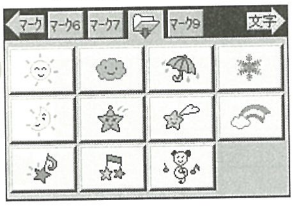
21



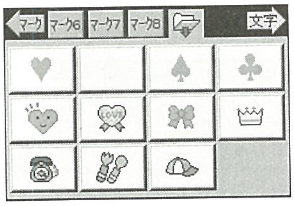
22 マーク7 を押すと・・・



23 マーク8 を押すと・・・



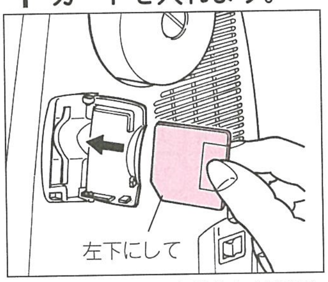
24 マーク9 を押すと・・・



文字 を押すと・・・

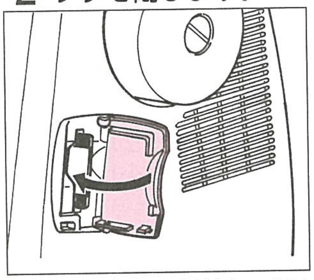
刺しゅうカード（別売）を使うとき

1 フタを開けて カードを入れます。



カードのかけている部分を左下にして、奥までしっかり差し込みます。

2 フタを閉じます。



必ずフタをとじてください。開けたままではカードは使えません。

3 [カード] を押します。

そのカードの文字や模様が表示されます。

ページ ページ キーで内容を確認してください。

＊別売の刺しゅうカードは、いろいろな書体の文字やイラストなど、とりそろえてありますので、当社直営店にお問い合わせください。

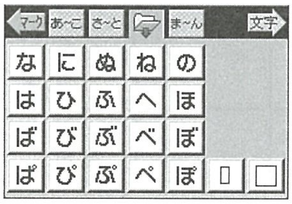
ひらがな／カタカナの選び方

ひらがな／カタカナには2種類の書体があります。

25

26 さ~と を押すと・・・

27 な~ほ を押すと・・・

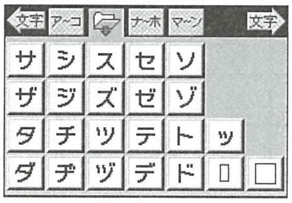


28 ま~ん を押すと・・・

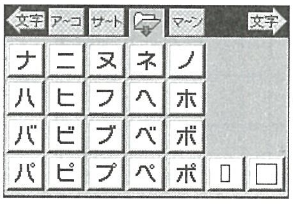
文字 を押すと・・・

29

30 サ~ト を押すと・・・



31 ナ~ホ を押すと・・・

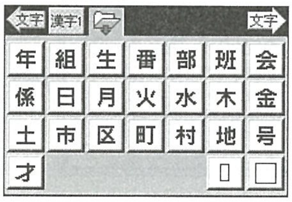


32 マ~ン を押すと・・・

文字 を押すと・・・

33

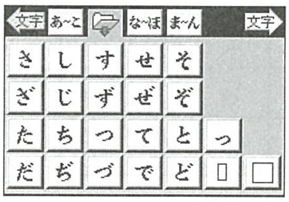
34 漢字2 を押すと・・・



文字 を押すと・・・

35

36 さ~と を押すと・・・



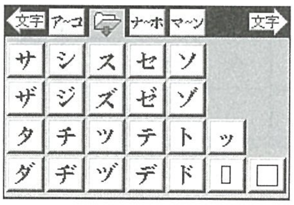
37 な~ほ を押すと・・・

38 ま~ん を押すと・・・

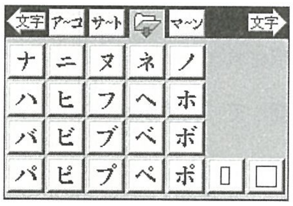
文字 を押すと・・・

39

40 サ~ト を押すと・・・



41 ナ~ホ を押すと・・・



42 マ~ン を押すと・・・

文字 を押すと・・・

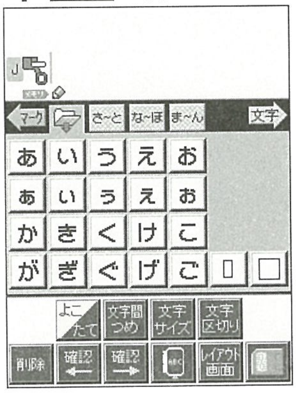
43

44 漢字2 を押すと・・・

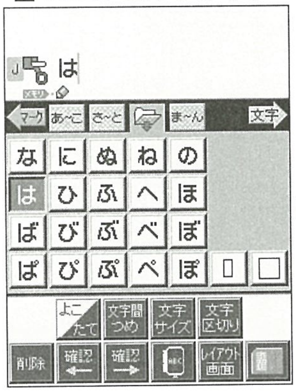
文字 を押すと・・・

例：ひらがなの“はな”を選ぶ場合

1 な~ほ を押します。



2 は を押します。



画面の上に「は」が表示されます。

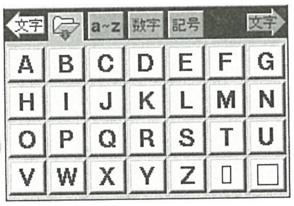
3 な を押します。

画面の上に「はな」が表示され、完了しました。

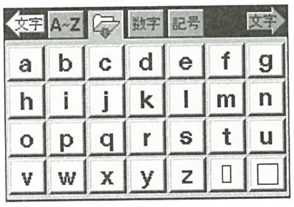
アルファベットの選び方

アルファベットは2種類の書体とその大文字、小文字があります。

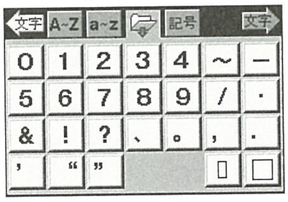
45



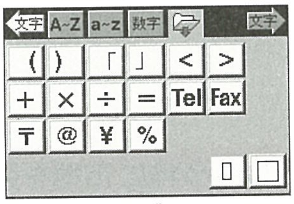
46 a~z を押すと･･･



47 数字 を押すと･･･

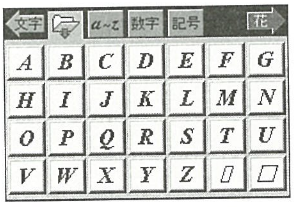


48 記号 を押すと･･･

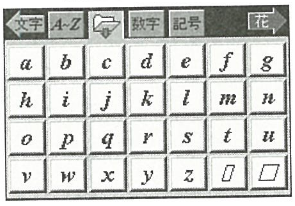


文字 を押すと･･･

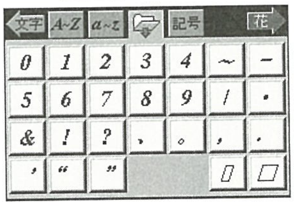
49



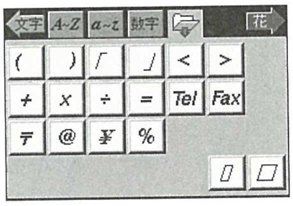
50 a~z を押すと･･･



51 数字 を押すと･･･



52 記号 を押すと･･･

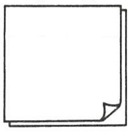


花 を押すと･･･

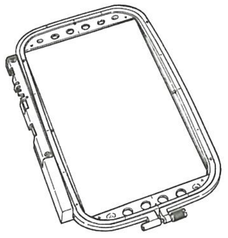
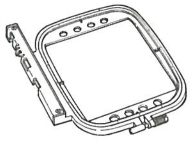
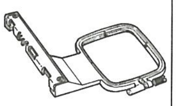
1の文字選択画面に戻ります。

ぬってみよう！

きれいに刺しゅうするために

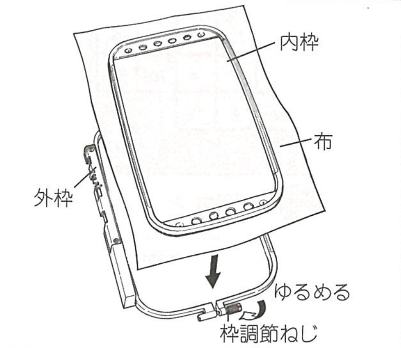
布 地 		裏面に接着芯地（不織布）の仮接着タイプをアイロン（低温～中温）で接着してください。 伸びやすい布地には織布（布性の接着芯地）をお使いください。 厚い接着芯を使用するとぬい縮みを防ぐことができます。
糸の種類	上糸	ミシン刺しゅう糸 キングスター　#50（刺しゅう糸） シャッペスパン糸　#60
	下糸	シャッペスパン糸　#90
針の種類		家庭用ミシン針（HA×１）11番～14番 （普通地は11番をおすすめします。）

刺しゅう枠の種類

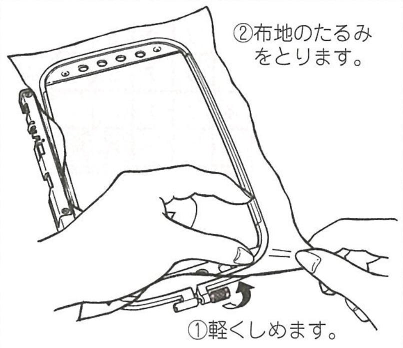
大	中	小（別売品）
		
●刺しゅうのできる範囲 タテ24cm×ヨコ14cm	タテ11.4cm× ヨコ11.4cm	タテ5.5cm× ヨコ5.5cm
●用途/模様の組み合せや、つなぎ刺しゅうなど大きいものに使います。	単独模様などに適します。	小物 （ハンカチなど） ネーム入れ用。

刺しゅう枠に布地を張るには

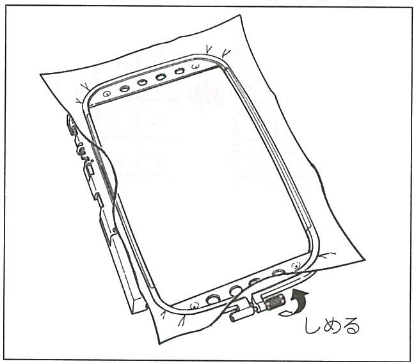
1 枠調節ねじをゆるめ布地の印が枠と平行、垂直になるように内枠で、はさみます。



2 枠調節ねじを軽くしめて布地のたるみを引張って直します。



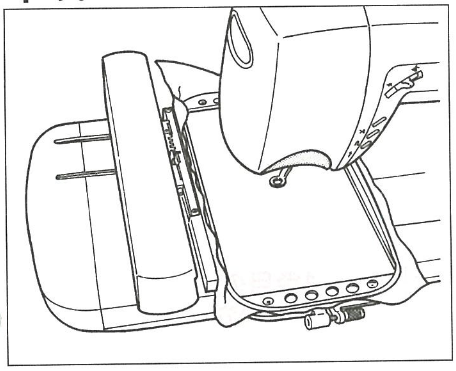
3 位置が決まり、布地のたるみがなくなりましたら、枠調節ねじをしっかりとしめます。



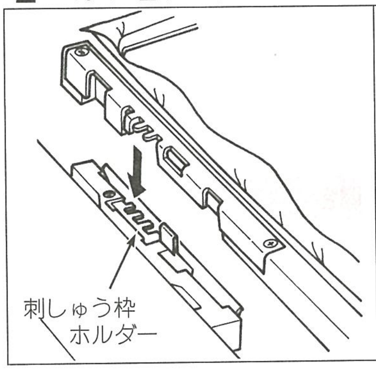
布がピンとはっていることを確かめます。

刺しゅう枠のセット

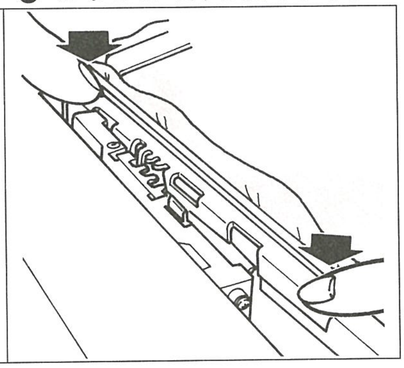
1 押えをいっぱいまで上げて、刺しゅう枠を押えの下にくぐらせます。



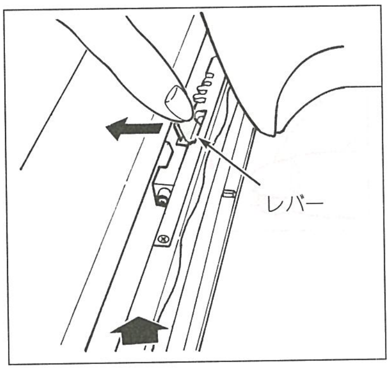
2 刺しゅう枠ホルダーのミゾに合わせ、



3 刺しゅう枠の奥側を指で押しながら、手前側をカチッと音がするまで押し込みます。



■取り外すときは･･･

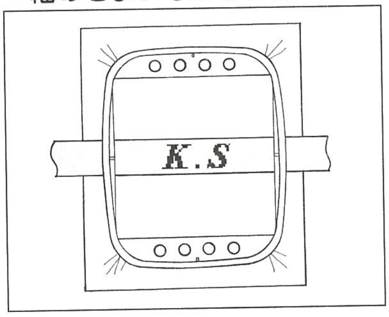


刺しゅう枠ホルダーのレバーを左側に押しながら、刺しゅう枠の手前側を上にあげて外します。

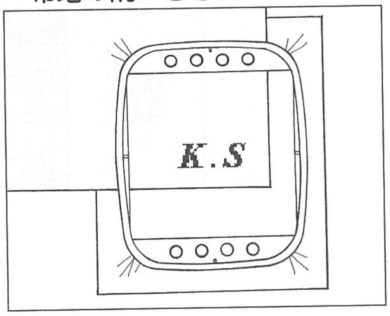
小さい布地や布端に刺しゅうするときは

不織布の接着芯地（仮接着タイプ）に付けてぬいます。
刺しゅう後は、取り除きます。
アイロンは（低～中温）で接着します。
※中枠または別売の小枠をお使いください。

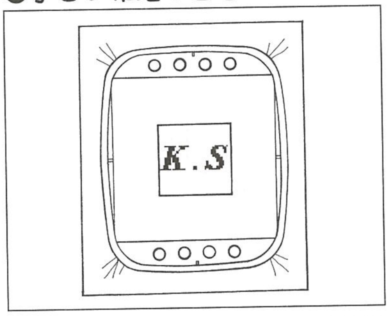
●リボンテープなど幅のせまいもののとき



●ハンカチなどの布地の隅のとき

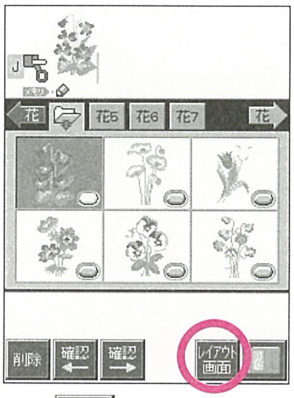


●小さい布地のとき



ぬい方　例： をぬう場合

1 模様を選びます。（『花4』のスミレ）

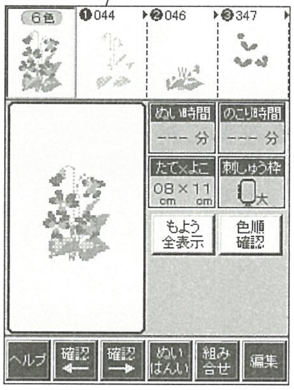


2 [レイアウト画面] を押します。

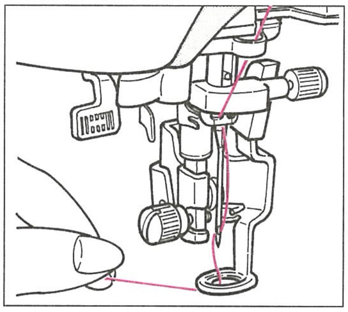
3 [編集おわり] を押します。

4

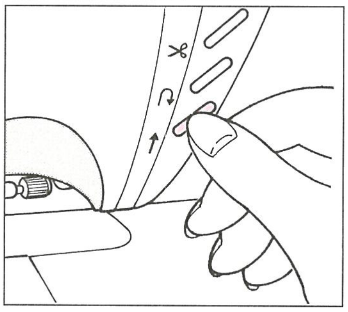
この数字は、JUKI刺しゅう糸の糸No.です。



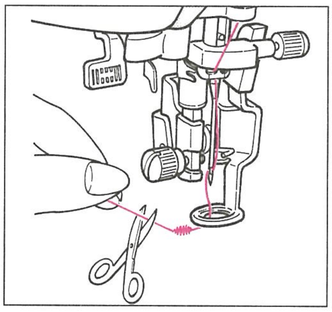
5 1色目の糸をかけて押えの穴に通し、糸をたるませて左手で軽く持ちます。



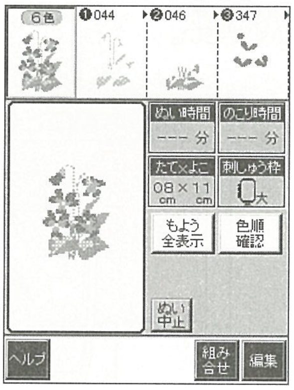
6 押えを下げて、スタート・ストップボタンを押します。



7 5～6針ぬったらミシンを止めて、余分な糸をぬい目のきわから切ります。



8 再びスタートします。



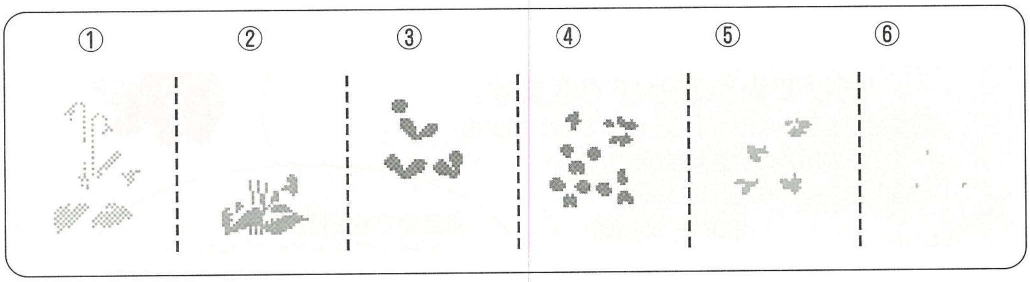
①の部分をぬって自動的に止まります。

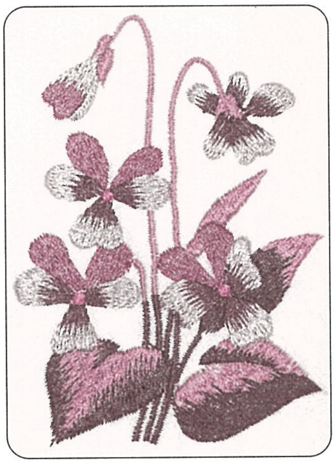
9 ぬい終わると画面にメッセージがでます。

[OK] を押すと消えます。

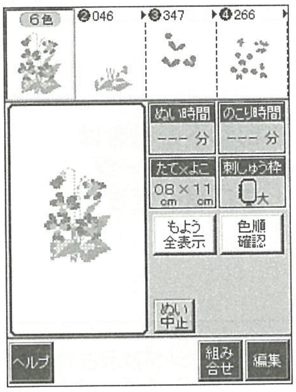
刺しゅう

模様のぬわれていく順序



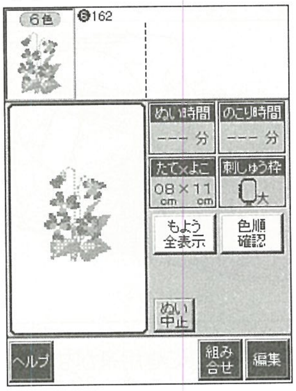


10 上糸を2色目の糸に交換してからスタートします。



②の部分をぬって自動的に止まります。

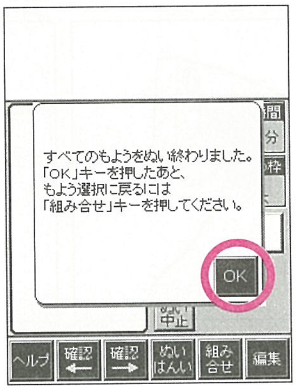
11



③色目～⑥色目の糸を同様にして交換し、スタートさせます。最後の⑥の糸の部分をぬって自動的に止まります。

※画面上の色糸のぬう順序は、ぬっているところの色表示が左端にくるように、左へ移動していきます。

12



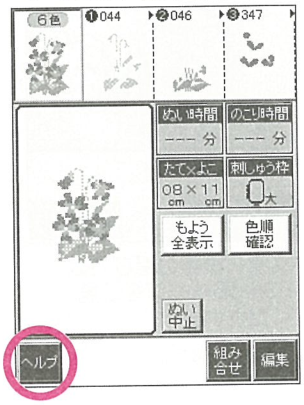
OK を押すと、画面は最初の状態に戻ります。

刺しゅう

手動での糸通しをしやすくするには

ぬっている途中で糸が切れてしまったときなどに、キャリッジを動かして、糸通しをしやすくします。

1 ヘルプ を押します。

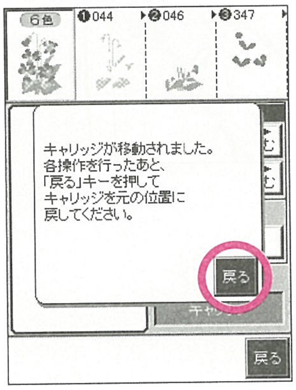


2 キャリッジ を押します。

3 移動 を押します。

糸通しが終わったら、

4 戻る を押します。



※ 戻る を押すと1の画面に戻ります。

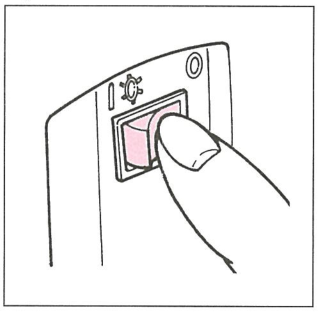
刺しゅうぬいの一覧順序

ぬい中に下糸がなくなったとき
自動的に下糸を巻き、ぬいを中断せずに
続けてぬうことができます。

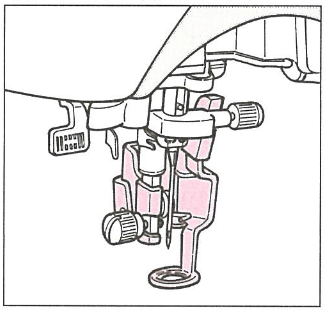
●専用糸を正しくセットし、オプション設定の
『下糸専用糸の自動巻き設定』で
自動巻きを『する』にします。
(90ページ参照)

※自動で糸を巻くとき、
ボビンに残っている糸を
なくすために、枠が動きます。
ご注意ください。

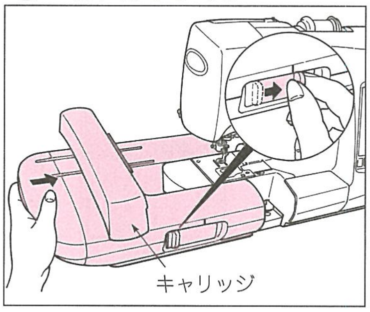
1 電源を切ります。



2 刺しゅう押え（J）を取り付けます。



3 刺しゅう機を取り付けます。

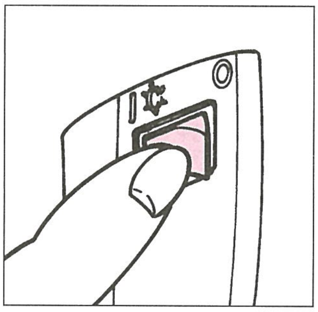


4 下糸をセットします。

※自動下糸巻きは
51，52ページ
をご覧ください。

※自動下糸巻き中に専用糸がなくなると、メッセージが表示され、
下糸巻きが止まります。92ページを参考に、ボビンを正しくセット
してください。また、新しい専用糸をセットしておいてください。
ミシンをスタートさせると続きをぬい始めます。
下糸がなくなると自動的に下糸巻きを行います。

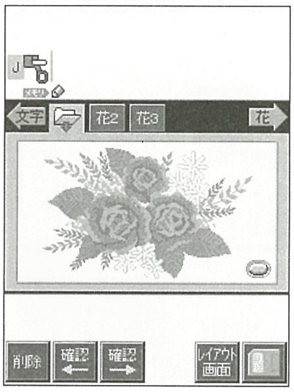
5 電源を入れます。



6 液晶画面上に触れます。

7 **を押します。**

8 模様を選びます。



※文字・模様の選び方は
53～56ページをご覧
ください。

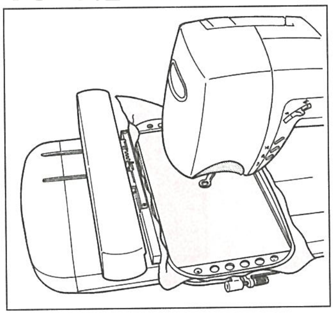
刺しゅう

9

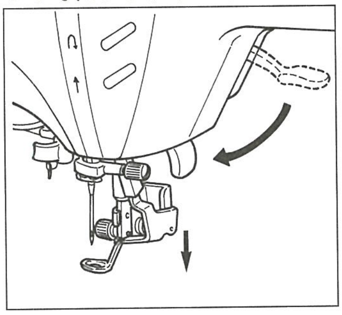
≪編集することができます≫

●枠の中で刺しゅうをする位置に移動させるには、63ページをご覧ください。
●文字・模様を回転させたり、大きさを変えたりするには、64ページをご覧ください。
●内蔵の文字（ひらがな、カタカナ）をたて書きにしたり、文字間隔を変えたりするには、65，66ページをご覧ください。
●文字・模様を組み合せるには、67，68ページをご覧ください。
●一度に、刺しゅう枠に入らない文字などを、つづけてぬうには、69～76ページをご覧ください。
●文字・模様を保存させるには、79，80ページをご覧ください。

10 押えを上げ、布を張った刺しゅう枠をさし込みます。



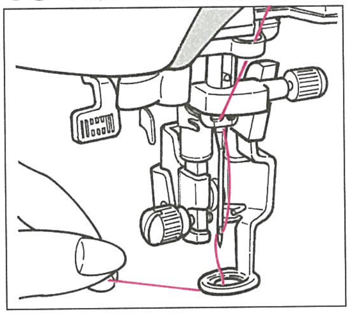
11 押えを下げます。



12 上糸をセットします。

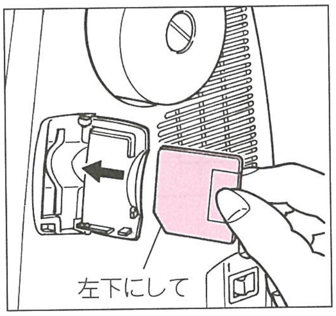
※自動上糸かけは9ページをご覧ください。

13 スタートさせます。

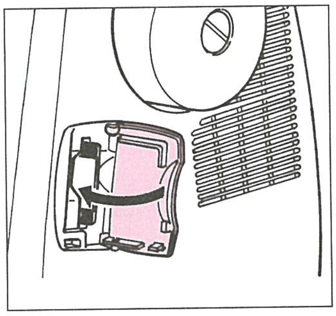


刺しゅうカード（別売）を使うときは･･･

カードの挿入



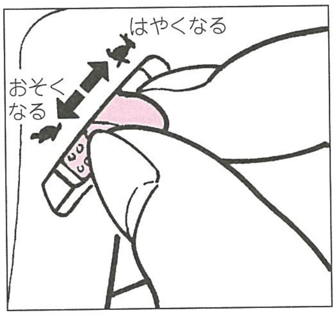
カードのかけている部分を左下にして、奥までしっかり差し込みます。



必ずフタをとじてください。開けたままではカードは使えません。

刺しゅうぬいの速度を変えることができます

●『ぬい時間』と『のこり時間』が表示されます。



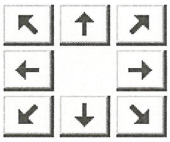
※刺しゅうカード（別売）を使用する際、カードの取扱説明書に記載されているぬい時間と、ミシン本体のぬい時間とのこり時間表示が、違う場合があります。
カードの取扱説明書に記載されているぬい時間は、速度を一番はやくしたときのぬい時間です。

模様・文字のぬう位置を決めるには･･･

ぬう位置を移動させるには

1 レイアウト画面 を押します。

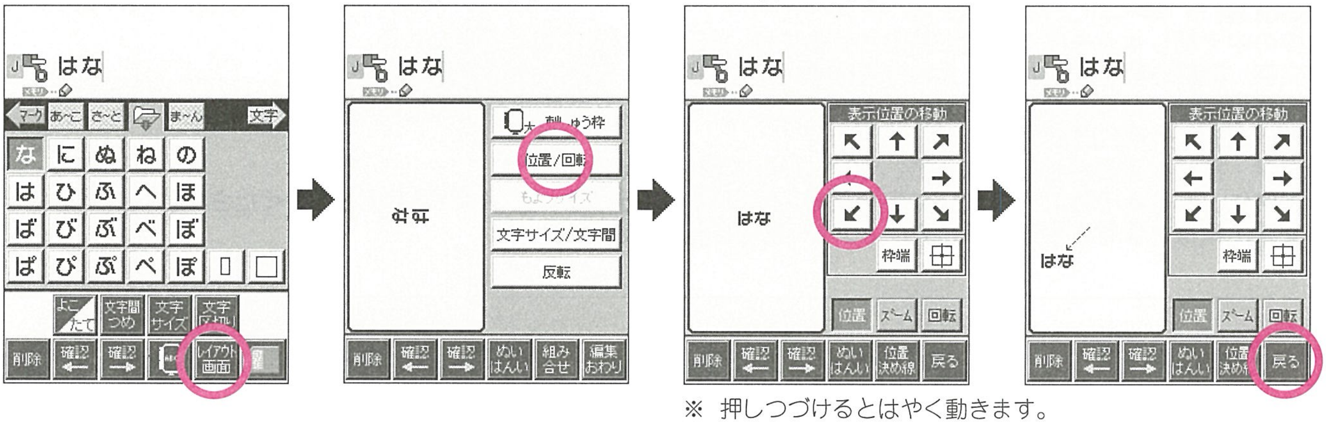
2 位置/回転 を押します。



3 を押します。

移動が終わりましたら

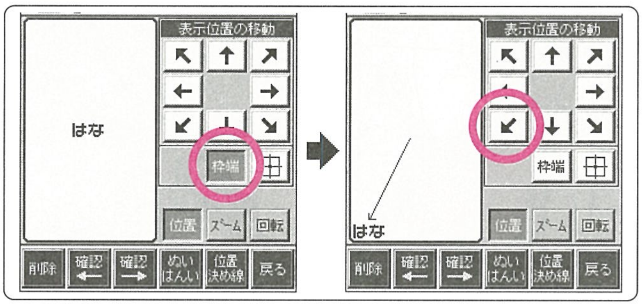
4 戻る を押します。



※ 押しつづけるとはやく動きます。

※ ⊞ を押すと中心に戻ります。

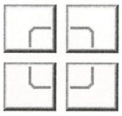
※ 枠端 を押して矢印を押すと、その方向の枠の端に移動します。



ぬう位置を確認するには

1 レイアウト画面 を押します。

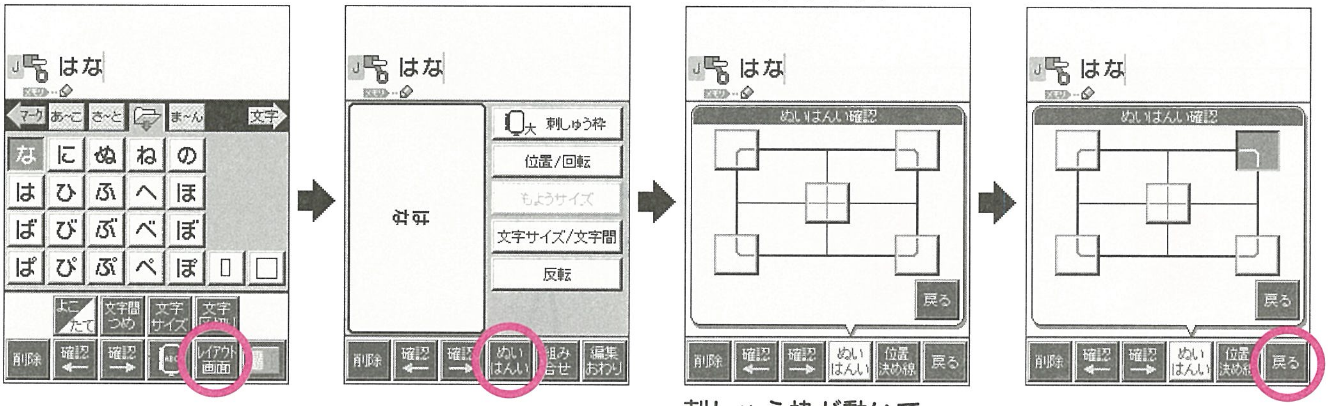
2 ぬいはんい を押します。



3 を押します。

確認が終わりましたら

4 戻る を押します。

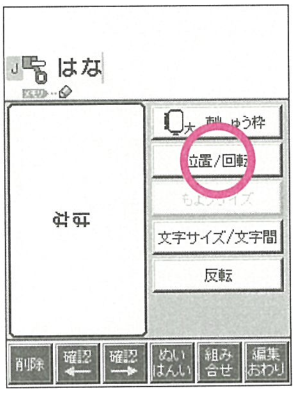


刺しゅう枠が動いて
ぬう範囲を示します。

模様・文字の回転／大きさ変更

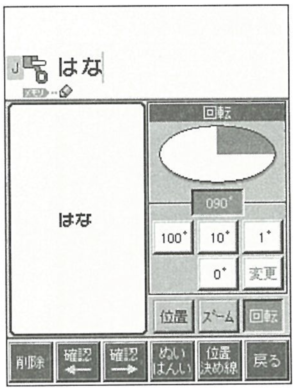
模様・文字を回転させるには

1 [位置/回転] を押します。



2 [回転] を押します。

3 [100°] [10°] [1°] [0°] を押して回転角度を設定します。



押すたびに、角度が加算されます。

例） 90度→ [10°] を9回押します。

4 [変更] を押します。

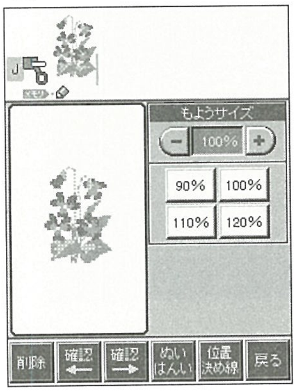
＊もようが枠付近にあるとき、角度によって回転ができない場合があります。
＊その場合、位置を移動させると、角度を設定することができます。

模様の大きさを変えるには

※刺しゅうカードによっては変更できない模様もあります。

1 [もようサイズ] を押します。

2



[90%] [100%] [110%] [120%] のいずれかを押してお好みの大きさにします。

1％ずつ変えたいときには [－] か [＋] を押していきます。

（設定範囲：90%～120%）

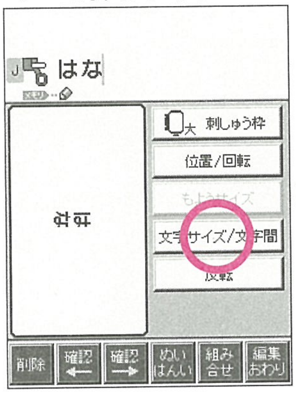
模様によって拡大できる大きさが異なります。
※模様によって90度回転させると更に拡大できることがあります。
※端によせた模様は、まん中に戻すと更に拡大（120%まで）できることがあります。

3 終了しましたら [戻る] を押します。

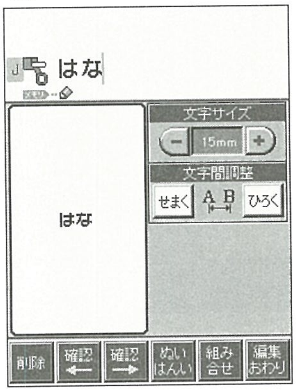
文字の大きさを変えるには

※文字サイズを15mmより小さくした場合、文字は ■ で表示されます。

1 [文字サイズ/文字間] を押します。



2



小さくしたいときは [－] を、
大きくしたいときは [＋] を押します。

押すごとに1mmずつ大きさが変化します。
（設定範囲：7mm～60mm）

文字数によって拡大できる大きさが異なります。
※文字数によっては、90度回転させると更に拡大できます。
※端によせた文字は、まん中に戻すと更に拡大（60mmまで）できます。

3 終了しましたら [戻る] を押します。

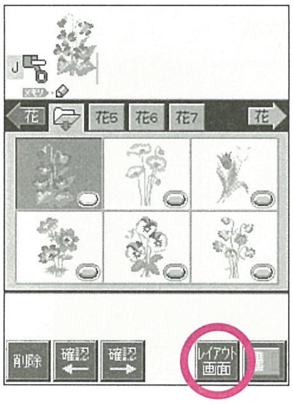
刺しゅう

模様・文字の反転／よこ書き・たて書き

模様・文字を反転させるには

※刺しゅうカードによっては反転できない模様もあります。

1 レイアウト画面 を押します。



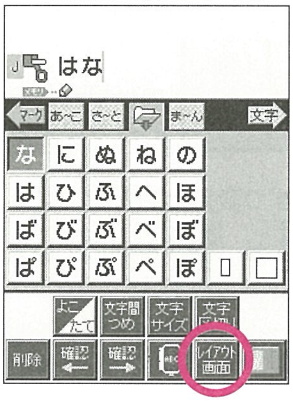
2 反転 を押します。

3

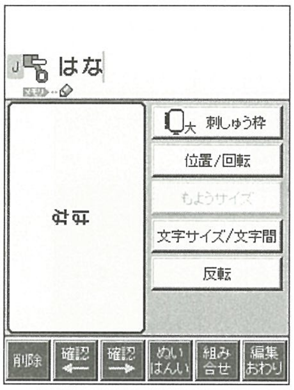
よこがき・たてがきを切り替えるには

1 よこ たて を押します。

2 レイアウト画面 を押します。

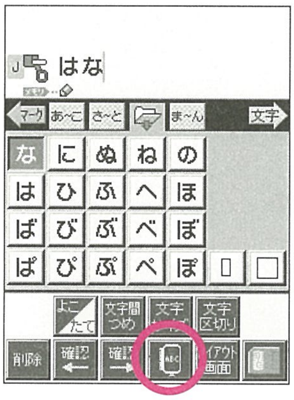


3

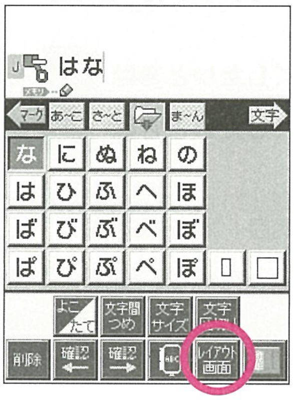


よこおき・たておきを切り替えるには

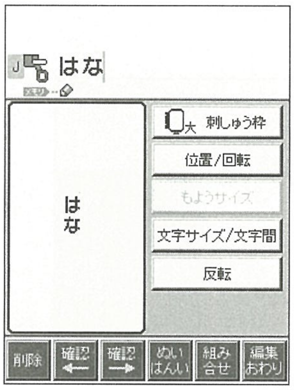
4 [ABC] を押します。



5 レイアウト画面 を押します。



6



文字間隔の変更／文字を区切るには･･･

文字間隔を変えるには

内蔵文字の間隔を枠内の範囲で、あけたりつめたりすることができます。

●文字選択画面で文字間隔をつめたいときは･･･

1 文字を選びます。

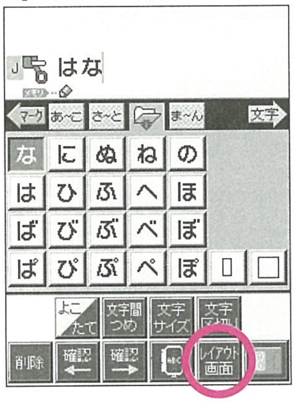
2 ［文字間 つめ］を押します。

3 文字を選びます。

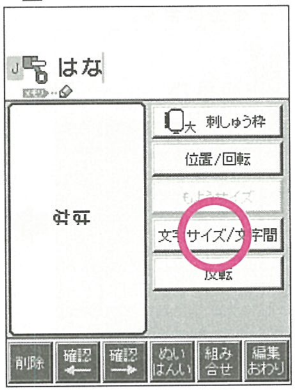
※レイアウト画面上の文字の表示は目安ですので、実際のぬいと多少異なることがあります。

●レイアウト画面で文字間隔を変えたいときは･･･

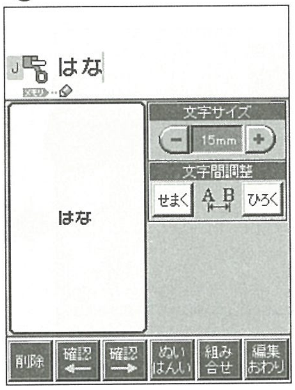
1 ［レイアウト 画面］を押します。



2 ［文字サイズ/文字間］を押します。



3



文字間隔を
狭くしたいときは［せまく］を、
広くしたいときは［ひろく］を
押します。

終了しましたら
［戻る］を押します。

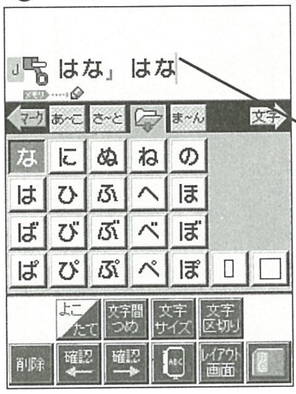
文字を区切るには

内蔵文字の編集を、複数に分けてすることができます。

1 文字を選びます。

2 ［文字 区切り］を押します。

3 文字を選びます。



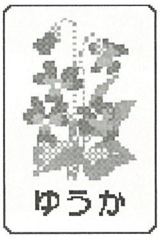
「はな」と「はな」を
別々に編集できます。

カーソル
模様と模様の間に新たに模様（区切りなども）を追加するときは、［確認 ←］キーを使って、追加したい位置に移動させてから、模様を選びます。

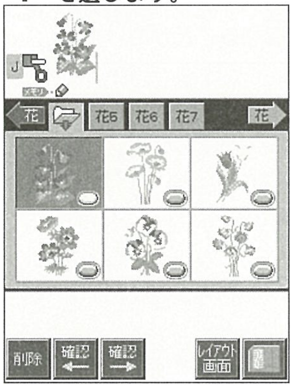
刺しゅう

模様と文字を組み合わせてぬうには･･･

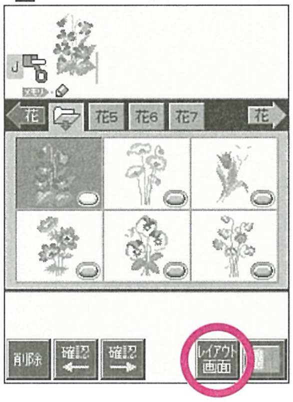
例）



1 花4 のスミレを選びます。

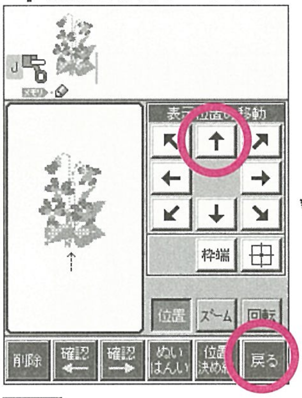


2 レイアウト画面 を押します。



3 位置/回転 を押します。

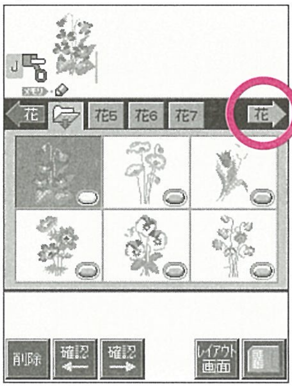
4 模様を移動させます。



戻る を押します。

5 組み合せ を押します。

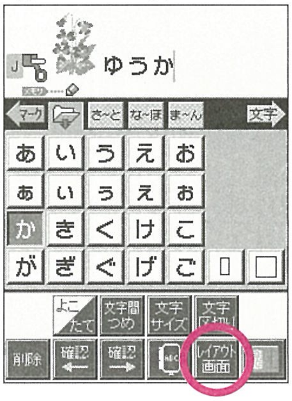
6



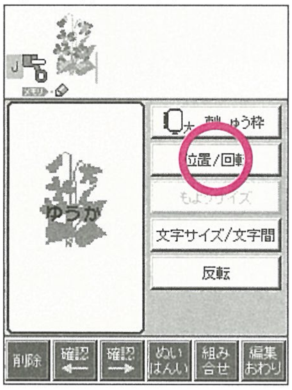
矢印（➡）を押していき、
文字の画面を出します。

7 文字を選びます。

8 レイアウト画面 を押します。



9 位置/回転 を押します。



10 模様の位置に合わせて文字を移動させます。

位置決め線 を押すとマス目が表示され、編集に便利です。

もう一度押すと、
マス目が消えます。

※このとき、模様を編集したい場合は 確認 を3回押すと、指定が文字から模様に変わります。

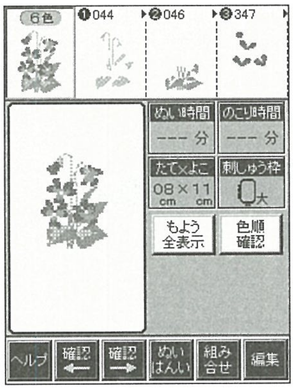
戻る を押します。

刺しゅう

設定されている
刺しゅう枠をセット
してから

11 編集おわり を押します。

12 ミシンをスタートさせます。

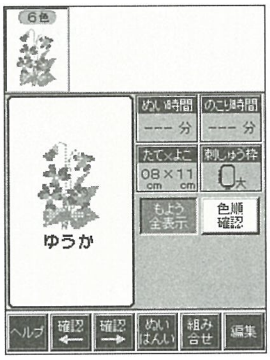


選択した順にぬわれますので、この場合は模様が先にぬわれます。
※文字からぬいたい場合は 確認→ を押すと、ぬいの指定が文字に変わります。

ミシンが止まりましたら、上糸を換えて再びミシンをスタートさせます。
こんどは文字がぬわれます。

もよう全表示 を押すと画面に編集されている全ての模様が表示されます。

もう一度押すと元に戻ります。



画面表示のはたらき

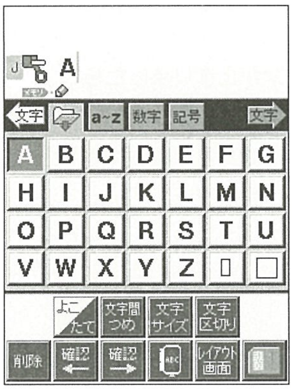
レイアウト画面	レイアウト画面が表示されます。	よこ/たて	文字を（よこがき）か（たてがき）に設定することができます。
組み合せ	模様を組み合せたいときに押します。	文字間つめ	文字の間隔をつめたいときに押します。
削除	指定されている文字や模様を消去します。5秒以上押し続けると全てを消去します。	文字サイズ	文字サイズを変更したいときに押します。
ぬいはんい	キャリッジを動かしてぬい範囲を確認します。	文字区切り	文字のまとまりを別にしたいときに押します。
位置決め線	画面の枠内にマス目を表示します。	(ABC枠)	枠の中のレイアウトを（よこおき）か（たておき）に設定することができます。
編集	レイアウト画面に戻りたい場合に押します。	編集おわり	設定した刺しゅう枠をセットしてから、このキーを押します。
確認← 確認→	多くの文字を記憶したときの確認や、編集したい模様を変更することができます。	ヘルプ	ぬいスタート画面： キャリッジ キーを出すのに使います。 ぬい中：途中で糸が切れてしまったときに使います。（81，82ページ参照）

つなぎ刺しゅう

＊模様や文字のレイアウトが刺しゅう枠の中で一度に収まらないとき、
数回に分けてぬってもズレがおきない方法です。

例）画面上でレイアウトした文字や模様をつなげてぬう場合

1 アルファベットを押していきます。

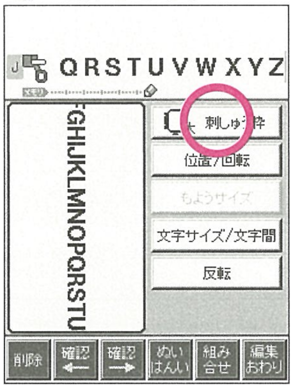


2 を押します。

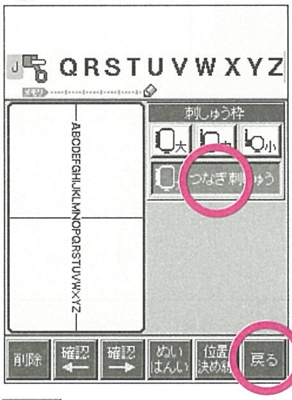
3 レイアウト画面 を押します。

4 OK を押します。

5 大 刺しゅう枠 を押します。



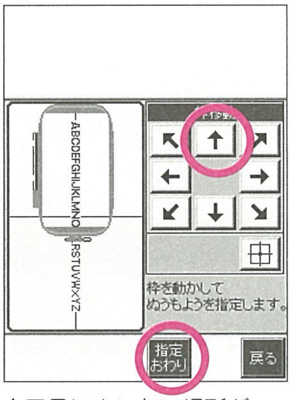
6 大 つなぎ刺しゅう を押します。



戻る を押します。

7 編集おわり を押します。

8 最初にぬう模様の位置を指定します。



1回目にぬいたい場所が、
枠の中心にくるようにします。

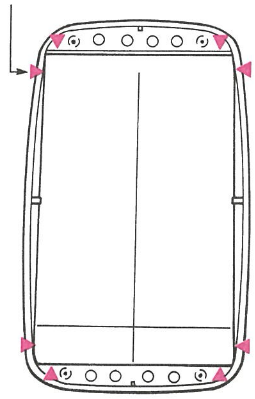
指定おわり を押します。

9

＊布を刺しゅう枠にセットするとき、布のよこ線・たて線が、枠についている△印より内側にくるようにセットします。

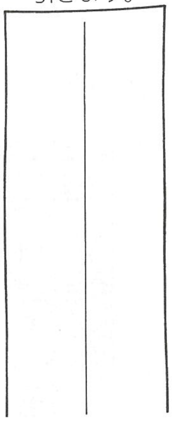
終わりましたら
セット終了 を押します。
枠をミシンにセットします。

△印

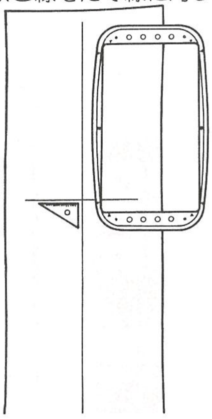


布地の用意

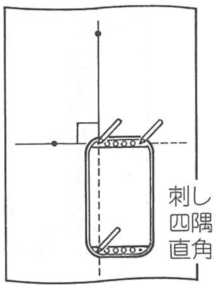
1．たて線を
　引きます。



2．刺しゅう枠のぬえる範囲のところへ
　よこ線をたて線に対して直角に引きます。

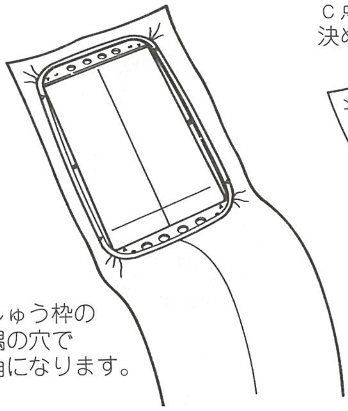


＊直角定規がない
　ときのよこ線の
　引き方：

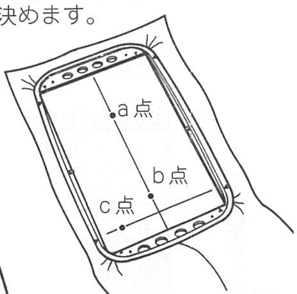


刺しゅう枠の
四隅の穴で
直角になります。

3．刺しゅう枠に
　張ります。



4．液晶画面を操作してたて線
　上にａ，ｂ点を、よこ線上に
　ｃ点の針落ち位置を確認し、
　決めます。



＊点と点の間は
　5cm以上
　あけてください。

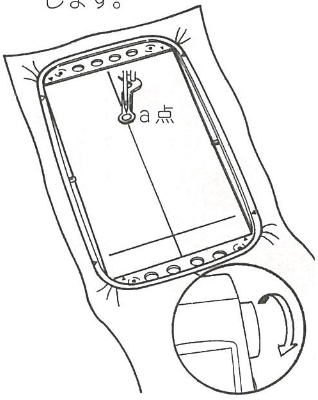
10　a，b，c 点の針落ち位置を決めるための液晶画面の操作

1. a 点の決め方

1　画面のたて線の上の方に指を触れます。

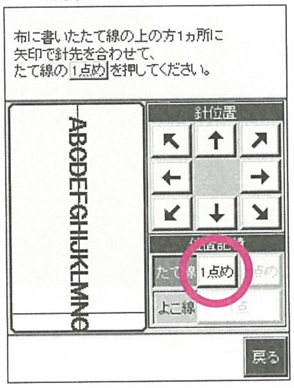
…すると刺しゅう枠が動きます。

2　はずみ車を回し、針がたて線上にあるか確認します。



3　たて線上に針先がくるように針位置キーを押します。その都度、はずみ車を回し、針を下げて、針先が線上にくることを確認します。

4　たて線上に針落ち点がきちんと決まったら、1点めの位置記憶キーを押します。

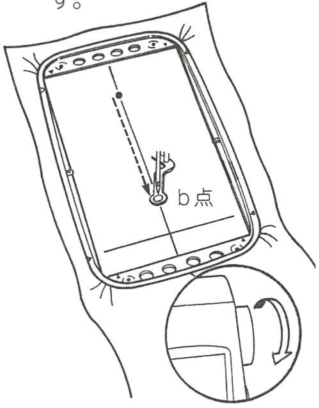


2. b 点の決め方

1　画面のたて線下方に指を触れます。

…すると刺しゅう枠が動きます。

2　はずみ車を回し、針がたて線上にあるか確認します。

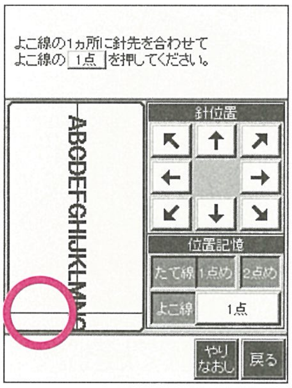


3　たて線上に針先がくるように針位置キーを押します。その都度、はずみ車を回し、針を下げて、針先が線上にくることを確認します。

4　たて線上に針落ち点がきちんと決まったら、2点めの位置記憶キーを押します。

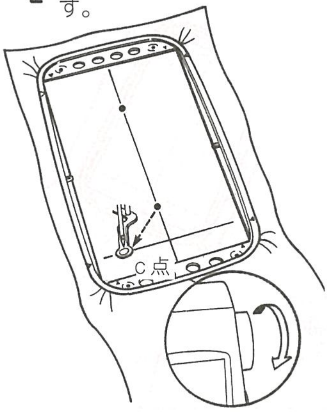
3. c 点の決め方

1 画面のよこ線のあたりに指を触れます。

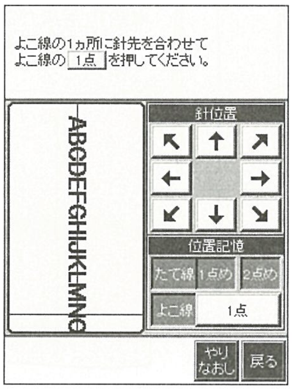


…すると刺しゅう枠が動きます。

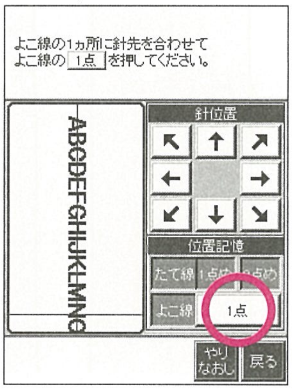
2 はずみ車を回し、針がよこ線上にあるか確認します。



3 よこ線上に針先がくるように針位置キーを押します。その都度、はずみ車を回し、針を下げて、針先が線上にくることを確認します。

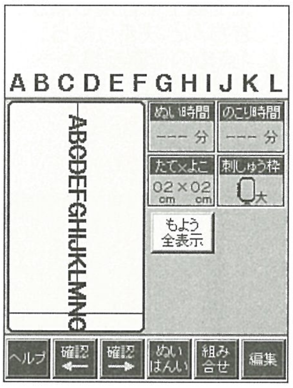


4 よこ線上に針落ち点がきちんと決まったら、1点めの位置記憶キーを押します。



※点の位置を記憶したあと、指定をやり直したいときは [やり なおし] を押します。

11 スタートさせます。

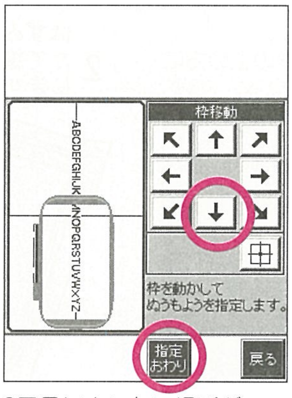


指定された位置の模様がぬわれます。

12

[OK] を押します。

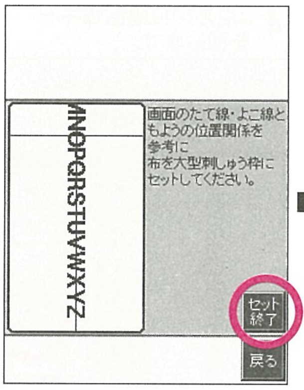
13 次にぬう模様の位置を指定します。



2回目にぬいたい場所が、枠の中心にくるようにします。

[指定 おわり] を押します。

14



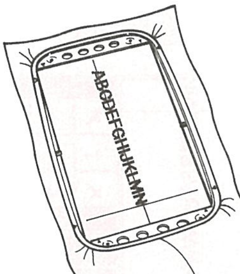
終わりましたら

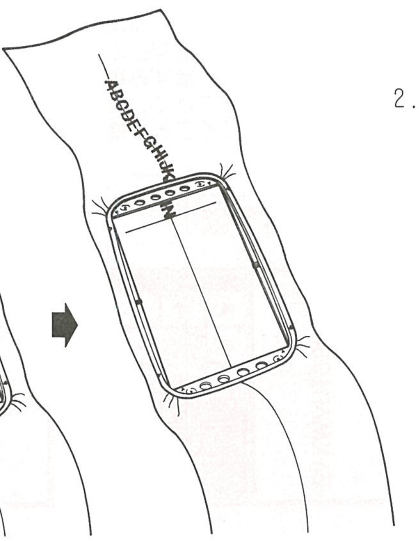
[セット 終了] を押します。

枠をミシンにセットします。

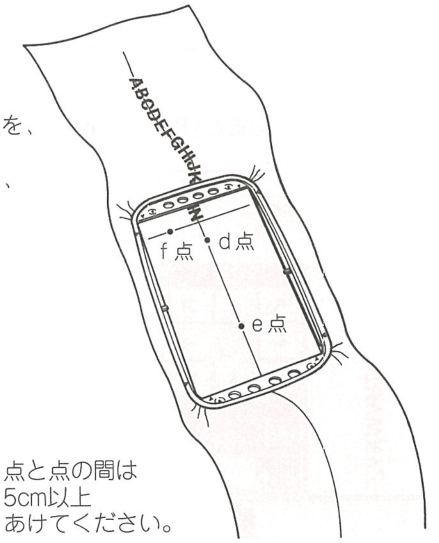
布地の用意

1．刺しゅう枠を
張りかえます。





2．液晶画面を操作して
よこ線上にｄ，ｅ点を、
たて線上にｆ点の
針落ち位置を確認し、
決めます。

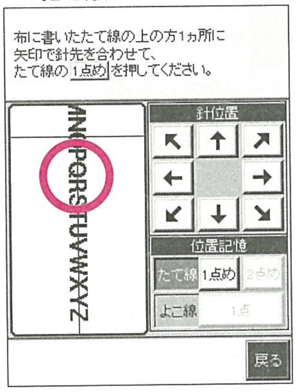


＊点と点の間は
5cm以上
あけてください。

15 ｄ，ｅ，ｆ点の針落ち位置を決めるための液晶画面の操作

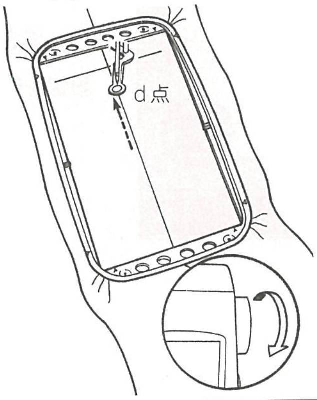
1. d点の決め方

1 画面のたて線の上の方に指を触れます。

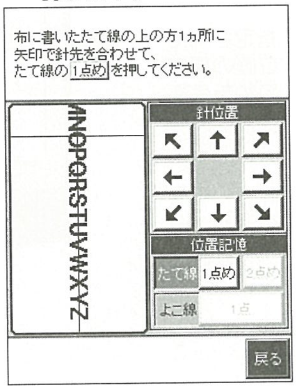


…すると刺しゅう枠が動きます。

2 はずみ車を回し、針がたて線上にあるか確認します。



3 たて線上に針先がくるように針位置キーを押します。その都度、はずみ車を回し、針を下げて、針先が線上にくることを確認します。



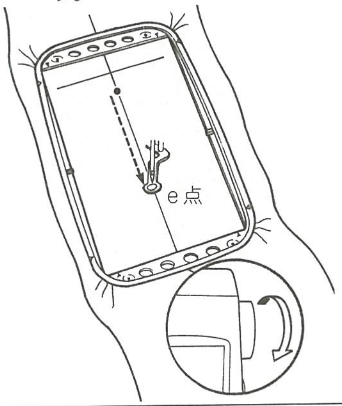
4 たて線上に針落ち点がきちんと決まったら、1点めの位置記憶キーを押します。

2. e点の決め方

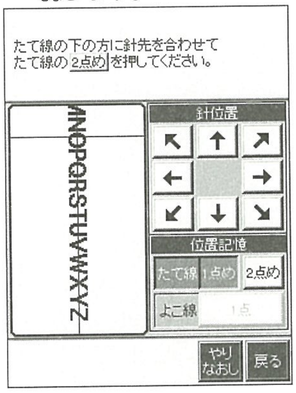
1 画面のたて線下方に指を触れます。

…すると刺しゅう枠が動きます。

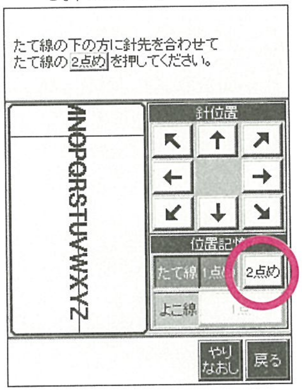
2 はずみ車を回し、針がたて線上にあるか確認します。



3 たて線上に針先がくるように針位置キーを押します。その都度、はずみ車を回し、針を下げて、針先が線上にくることを確認します。

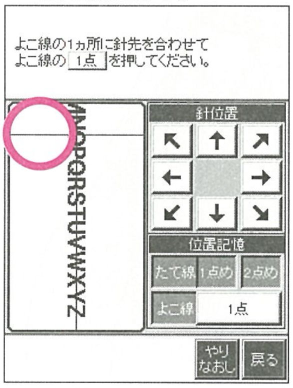


4 たて線上に針落ち点がきちんと決まったら、2点めの位置記憶キーを押します。



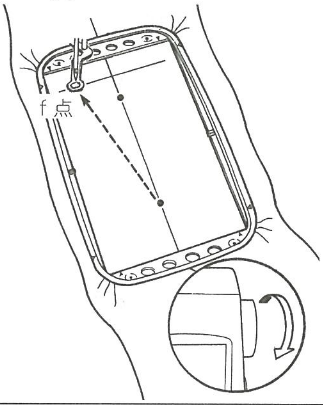
3. f点の決め方

1 画面のよこ線のあたりに指を触れます。

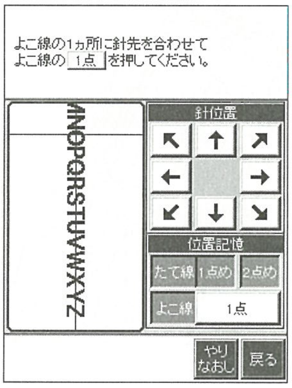


2 はずみ車を回し、針がよこ線上にあるか確認します。

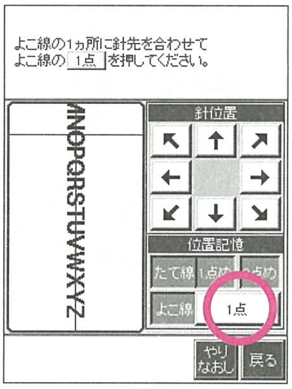
・・・すると刺しゅう枠が動きます。



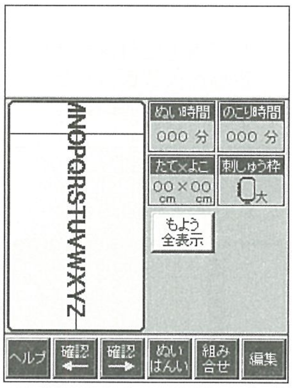
3 よこ線上に針先がくるように針位置キーを押します。その都度、はずみ車を回し、針を下げて、針先が線上にくることを確認します。



4 よこ線上に針落ち点がきちんと決まったら、1点めの位置記憶キーを押します。



16 スタートさせます。



指定された位置の模様がぬわれます。

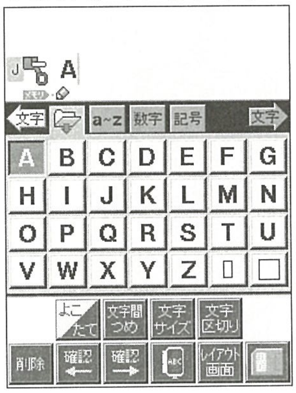
17

＊アルファベットのつづきをぬいたい場合は OK を押した後、設定を最初からくりかえします。

刺しゅう

1回目の指定で入り切らなかった文字をつづけてぬいたいときは・・・

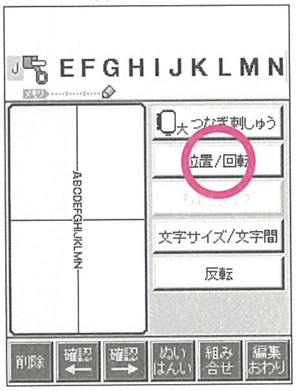
18 つづきのアルファベットを押していきます。



19 を押します。

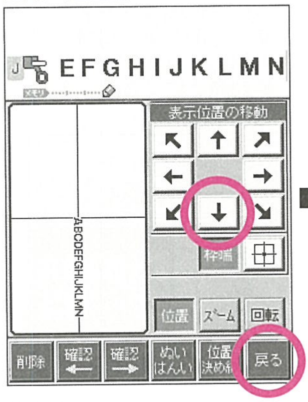
20 レイアウト画面 を押します。

21 位置/回転 を押します。



22 枠端 を押します。

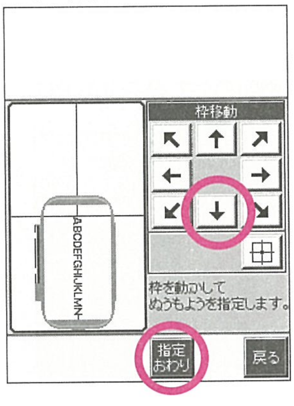
23 ↓ を押します。



戻る を押します。

24 編集おわり を押します。

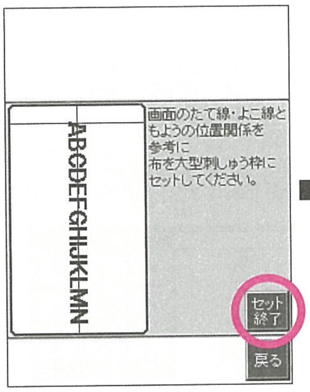
25 模様の位置を指定します。



3回目にぬいたい場所が、枠の中心にくるようにします。

指定おわり を押します。

26



終わりましたら

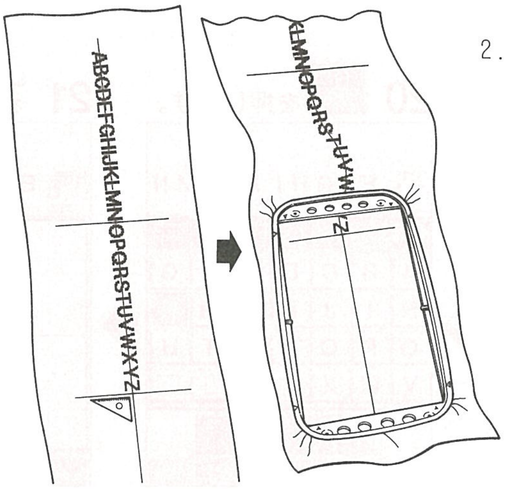
セット終了 を押します。

枠をミシンにセットします。

布地の用意

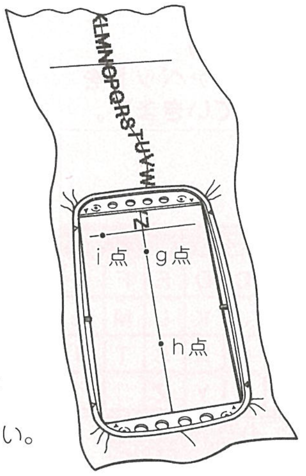
1. 刺しゅう枠を張りかえます。

文字のぬい終りに合せて、直角の線をひきます。



2. 液晶画面を操作してよこ線上にg，h点を、たて線上にi点の針落ち位置を確認し、決めます。

＊点と点の間は5cm以上あけてください。



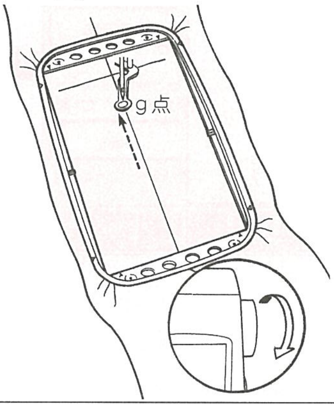
27 g，h，i点の針落ち位置を決めるための液晶画面の操作

1. g点の決め方

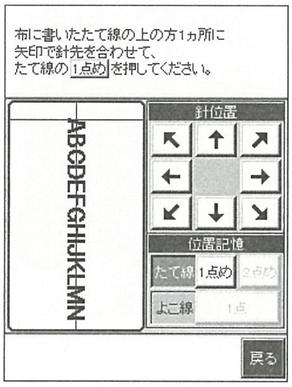
1 画面のたて線の上の方に指を触れます。

…すると刺しゅう枠が動きます。

2 はずみ車を回し、針がたて線上にあるか確認します。



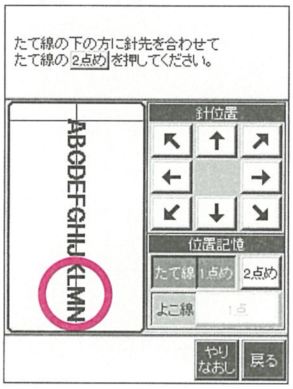
3 たて線上に針先がくるように針位置キーを押します。その都度、はずみ車を回し、針を下げて、針先が線上にくることを確認します。



4 たて線上に針落ち点がきちんと決まったら、1点めの位置記憶キーを押します。

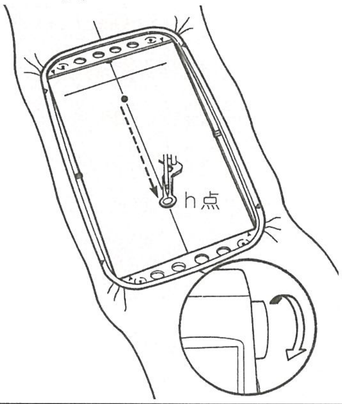
2. h点の決め方

1 画面のたて線下方に指を触れます。

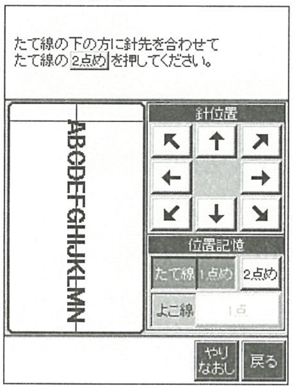


…すると刺しゅう枠が動きます。

2 はずみ車を回し、針がたて線上にあるか確認します。



3 たて線上に針先がくるように針位置キーを押します。その都度、はずみ車を回し、針を下げて、針先が線上にくることを確認します。

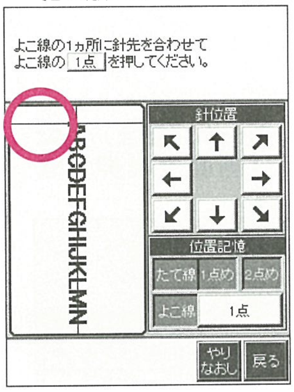


4 たて線上に針落ち点がきちんと決まったら、2点めの位置記憶キーを押します。

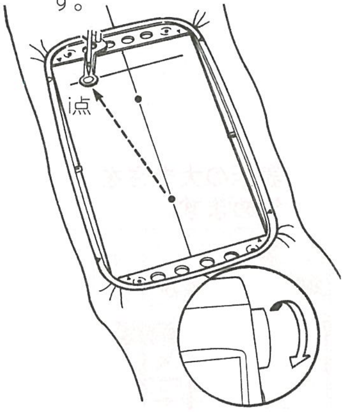
3. i点の決め方

…すると刺しゅう枠が動きます。

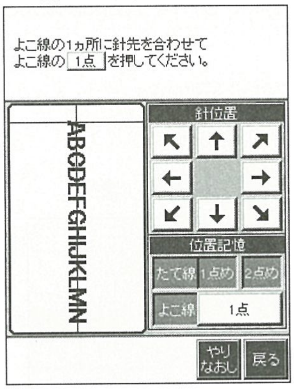
1 画面のよこ線のあたりに指を触れます。



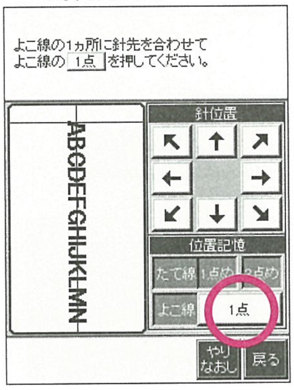
2 はずみ車を回し、針がよこ線上にあるか確認します。



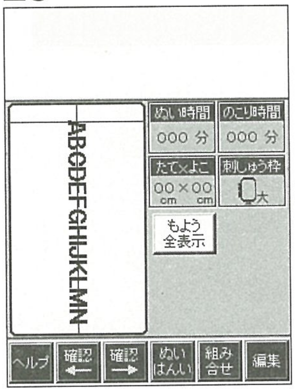
3 よこ線上に針先がくるように針位置キーを押します。その都度、はずみ車を回し、針を下げて、針先が線上にくることを確認します。



4 よこ線上に針落ち点がきちんと決まったら、1点めの位置記憶キーを押します。

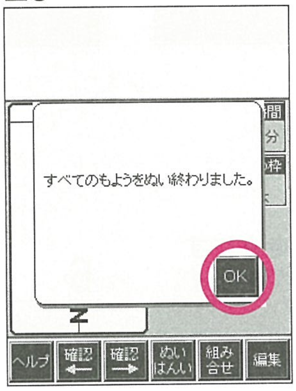


28 スタートさせます。



指定された位置の模様がぬわれます。

29



＊アルファベットのつづきをぬいたい場合は OK を押した後、設定を最初からくりかえします。

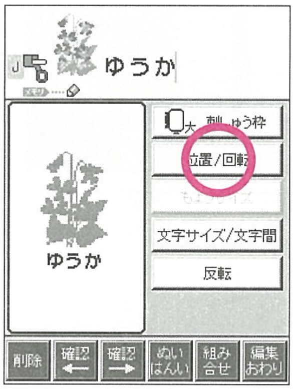
これをくりかえしていきますと、何度でもつなげてぬっていくことができます。内蔵の花のボーダー模様などをつなぎ刺しゅうにしたいときも、同じようにしていきます。

ズーム（拡大）機能について

模様や文字などを組み合わせたとき、接近しすぎて重なり合ってしまうかどうか、
また、つなぎ刺しゅうのとき、つなぎ目の文字と文字、模様と模様がそろっているかどうか、
その部分を拡大して確認する機能です。

※液晶画面上で模様や文字など拡大されても、ぬう模様は拡大されません。

1 位置/回転 を押します。



2 ズーム を押します。

3 表示の大きさを決めます。

4 ズーム（拡大）したい画面上を押します。

4

元に戻したいときは 標準 を押します。

5 4倍の大きさにすることもできます。

6

元に戻したいときは 標準 を押します。

戻る を押すと元の画面に戻ります。

※大きくしたまま編集をすることもできます。

一時保存するには･･･

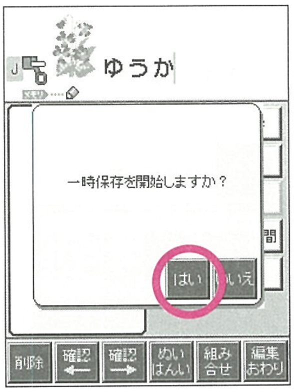
刺しゅうの選択・編集・ぬい途中でいったん電源を切りますと、初期画面に戻ります。
一時保存をしておくと、電源を切る前の画面を表示することができます。

電源を切る前に

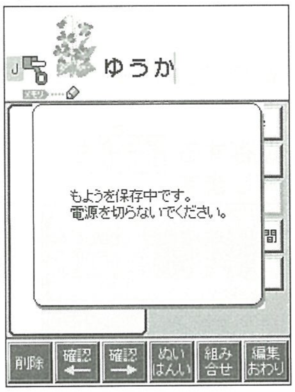
1 [一時保存] を押します。

※模様が選択されている状態であれば、どの画面からでも一時保存することができます。

2 [はい] を押します。



3



※模様の保存中は電源を切らないでください。

4 [OK] を押すと元の画面に戻ります。

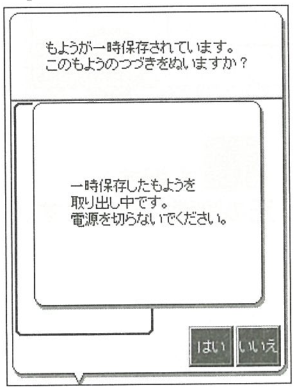
再び電源を入れたとき

1 液晶画面上に触れます。

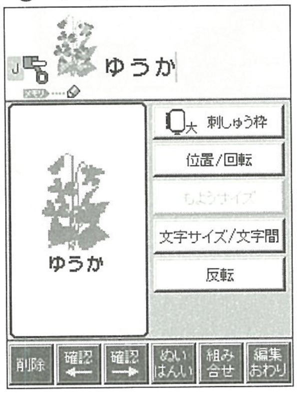
2 [OK] を押します。

3 [はい] を押します。

4



5 一時保存されていた画面が表示されます。



※一時保存された模様は、一度電源を入れて呼び出すと、再び電源を切った場合消えてしまいます。
長く保存したい場合は、『もようケース』への保存をおすすめします。
（もようケースへの保存は79，80ページをご覧ください）

組み合わせた模様や文字を保存するには

もようケース キーの使い方

最大32種類の模様データを、
「保存」・「取り出し」することができます。

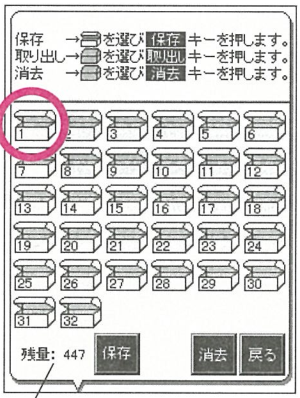
※データ量によって32種類を保存することができないことがあります。

保存する場合

※『保存中です』のメッセージがでているときは、電源を切らないでください。

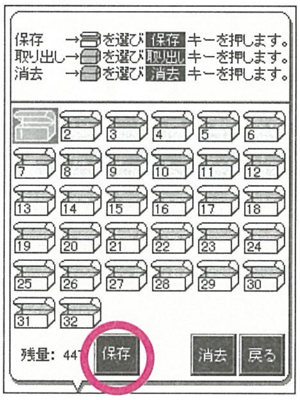
1 もようケース を押します。

2 保存する 1 を押します。

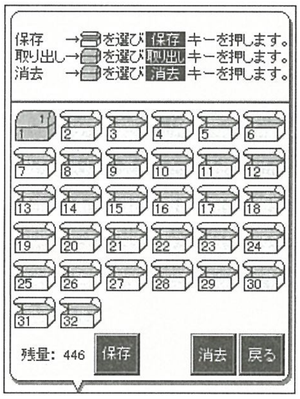


あとどのくらい保存できる容量があるか表示されます。

3 保存 を押します。



4

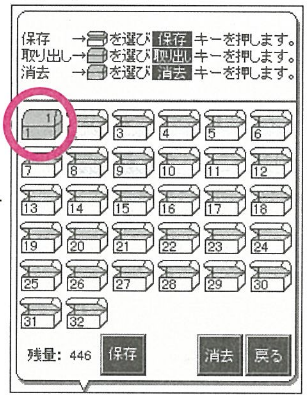


戻る を押すと元の画面に戻ります。

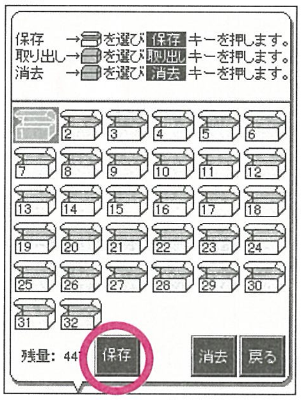
上書き保存する場合

1 もようケース を押します。

2 上書きする 1 を押します。



3 保存 を押します。



4 はい を押します。

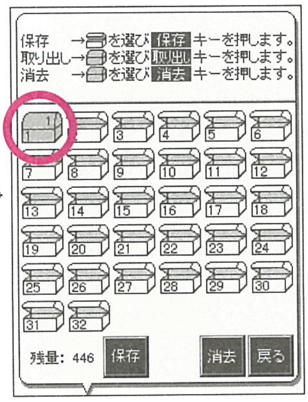
5 戻る を押すと元の画面に戻ります。

消去する場合

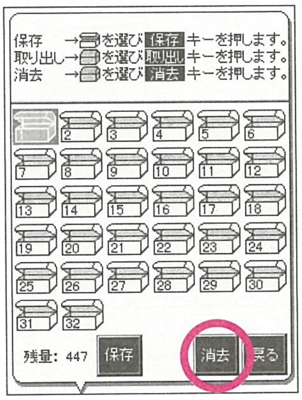
※『消去中です』のメッセージがでているときは、電源を切らないでください。

1 もようケース を押します。

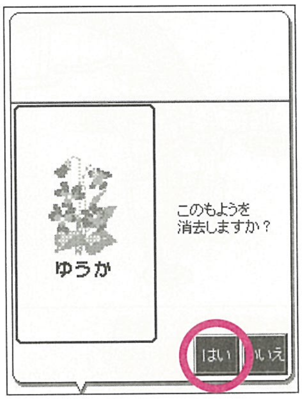
2 消去するもようの入った 1 を押します。



3 消去 を押します。



4 はい を押します。

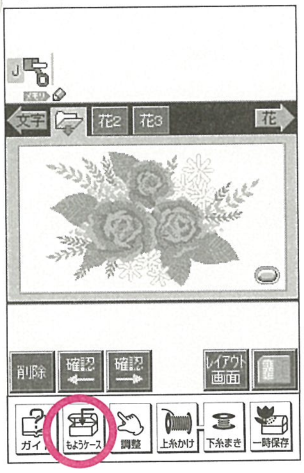


5 戻る を押すと
元の画面に戻ります。

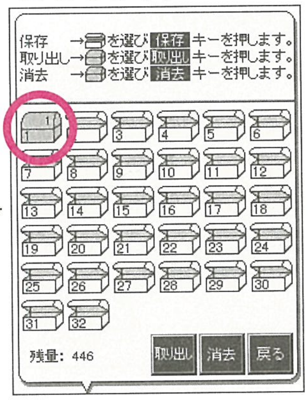
取り出す場合

※レイアウト画面で取り出すことはできません。選択画面で取り出してください。

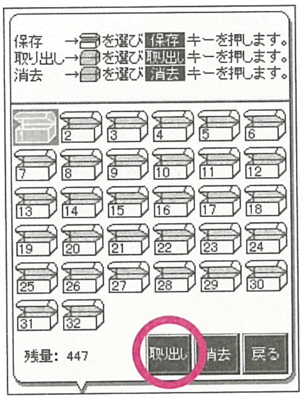
1 もようケース を押します。



2 取り出すもようの入っている 1 を押します。



3 取り出し を押します。

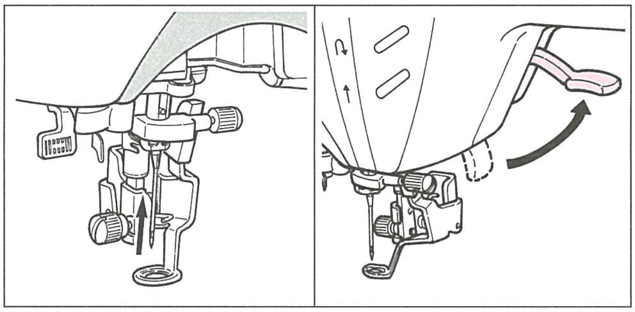


4 はい を押します。

ぬい途中で糸が切れたときは･･･

切れた途中からぬうときは･･･

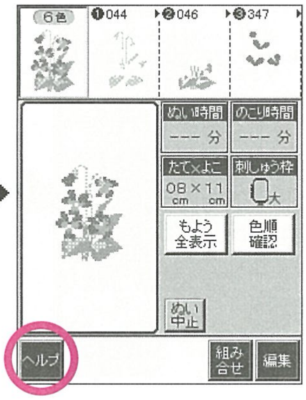
1 ミシンを止め、針と押えを上げます。



上糸が切れた場合：
上糸をかけ直します。

下糸が切れた場合：
①上糸を切って、刺しゅう枠をはずします。
②下糸をセットし直し、刺しゅう枠をとりつけます。

2 ヘルプ を押します。



3 戻す 進む を押して糸が切れた部分より2〜3針多めに、ぬい目を戻します。

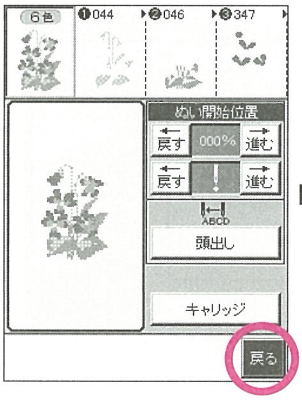
戻す 000% 進む

模様内全体の針数の割合で戻したり、進めたりするキーです。

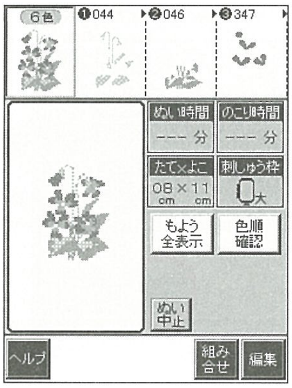
戻す ! 進む

1回押すたびに10針ずつ戻したり、1針ずつ進めたりするキーです。（オプションで針数を変えることができます。90ページ参照）

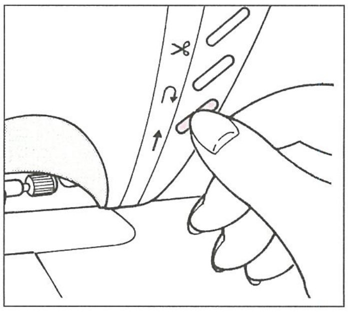
4 戻る を押します。



5 元の画面に戻ります。

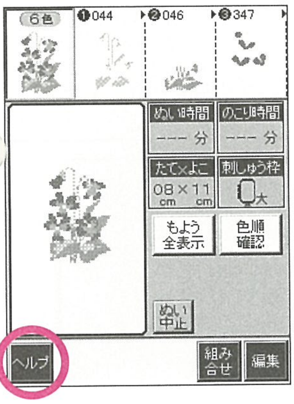


6 押えを下げてスタートさせます。

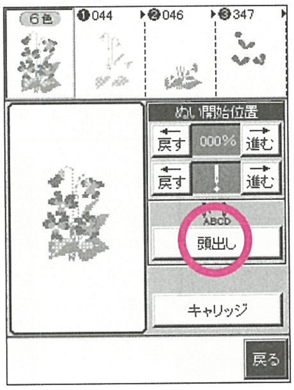


始めからぬい直したいときは・・・

1 ヘルプ を押します。

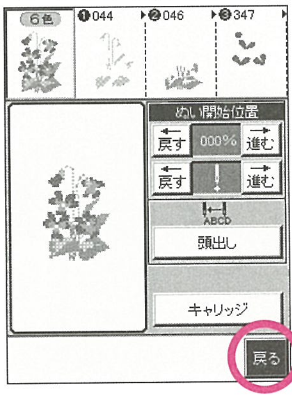


2 頭出し を押します。

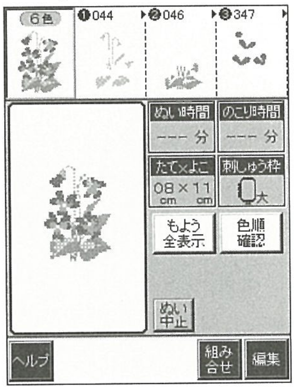


●刺しゅう枠が動いて
ぬっている模様のぬい始め
の位置に針がきます。

3 戻る を押します。



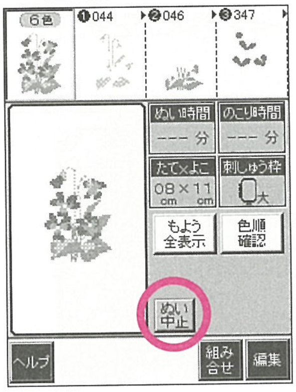
4 元の画面に
戻ります。



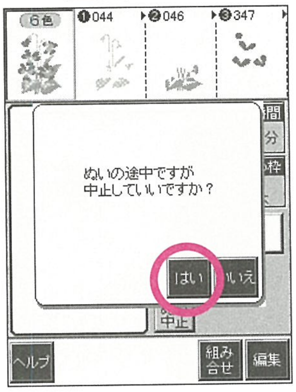
5 押えを下げて
スタートさせます。

ぬい中止をしたいときは・・・

1 ぬい中止 を押します。



2 糸が切れていること
を確認して、
はい を押します。



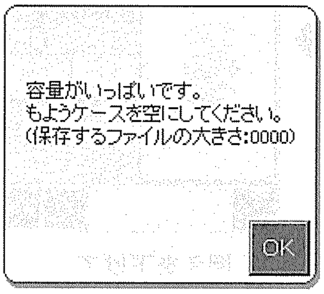
ぬいは中止
されました。

しんせつメッセージ（抜粋）

間違った操作をした時などメッセージが表示されますので、
メッセージにしたがって操作してください。

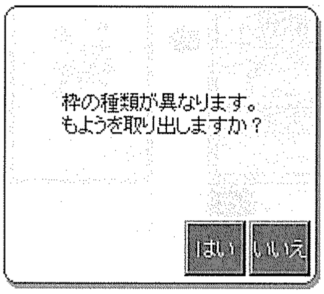
はい、いいえ、OK、とりけし を押すか、
表示手順を行なえば元の画面に戻ります。

1



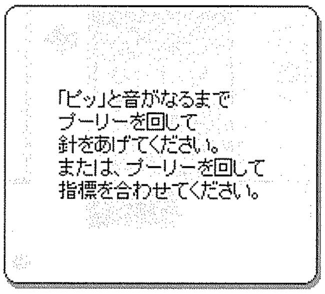
ケースに保存できる容量がないとき。
もようケースを空にすることで、もようの保存追加ができます。

2



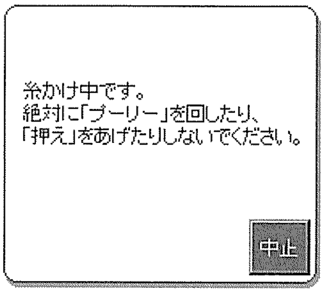
読み込もうとしているファイルに設定されている刺しゅう枠と、現在設定されている刺しゅう枠が違うとき。

3



そのままの針の位置では糸通し、糸巻きができないとき。
電源を入れたときや編集するときに、針がさがっている場合。

4

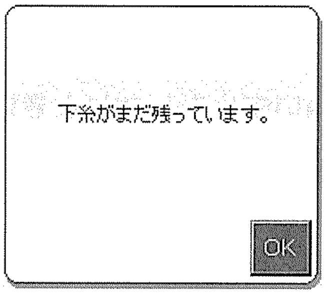


自動上糸かけをしているとき。

5

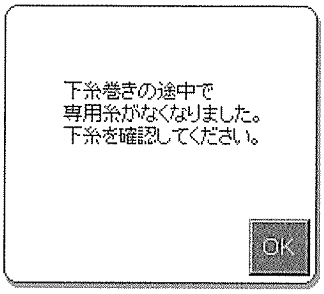
キャリッジがじゃまで上糸かけができないとき。

6



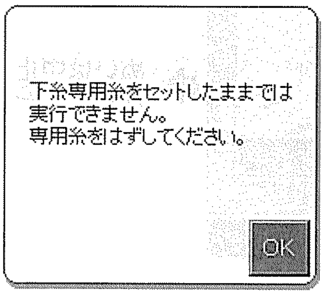
下糸が残っている状態で「下糸まき」のスタートキーを押したとき。

7



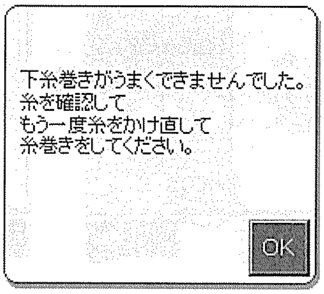
刺しゅうの自動下糸巻きで、専用糸がセットされていないとき。

8

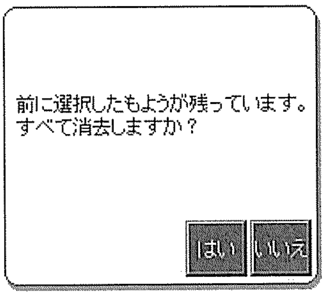


専用糸がセットされている状態で、下糸の巻き糸の設定を上糸にしたとき。

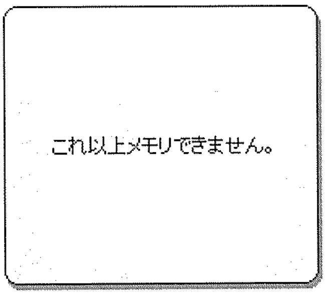
9



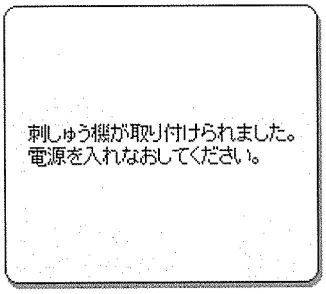
下糸が正しくセットされていないとき。
糸くずや糸がからまっていたとき。

10


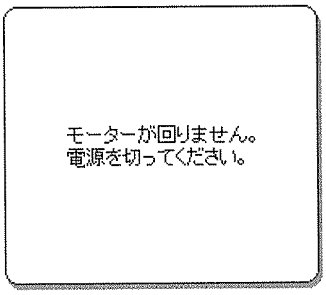
前に選択したもようをメモリした状態で、新しくもようを選ぼうとしたとき。

11


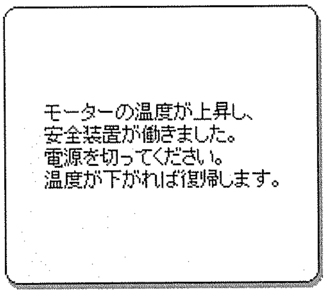
41個以上のもよう・文字を記憶させたとき。

12


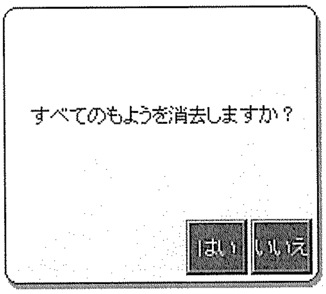
本体の画面表示のときに、刺しゅう機が取り付けられたとき。

13


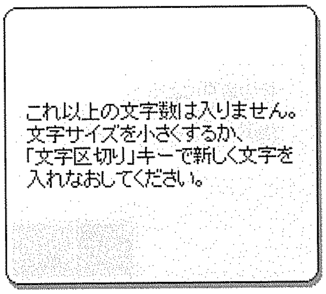
モーターに過負荷がかかって回らないとき。

14


モーター温度が異常に高くなったとき。

15


【削除】ボタンを5秒以上押したとき。

16


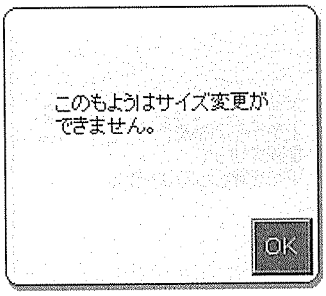
許容量をこえて文字をえらんだとき。

17

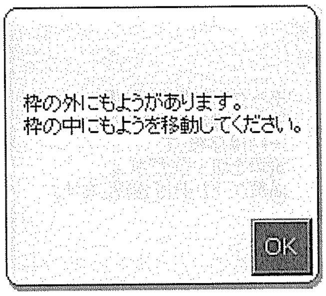
枠を移動させているとき、エラーがおこった場合。

18

ミシンが計算処理しているとき。

19


サイズ変更できない模様を変更しようとしたとき。

20


枠の変更や、文字などが枠に入らない状態で、編集を終わらせようとしたとき。

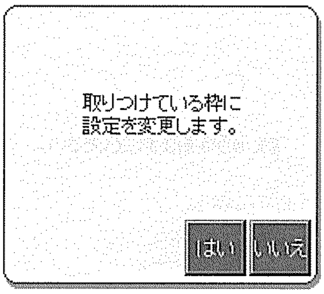
21

つなぎ刺しゅうでセットした布が傾きすぎているとき。

22

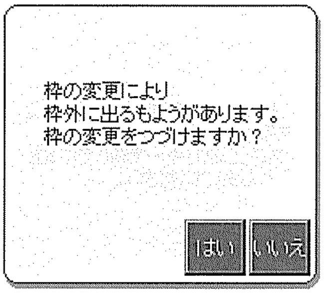
指定した角度で回転させようとした場合、枠からはみ出してしまうとき。

23



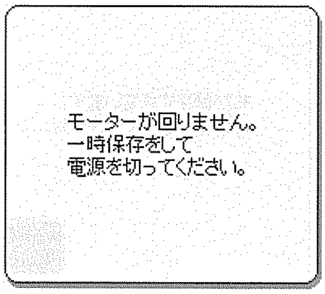
取り付けられている枠と、設定した枠が異なるとき。

24



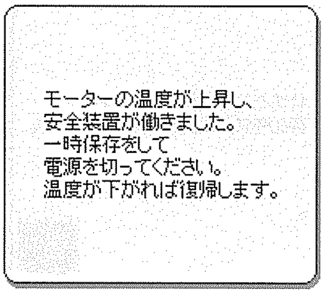
枠の設定を変更したために、枠の外に模様がでてしまうとき。

25



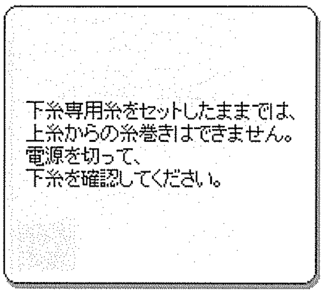
刺しゅうぬい中に、モーターが回らなくなったとき。

26



長時間のぬいを続けたとき。

27

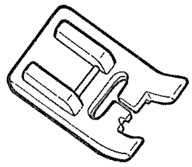


専用糸をセットした状態で、上糸からの自動下糸巻きをしようとしたとき。

別売品のご紹介

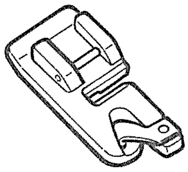
ホームソーイングをさらに楽しくする ‥‥‥ 別売品
当社の直営店、またはサービスセンターでお求めください。

●手動BH押え



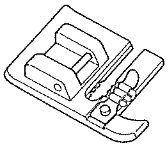
ぬいしろの重なっている部分のボタン穴かがりにご利用ください。

●三つ巻き押え



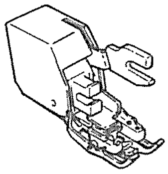
シャツやブラウスの裾、フリルやスカーフの縁の始末などに使います。

●ひもつけ押え



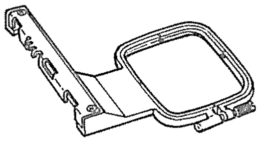
毛糸、刺しゅう糸、穴糸などのひもつけに使います。子供服やエプロン、インテリア小物に応用します。

布ずれ防止に‥‥
●上送りアタッチメント



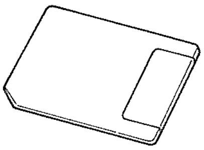
一般にミシンで送りにくい素材に使います。

●刺しゅう枠（小）



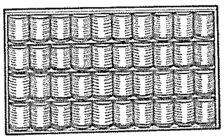
小物（ハンカチなど）
ネーム入れなどに使います。

●刺しゅうカード



刺しゅうの魅力をさらに広げる
刺しゅうカードをご用意しています。

●刺しゅう糸セット

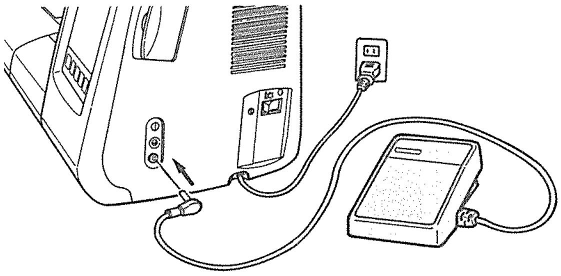


刺しゅうをより美しく仕上げる専用の糸をご用意しています。

●その他

刺しゅうスタンド

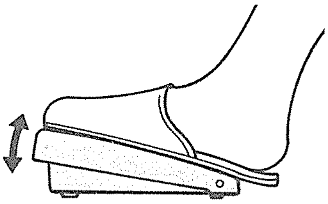
コントローラーを使いますと、足の操作で、スタート・ストップからスピードコントロールまでできます。



コントローラーのプラグを
ミシンのコンセントに差し込みます。

⚠注意 ミシンにセットしてあるコントローラーの上に物をのせないでください。

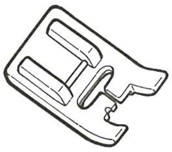
※コントローラーを使うときは、
スタート・ストップボタンはストップのみ有効です。



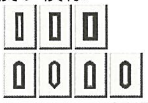
コントローラーを踏みますと、ミシンがスタートし、
速度も調節できます。
足をはなしますと、ミシンは止まります。
針は布に入ったまま止まります。

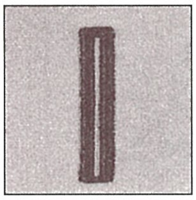
返しぬいをするときは、返しぬいスイッチを押します。

別売押え
手動ＢＨ押え



使う模様

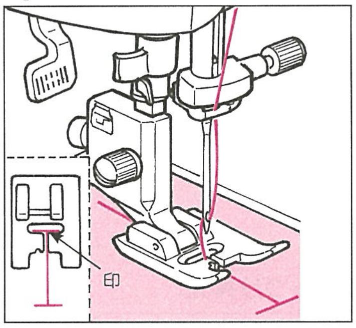




厚地の布を使った短冊あきや台衿の部分に穴かがりをする場合に用います。

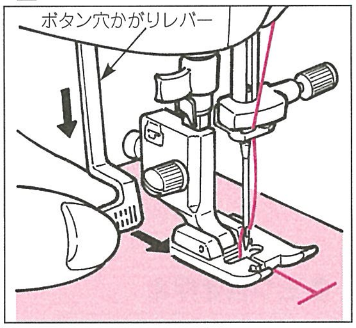
⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

1



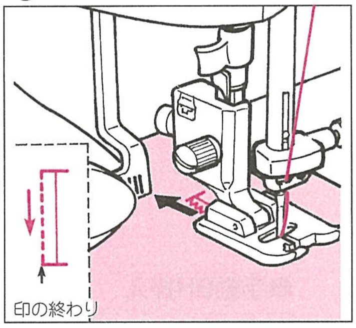
布地にボタン穴かがりの印をつけます。
針をあげたまま、印の交差した位置を、押えの針穴の中心に合わせて、押えをさげます。

2



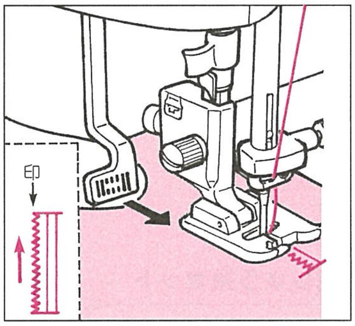
ボタン穴かがりレバーをさげて軽く手前に引き、スタートボタンを押して、ぬい始めます。
●左側の直線ぬいがはじまります。

3



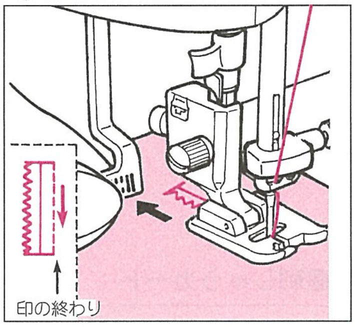
印の終わりに針がでたとき、ボタン穴かがりレバーを向こう側に軽く押します。
●バックで左側のぬいがはじまります。

4



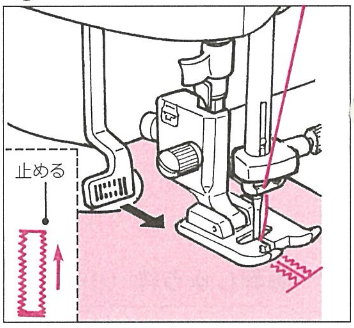
最初の印に針がきたとき、レバーを軽く手前に引きます。
●右側の直線ぬいがはじまります。

5



印の終わりに針がきたとき、レバーを向こう側に押します。
●手前のカン止めをぬってバックで右側のぬいがはじまります。

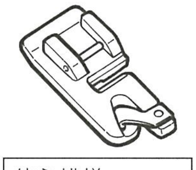
6



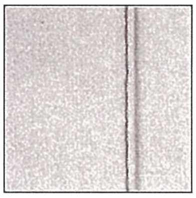
最初の印に針がきたとき、レバーを軽く手前に引くと、カン止め、止めぬいをして止まります。

ご注意
布がレバーに触れないようにします。
レバーが押されるとカン止めに切り変わってしまいます。

別売押え
三つ巻き押え

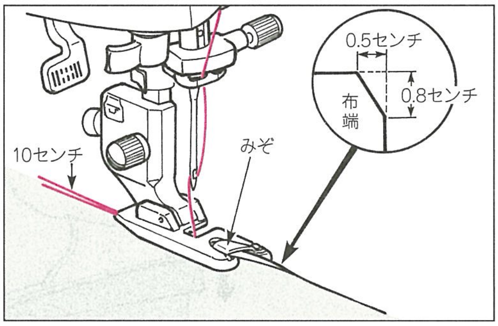


使う模様

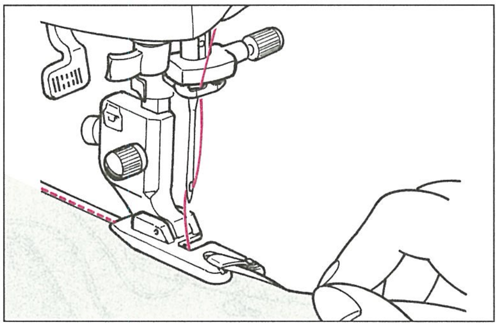


布端を三つ折りにしながらぬっていく方法で、シャツやブラウスの裾、フリルやハンカチの縁の始末などに使います。

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

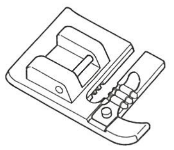


布地を巻き込みやすくするために角を少し切ります。押えのうず状のみぞの中に、布地を針がとどくところまで入れてから、針をおろして押えをさげます。

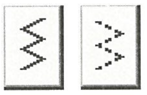


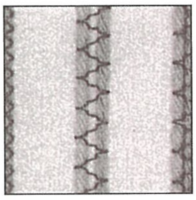
上下の糸端を左手で引き、手ではずみ車を3～4回まわします。正しく巻き込まれたら、右手の親指と人さし指で布地をつまみ、常に適量がくり入れられるようにしてぬっていきます。

別売押え
ひもつけ押え



使う模様



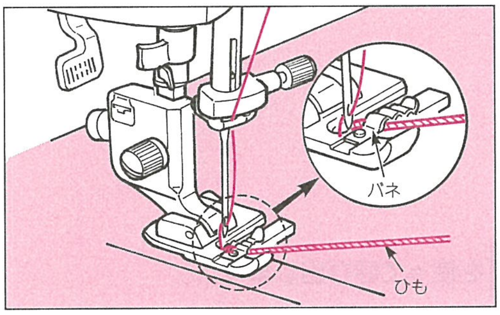


毛糸、手ぬい刺しゅう糸、穴糸などのひもを使い、
子供服やエプロン、インテリア小物に応用します。
1本から3本のひもつけができます。

⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

1本つけ

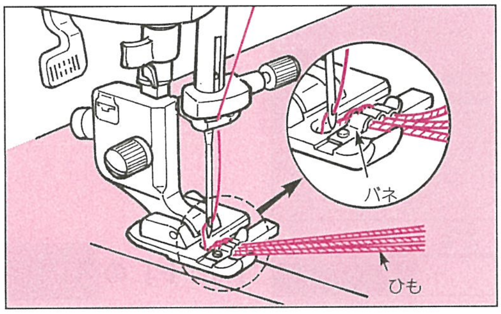
1本の場合は左端にひもを通し、ひもの先端を押えの裏にあるみぞにはめてから押えをさげます。



振り幅（2）のジグザグ模様で、ぬい止めます。
ぬい始めとぬい終わりに、返しぬいボタンを押して止めぬいをします。
ひもは布地の裏に引き出して結び、切ります。

3本つけ

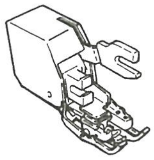
3本の場合は全部にひもを通します。ひもの先端は1本の場合と同じように、押えの裏にあるみぞにはめてから押えをさげます。



三点ジグザグ模様でぬい止めます。1本の場合と同じように止めぬいをして、ひもを布地の裏に出して結び、切ります。
※2本つけの場合はひもを押えの両端にセットします。

別売押え

布ずれ防止に････
上送りアタッチメント



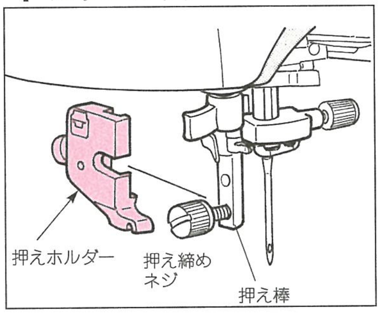
直線ぬい（たて送り）だけにお使いください。
※横送り直線・ジグザグ・模様ぬいには使わないでください。

使う模様

一般にミシンで送りにくい素材（ニット、ジャージー、ビニールクロス、人工皮革、皮など）に使います。
滑らかな送りで布ズレを防ぎ、きれいなぬい上りになります。

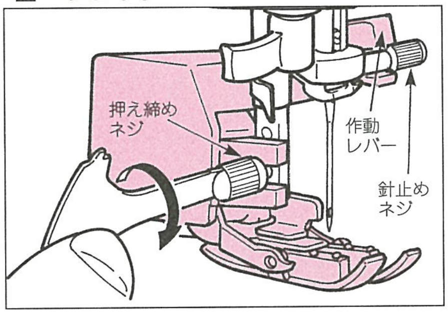
⚠注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

1 押えホルダーをはずします。



押え棒をあげて、押え締めネジをゆるめ、押えホルダーをはずします。

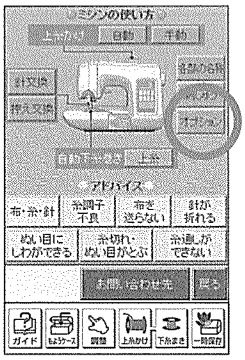
2 上送りアタッチメントを取り付けます。



作動レバーの二また部分を針止めに入れ、とりつけ部を押え棒にはめこみ、押え締めネジをしっかりしめます。

※ぬい速度はゆっくりから中ぐらいでぬいます。

オプションの使い方



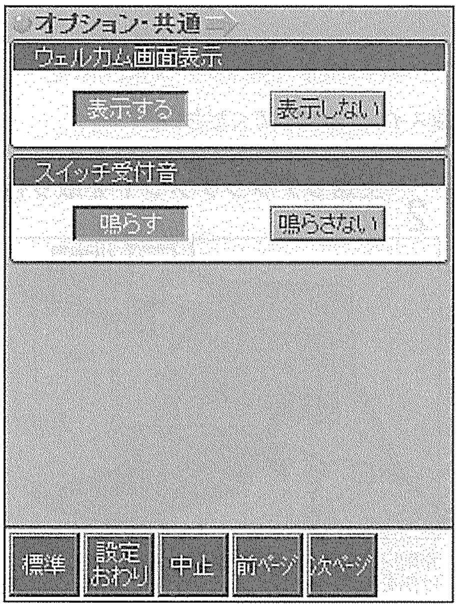
【ガイド】の オプション を使って呼び出します。

エラーメッセージの表示時間や自動止めぬい・糸切りの設定などを変更することができます。

変更したい項目をそれぞれ変更した後に、 設定おわり を押します。

元に戻したい場合は 中止 を押します。

標準値にしたいときは、 標準 を押します。



1.（共通設定）

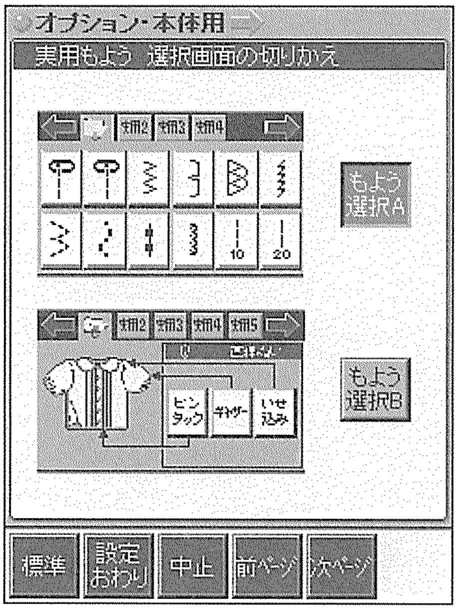
◆ウェルカム画面表示：

電源を入れたときに表示されるウェルカム画面を表示しないで、実用ぬい・刺しゅうぬいの画面を表示することができます。

◆スイッチ受付音：

画面のボタンを押したとき、操作したときに‘ピッ’という受付音を［鳴らす］［鳴らさない］と設定することができます。
エラー発生時のブザー音はこの設定にかかわらず、鳴ります。

次ページ を押すと



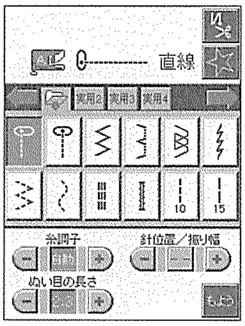
2.（本体用設定）

◆実用もよう　選択画面の切りかえ：

実用模様を もよう選択A の画面で選ぶか、 もよう選択B の画面で選ぶかを設定することができます。

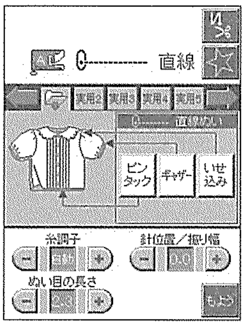
もよう選択A の画面

使用する≪もよう≫の種類を選択します。

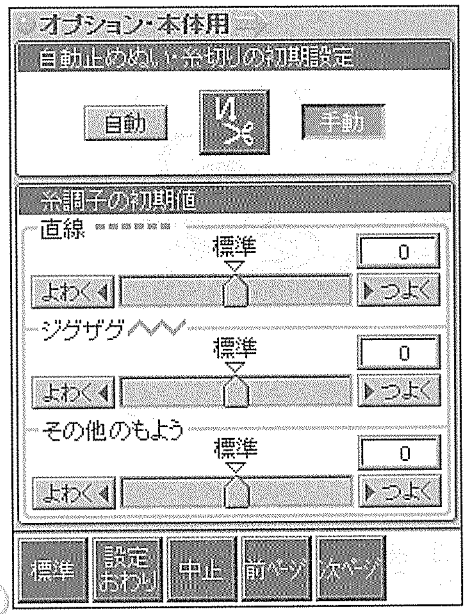


もよう選択B の画面

使用する≪ぬい方≫を選択します。ぬい方に適したもようが選ばれます。



次ページ を押すと 3へ



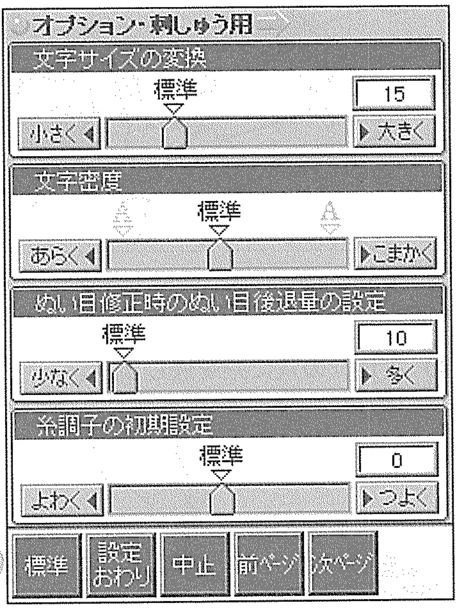
3.（本体用設定）

◆自動止めぬい・糸切りの初期設定：
止めぬい・糸切りを、もようを選ぶと自動的に設定されるか、手動で設定するかを選べます。

◆糸調子の初期値：
“直線ぬい”“ジグザグぬい”“その他”の糸調子の初期値を設定することができます。

※オプションで設定値を変更したあと、もう一度模様を選択しなおすと、
変更した設定値になります。

次ページ を押すと



4.（刺しゅう用設定）

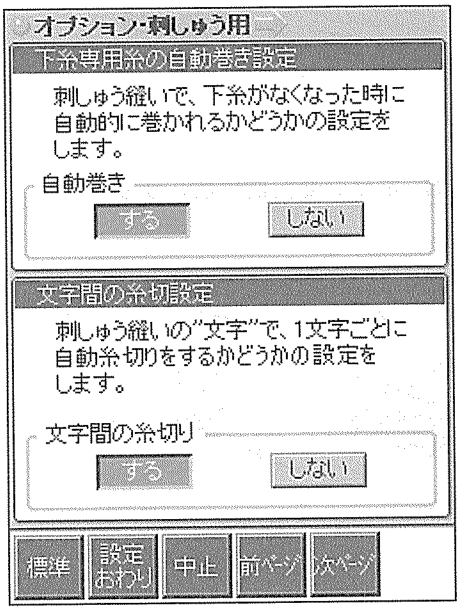
◆文字サイズの変換：
刺しゅうの内蔵文字の基本サイズを設定することができます。

◆文字密度：
刺しゅうでぬわれる内蔵文字の糸の密度を設定することができます。

◆ぬい目修正時のぬい目後退量の設定：
ぬい目を修正するときの戻す針数を設定することができます。

◆糸調子の初期設定：
自動のときの糸調子の値を設定することができます。

次ページ を押すと



5.（刺しゅう用設定）

◆下糸専用糸の自動巻き設定：
刺しゅうぬいで、下糸がなくなったときに、下糸を自動的に巻くかどうかの設定をすることができます。

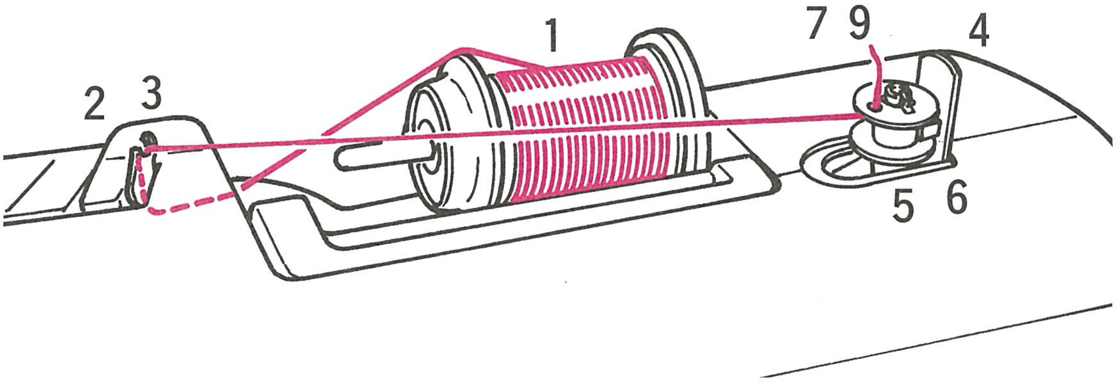
※ボビンに残っている糸をすべてなくすため、
下糸を巻く前に、自動的に枠の端をぬうことがあります。

＊自動巻きを『しない』にしたときは、下糸がなくなるとミシンがストップしますが、
下糸巻きキーを押して糸巻きができます。

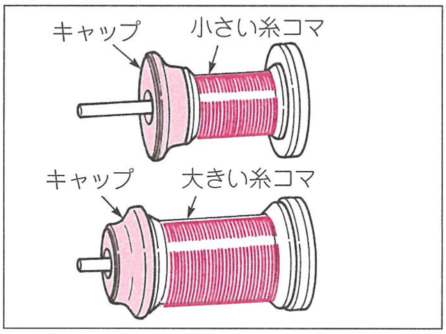
◆文字間の糸切設定：
刺しゅうでぬわれる内蔵文字で、１文字ごとに自動で糸切りをするかどうかの
設定をすることができます。

次ページ を押すと　1へ

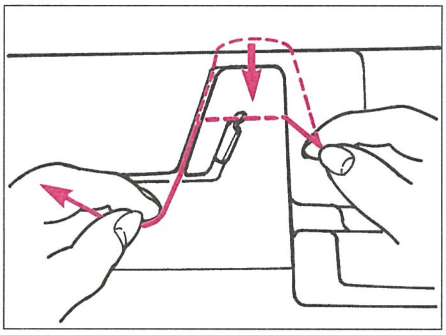
手動下糸巻き/ボビンのセット



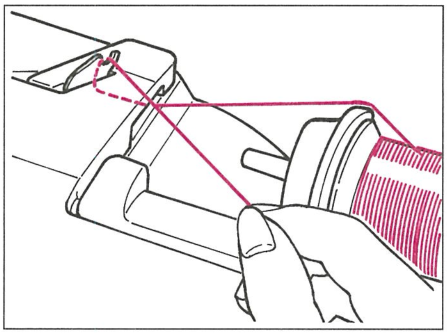
1 糸ゴマを入れキャップを差し込みます。



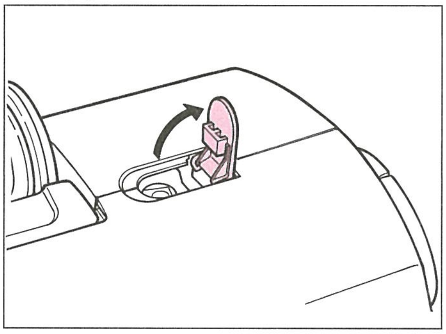
2 両手で手前に引きます。



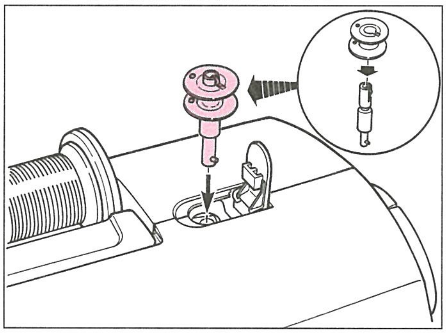
3 糸を糸案内にかけます。



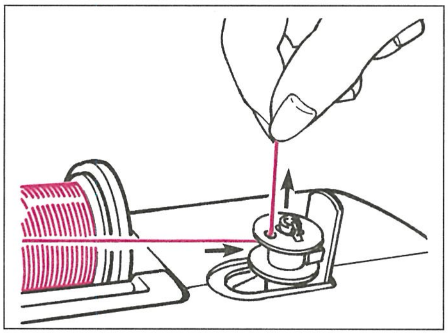
4 糸巻き軸用の穴のフタを開けます。



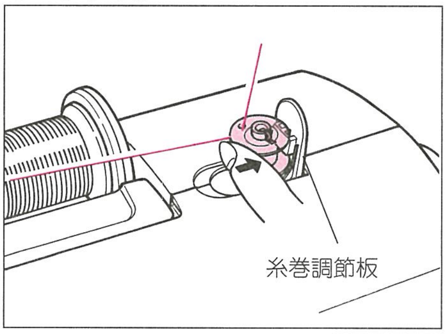
5 糸巻き軸にボビンをセットしてから穴に差し込みます。



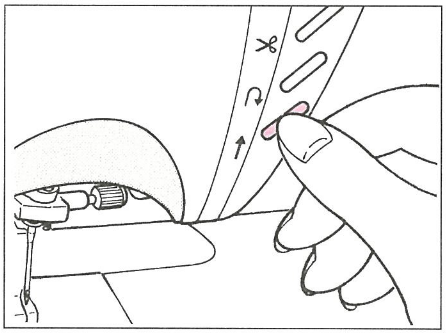
6 ボビンの穴に糸を通します。



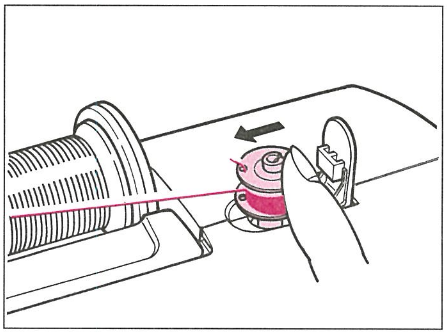
7 ボビンを糸巻き調節板に押しつけます。



8 スタートさせます。



9 ボビンを左側に戻します。

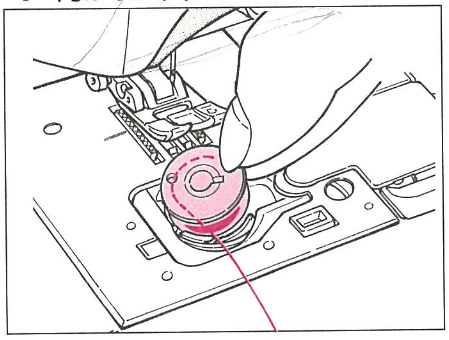


余分な糸を切りボビンを取り出します。

ボビン（下糸）のセット

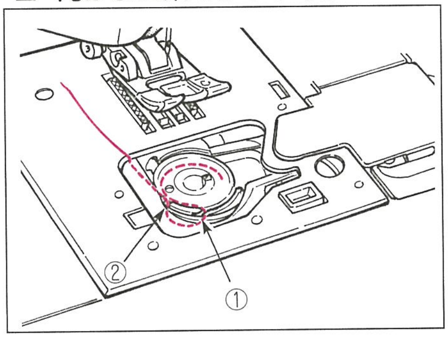
注意 刺しゅう機がセットされているとき以外は、下糸をセットするときは電源スイッチを切ってください。

1 内かまに入れます。



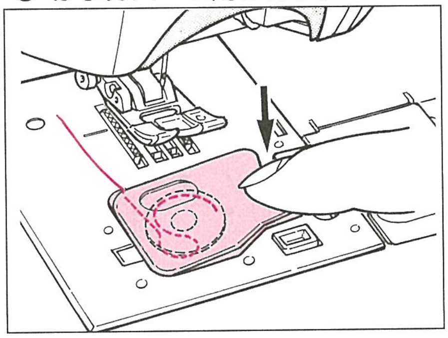
ボビンの糸の巻き方向を左巻きに！

2 内かまに糸をかけます。



①に糸をかけ②のミゾの上にのせて、後ろへもって行きます。

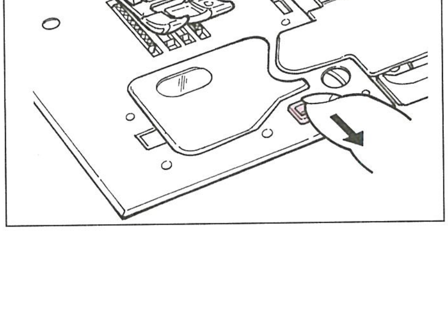
3 かまカバーを閉じます。



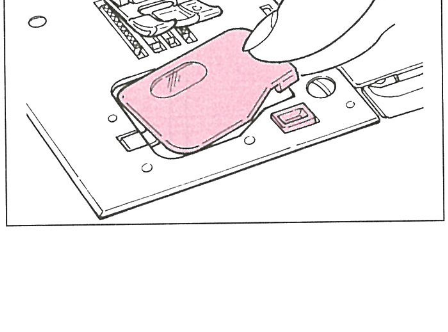
ボビンの取り出し方

注意 ボビンを出し入れするときは電源スイッチを切ってください。

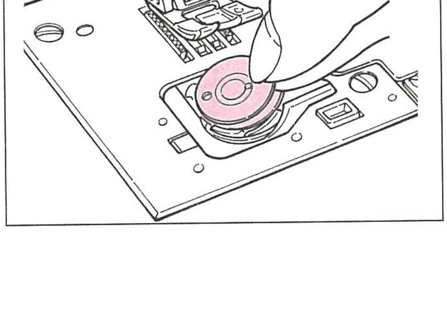
1 ボタンを手前へ引きます。



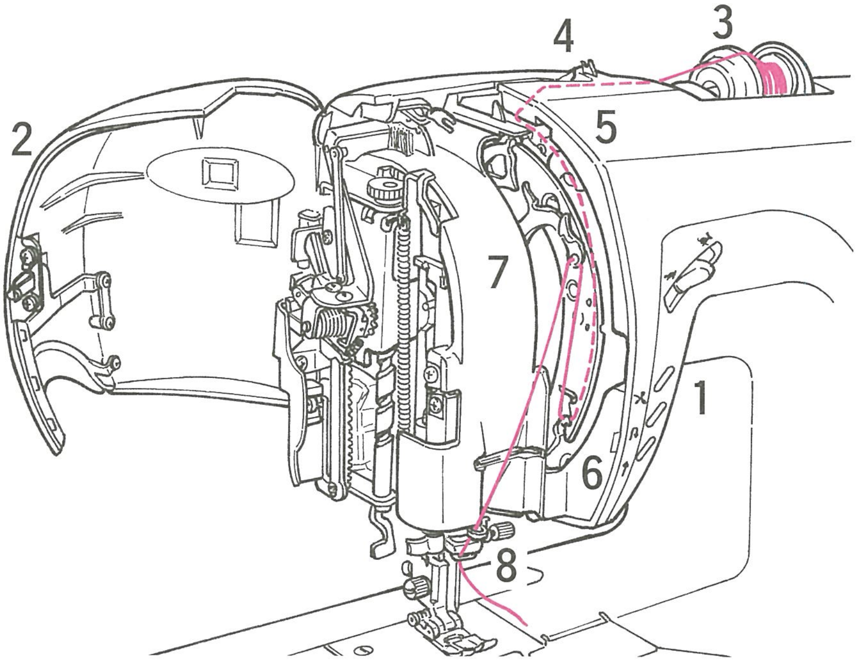
2 フタを取りはずします。



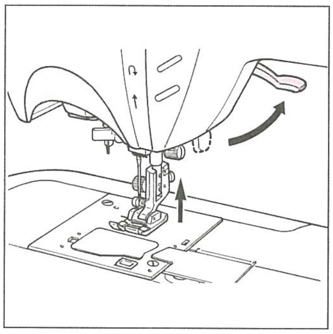
3 ボビンを取り出します。



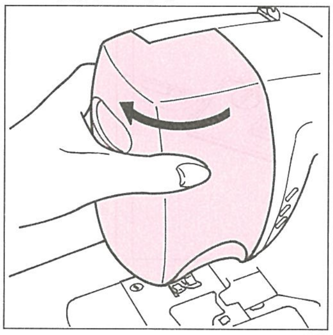
手動上糸かけ



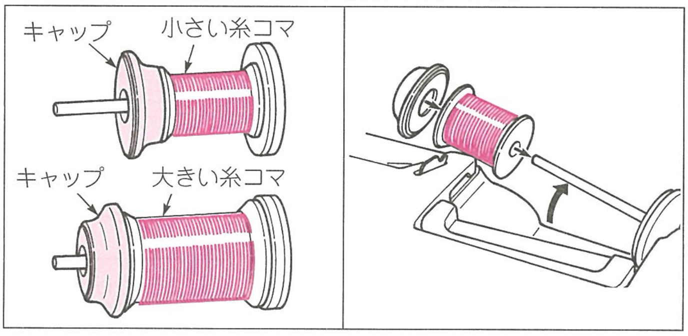
1 押え上げレバーをあげます。



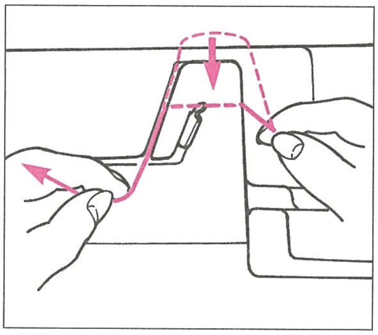
2 面部カバーを開けます。



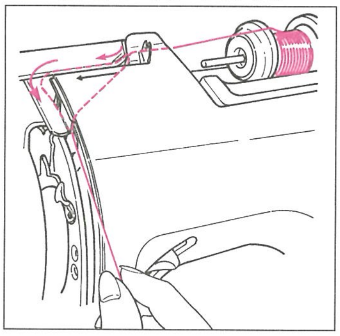
3 糸ゴマを入れキャップを差し込みます。



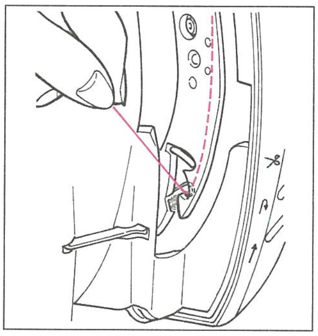
4 両手で手前に引きます。



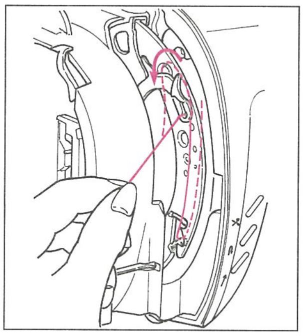
5 糸の先端をもち、矢印にそってかけます。



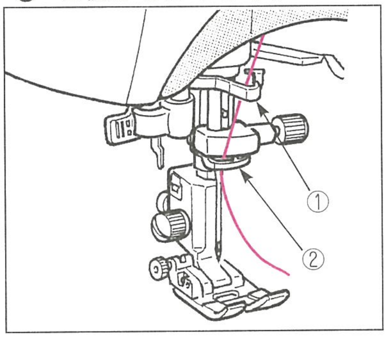
6



7

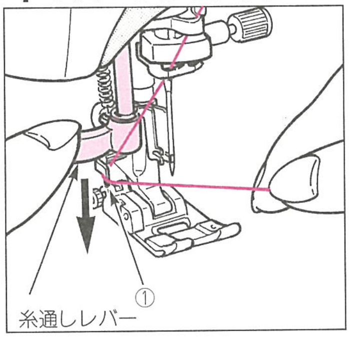


8 ①と②には、右側からかけます。



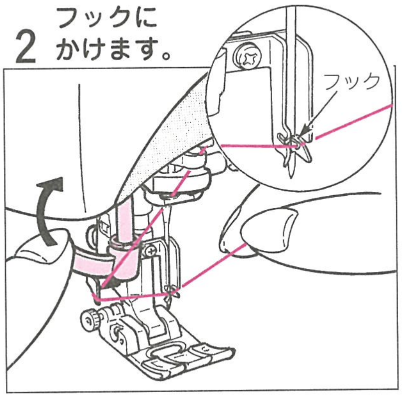
針自動糸通し

1 押えをさげ、糸通しレバーをさげます。



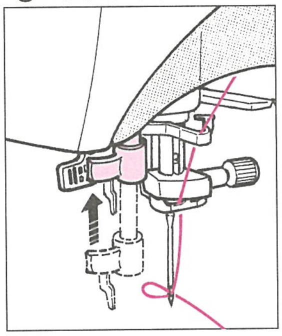
針を上にあげてから糸通しレバーをさげて①に糸をかけます。

2 フックにかけます。



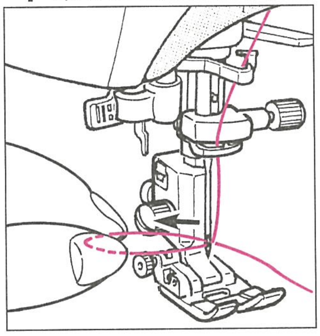
糸通しレバーを回してフックに糸をかけます。

3 糸通しレバーをあげます。



指をはなすとフックが糸をひっかけて針穴に通します。

4 糸を引き出します。



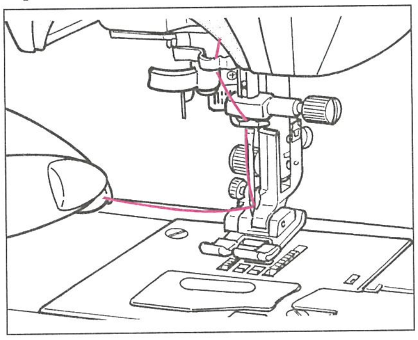
通した糸を針穴から10センチ位引き出します。

ご注意

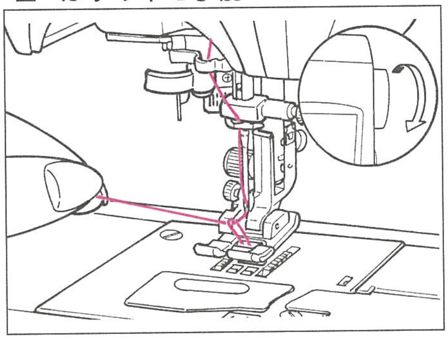
1.ミシンが動いているときは糸通しレバーをさげないでください。
2.針自動糸通しは11番、14番、16番の針に使用できます。

下糸の引きあげ方

1 押えをあげ、上糸を軽くもちます。

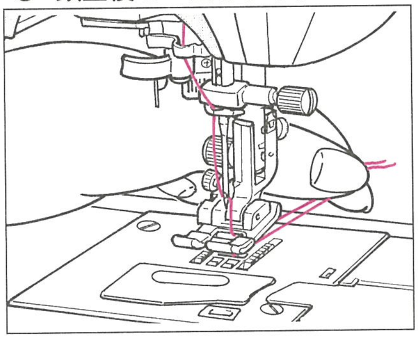


2 はずみ車を手前に回します。



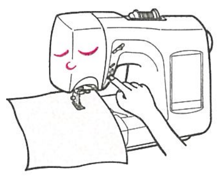
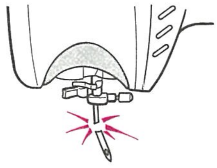
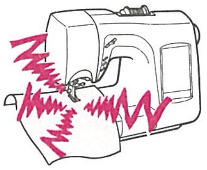
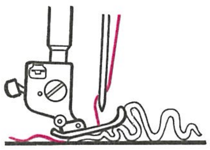
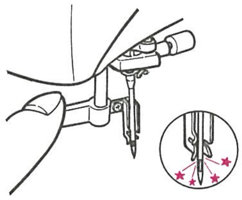
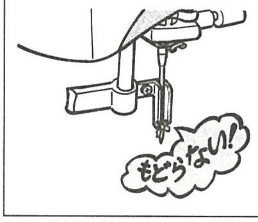
針が上下して下糸を引き出します。

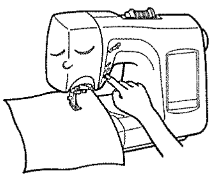
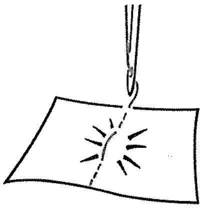
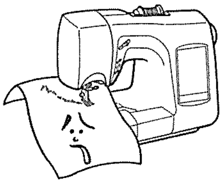
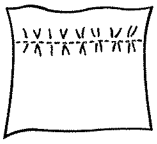
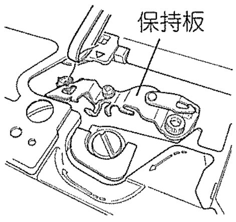
3 上・下糸をそろえて10センチ以上後ろへ出します。



故障かな……というときは

下記のことをお調べのうえ、それでも具合の悪い場合は、お買い求め販売店にご相談ください。

症　状		原因（理由）	処置方法	参考ページ
	●ぬっているとき急に回転しなくなった。 ※はずみ車が手で普通に回せるとき。	●ゆっくりぬいを長時間行ったとき。 ※モーターの異常発熱を防ぐため、自動的にモーター電源が切れるしくみになっています。	●電源スイッチを切り、しばらく（約20分間）すると安全装置が復帰し、正常に戻ります。	—
	●スタートさせてもミシンが動かない。	●上糸がなくなっている。 ●糸巻軸が右よりになっている。 ●ボタン穴かがりのとき、レバーがさがっていない。 ●糸保持板カバーが開いている。	●上糸をかけかえてスタートボタンを押します。 ●糸巻軸を左いっぱいまで戻します。 ●ボタン穴かがりレバーをさげます。 ●糸保持板カバーを閉じます。	9 91 31 52
	●スタート・ストップボタンを押してもミシンが回らない。 （ランプはつく）	●押えのつけまちがえにより、針が押えに当っている。 ●針が外れてかまの中に落したままスタートさせたとき。	●模様に合った押えにとりかえます。 ●針を取り除きます。	15 —
	●針が折れる。	●細い針で厚物をぬったとき。 ●針が奥まできちんとはいっていないとき。 ●針止めネジのしめ方が弱いとき。 ●模様に対して押えがまちがっているとき。	●布地、ミシン糸、ミシン針の関係を調べます。 ●針の取り付け方を調べます。 ●針止めネジをしっかりしめます。 ●模様と押えの関係を調べます。	23 23 23 15
	●回転音が重い、または、音が高い。	●送り歯にゴミがたまっているとき。 ●かまに糸クズがたまっているとき。	●ミシンの手入れをします。 ●ミシンのそうじをします。	98 98
	●布を送らないとき。	●ぬい目の長さが0になっている。 ●タオル地などやわらかい布地。 ●ドロップフィードつまみが右になっている。	●模様を選びなおすと模様の適正なぬい目の長さがセットされます。 ●ぬい目の長さを3〜4にします。 ●つまみを左にします。	16 — 10
	●糸通しができない。 ※糸通しのフックが回転しない。 ●糸通しのフックが針穴に入らない。	●針が上にあがっていないとき。 ※針があがっていないときは、フックの保護のため回転しないしくみになっています。 ●針が奥まできちんと入っていないとき。	●はずみ車を回して、針を上にあげます。 ●針のとりつけ方を調べます。	9，93 23
	●糸通しレバーが戻らず、ミシンが回らなくなった。 ※針穴の中に糸通しのフックが入ったまま。	●糸通しレバーをさげたまま（糸通し中）誤ってミシンを回してしまったとき。	●はずみ車を手でわずかに向こう側（ぬうときと反対）に回します。	—

症状		原因（理由）	処置方法	参考ページ
	●スタート・ストップボタンを押してもミシンがスタートしない。	●足踏みのコントローラー（別売）が差し込んであるとき。	●コントローラーをはずせばスタート・ストップボタンを使用できます。	86
	●糸が切れる。 ●ぬい目が飛ぶ。	●糸のかけ方がまちがっているとき。 ●糸にこぶや結び目があるとき。 ●糸調子の合わせ方が悪いとき。 ●針が曲がったていたり、針先がつぶれているとき。 ●針のとりつけ方がまちがっているとき。 ●下糸の通し方がまちがっているとき。 ●ボビンが内がまの中で滑らかに回らないとき。 ●針と糸の太さが合っていないとき。 ●天びんに糸がかかっていないとき。	●糸をかける順序を調べてかけ直します。 ●糸こぶや結び目をとりのぞきます。 ●模様、ミシン糸の関係を調べて合わせます。 ●針をとりかえます。 ●針を正しくとりつけます。 ●下糸の通し方を調べます。 ●下糸の巻き方を調べます。 ●ミシン糸、針の関係をよく調べます。 ●糸のかけ方を調べます。	9 — 18 23 23 92 — 23 9,93
	●ぬい調子が合わない。	●糸検知糸案内の中に糸が入っていないとき。 ●糸のかけ方がまちがっているとき。 ●下糸の通し方がまちがっているとき。 ●糸ゴマキャップの向きが糸ゴマに合っていないとき。	●糸検知糸案内に糸を奥まできちんと押し込みます。 ●糸のかけ方を調べます。 ●下糸の通し方を調べます。 ●糸ゴマに合ったキャップの向きでとりつけます。	9,93 9,93 92 9
	●ぬい目にしわができる。	●薄物に対してぬい目が大きいとき。 ●針先がつぶれているとき。	●ぬい目を小さく（みじかく）します。 ●針をとりかえます。	16 23
	●自動で下糸がうまく巻けない。	●（本体）糸が正しくセットされていないとき。 ●（刺しゅう）糸が正しく保持板にかかっていないとき。 ●（刺しゅう）糸くずや糸がからまっているとき。	●糸をセットする順序を調べてかけ直します。 ●下糸巻きガイドカバーを開けて、糸が正しくかかっているか確認します。下糸巻きガイドを使ってかけ直します。 ●ピンセットを使って取り除きます。	10 52 —

■仕様表

ミシン本体

項目	仕様
本体寸法	幅47.9×高さ32.4×奥行21.5（cm）
ケースセット時寸法	幅49.5×高さ33.0×奥行23.5（cm）
重量	12.4kg（ケースセット時13.7kg）
定格電圧／消費電力	100V／60W　50／60Hz
ランプ消費電力	13.5V／3W

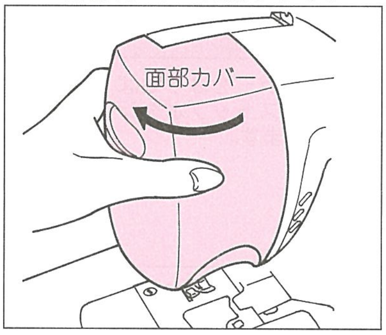
刺しゅう機

項目	仕様
本体寸法	幅33.5×高さ13.0×奥行32.0（cm）
ミシンにセット時寸法	幅59.5×高さ32.4×奥行33.5（cm）
重量	2.3kg（ミシンにセット時13.0kg）

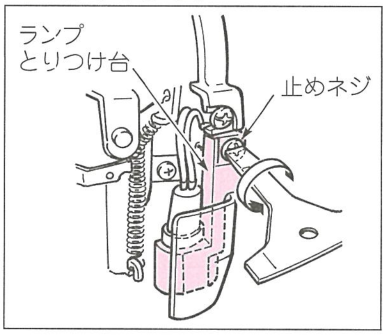
ランプの交換

⚠注意
- ●ランプの交換のときは電源スイッチを切り、室内コンセントからプラグを抜いてください。
- ●ランプは冷えてから交換してください。

1 面部カバーを開けます。

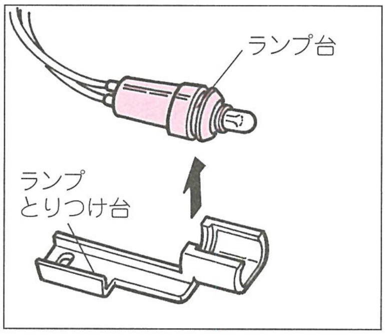


2 ランプとりつけ台をはずします。



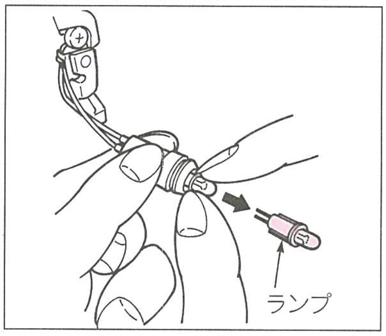
止めネジをゆるめてランプとりつけ台をはずします。

3 ランプとりつけ台からランプ台を取ります。



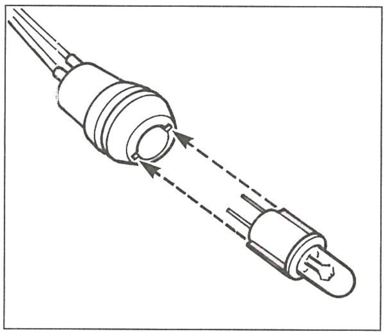
※ランプ台を取り付けるときは、ランプ台のみぞを、とりつけ台のみぞに合わせます。

4 ランプを引き抜きます。



ねじらないで、引き抜きます。

5 新しいランプを差し込みます。



新しいランプは細いミゾに沿って差し込みます。

※ランプ消費電力3W（13.5V）
※ランプは当社サービスセンター
　またはお買い上げ店でお求めください。

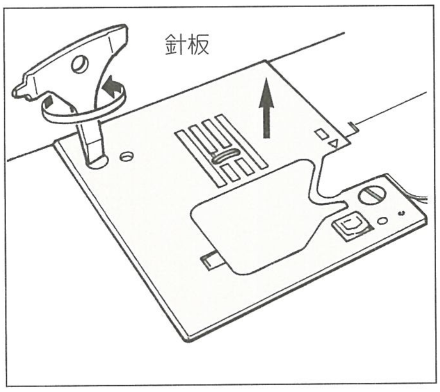
ミシンの手入れ

⚠注意 ミシンのお手入れをするときは電源スイッチを切り、室内コンセントからプラグを抜いてください。

糸くずやほこりがたまりますと故障の原因となります。常にきれいにしておきましょう。

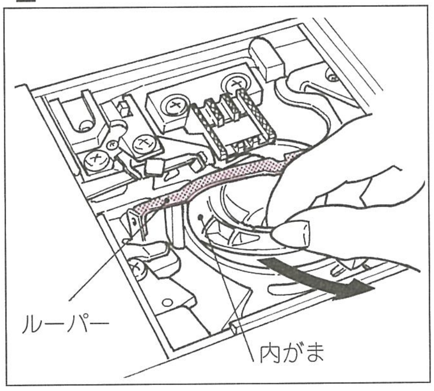
＜送り歯・内かま＞

1 針板をはずします。



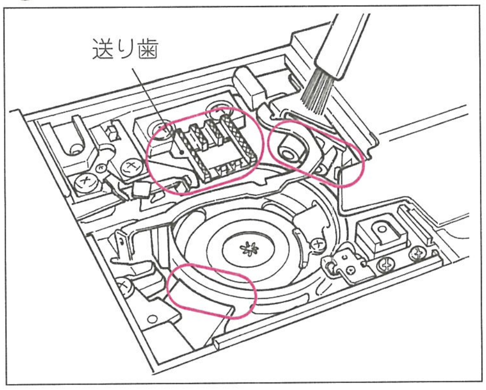
針や押えをはずして、付属品の専用ドライバーで針板の止めネジをはずし、針板を取ります。

2 内がまを取ります。



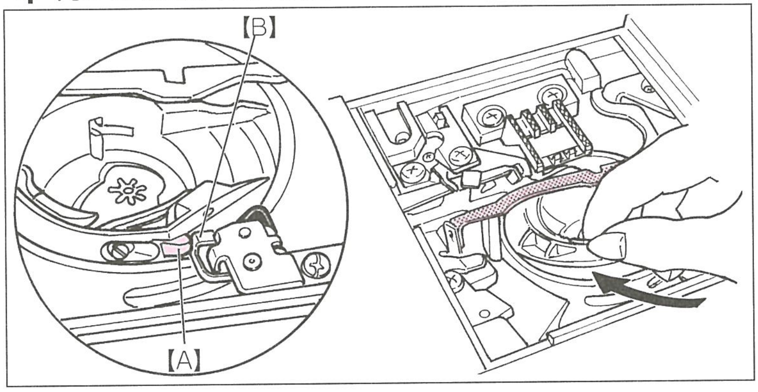
プーリーを回してルーパーを上に上げ、内がまを取ります。

3 糸くずやほこりを取り除きます。



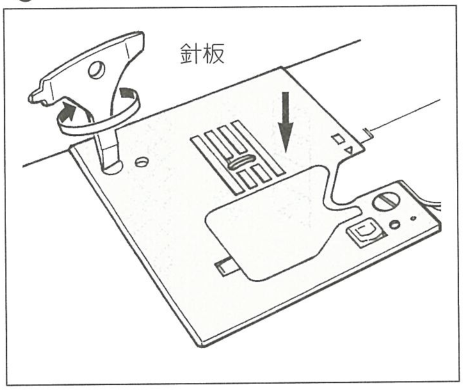
送り歯や、内がまの周辺の糸くずやほこりを、付属品の掃除用ブラシを使ってきれいにします。

4 内がまを取り付けます。



プーリーを回してルーパーを上にあげ、
【A】と【B】があたるように内がまを入れます。

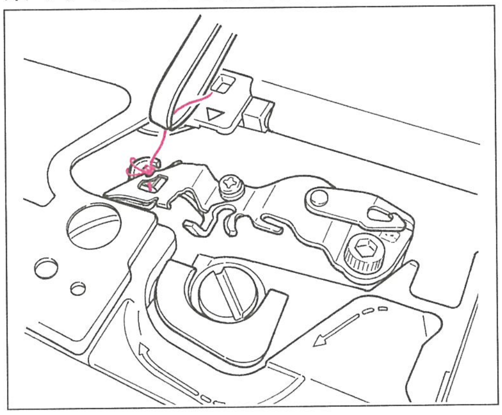
5 針板を取り付けます。



針板を取り付け、専用ドライバーで針板止めネジをしめます。

＜下糸ガイド＞

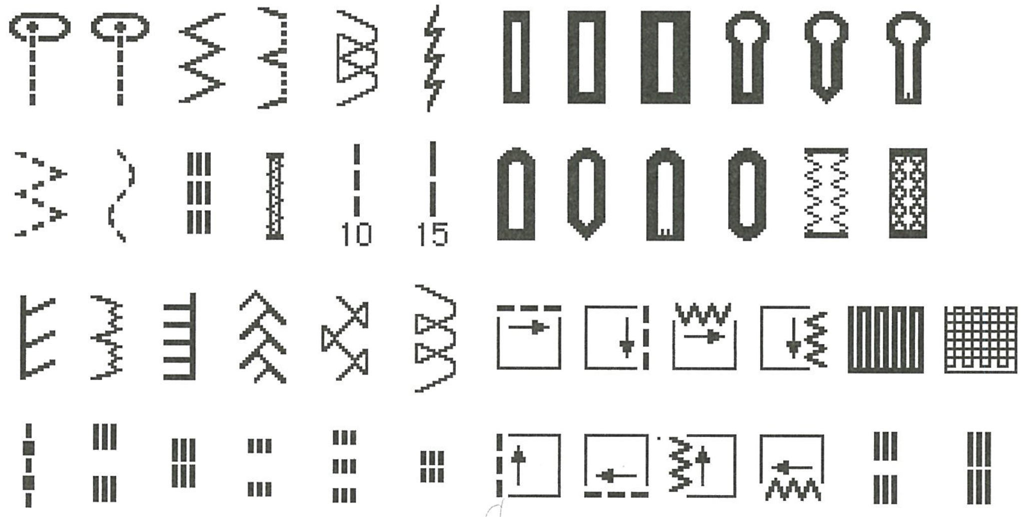
糸くずやほこりを取り除きます。



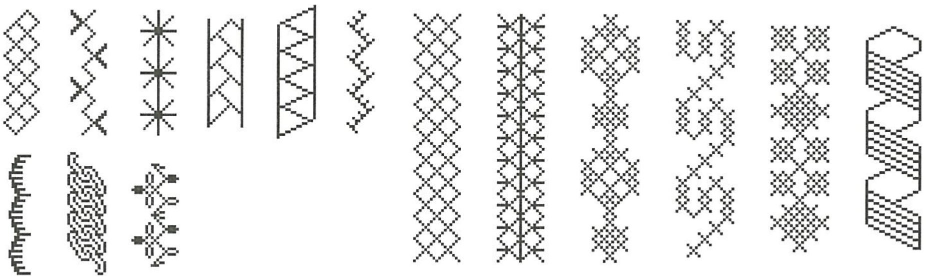
下糸ガイド周辺の糸くずやほこりを、ピンセットを使ってきれいにします。

模様一覧表（本体）

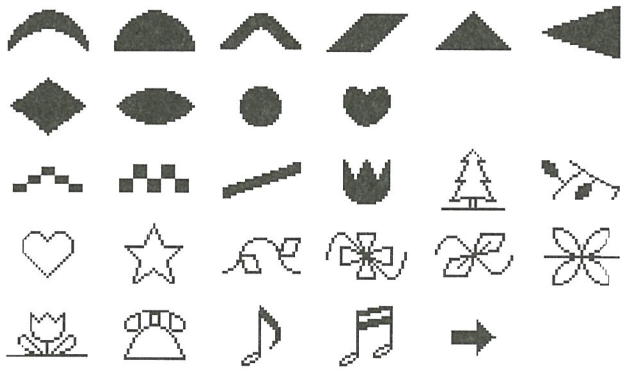
実用ぬい



連続ぬい



もよう



刺しゅう模様一覧表

文字ぬい

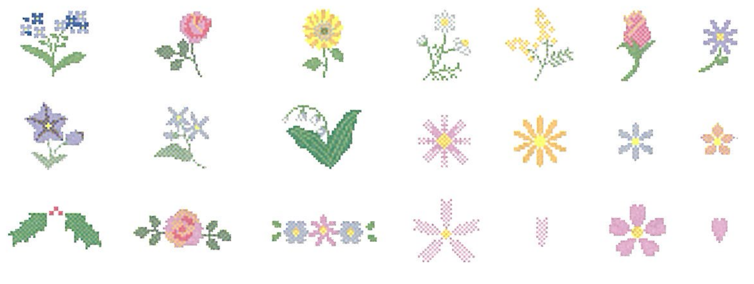
あいうえお	はひふへほ	アイウエオヴ	ハヒフヘホ	一二三四五六
ぁぃぅぇぉ	ばびぶべぼ	ァィゥェォ	バビブベボ	七八九十保育
かきくけこ	ぱぴぷぺぽ	カキクケコ	パピプペポ	幼稚園所小中
がぎぐげご	まみむめも	ガギグゲゴ	マミムメモ	高学校第、。
さしすせそ	やゆよゃゅょ	サシスセソ	ヤユヨャュョ	年組生番部班
ざじずぜぞ	らりるれろ	ザジズゼゾ	ラリルレロ	会係日月火水
たちつてとっ	わをんー	タチツテトッ	ワヲンー	木金土市区町
だぢづでど		ダヂヅデド		村地号才
なにぬねの		ナニヌネノ		

あいうえお	はひふへほ	アイウエオヴ	ハヒフヘホ	一二三四五六
ぁぃぅぇぉ	ばびぶべぼ	ァィゥェォ	バビブベボ	七八九十保育
かきくけこ	ぱぴぷぺぽ	カキクケコ	パピプペポ	幼稚園所小中
がぎぐげご	まみむめも	ガギグゲゴ	マミムメモ	高学校第、。
さしすせそ	やゆよゃゅょ	サシスセソ	ヤユヨャュョ	年組生番部班
ざじずぜぞ	らりるれろ	ザジズゼゾ	ラリルレロ	会係日月火水
たちつてとっ	わをんー	タチツテトッ	ワヲンー	木金土市区町
だぢづでど		ダヂヅデド		村地号才 ()
なにぬねの		ナニヌネノ		

A B C D E F G a b c d e f g 0 1 2 3 4 ~ – ( ) 「 」 < >
H I J K L M N h i j k l m n 5 6 7 8 9 / · + × ÷ = Tel Fax
O P Q R S T U o p q r s t u & ! ? 、 。 , . 〒 @ ¥ %
V W X Y Z v w x y z ' “ ”

A B C D E F G a b c d e f g 0 1 2 3 4 ~ – ( ) 「 」 < >
H I J K L M N h i j k l m n 5 6 7 8 9 / · + × ÷ = Tel Fax
O P Q R S T U o p q r s t u & ! ? 、 。 , . 〒 @ ¥ %
V W X Y Z v w x y z ' “ ”

模様ぬい（花）



この数字は、JUKI刺しゅう糸の糸No.です。

模様ぬい（マーク）

アフターサービスと保証

- ●このミシンには専用のジュレーブ保証書がついています。(下の図)
- ●保証書は、当社直営店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- ●保証期間中は、お買い上げの日から1年間です。ただし、マイコン基板は2年間です。
- ●保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- ●このミシンは日本国内専用機種ですので、海外でのご使用はできません。また、海外での保証、アフターサービスは受けることができません。
- ●保証期間経過後の修理につきましては、当社直営店にご相談ください。当社は、このミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り時点から最低8年間保有しています。
- ●修理サービスについてご不明な点がございましたら、当社サービスセンター、または当社お客様相談室へお問い合わせください。

jureve

機種名	HZL−010N	納入年月日	年　月　日
製番		保証期間	本体 1年 マイコン基板 2年 }※

※マイコン基板搭載のミシンに適用します。

お客様

お名前　　　　　　　　　　　　様

〒　　－

ご住所

電話　（　　）

ジュレーブ保証書　　裏面もご覧ください ▶

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。納入の日から左記期間中に故障した場合は、お買上げの支店又はサービスセンターに修理をお申しつけください。

無料保証期間は、本体は１年、内蔵されているマイコン・メイン基板は２年間とします。
（マイコン基板は、それが搭載されている商品に適用されます）

支店名（調整修理担当店）

電話　（　　）

JUKI

JUKI株式会社
〒182-8655 東京都調布市国領町8-2-1
TEL 03−3480−5653

JUKI

アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、下記のお客様相談室へお問い合わせください。

北日本お客様相談室	〒984-0075	宮城県仙台市若林区清水小路6-1	フリーダイヤル ☎ 0120-05-1233
東京お客様相談室	〒183-0055	東京都府中市府中町1-6-11 三和第三ビル4F	
名古屋お客様相談室	〒456-0002	名古屋市熱田区金山町1-7-5住友生命第2ビル3F	
大阪お客様相談室	〒530-0002	大阪市北区曽根崎新地2-6-21	
中·四国お客様相談室	〒732-0802	広島市南区大州1-9-42	
九州お客様相談室	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東1-9-5	
本社お客様相談室	〒183-0055	東京都府中市府中町1-6-11 三和第三ビル5F	☎ 0120-29-2111

JUKI株式会社
〒182-8655 東京都調布市国領町8-2-1
☎ 03-3480-5653

Copyright ©2005 JUKI CORPORATION
本書の内容を無断で転載、複写することを禁止します。

010NV2 0805 (N)